

第4次すいた男女共同参画プラン

令和4年度（2022年度）

施策実施状況

— 年次報告 —

令和5年(2023年)11月

吹 田 市

目 次

●第4次すいた男女共同参画プランの概要	2
●第4次すいた男女共同参画プラン施策体系	3
●第4次すいた男女共同参画プラン計画推進の指標	5
●男女共同参画に関する施策の実施状況	7
基本方向Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革	7
基本方向Ⅱ 就労の場における男女共同参画の推進	39
基本方向Ⅲ ライフステージに応じた健康の保持・増進のために	69
基本方向Ⅳ あらゆる暴力の根絶のために	93
基本方向Ⅴ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	157

第4次すいた男女共同参画プランの概要

【計画の期間】

平成30年度（2018年度）から令和4年度（2022年度）までの5年間

【吹田市男女共同参画推進条例の基本理念】

- 1 「男女の人権の尊重」
- 2 「性別による固定的な役割分担に基づく社会制度・慣行の解消」
- 3 「家庭における活動と他の活動への対等な参画」
- 4 「政策等の立案及び決定への共同参画」
- 5 「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」

【計画がめざすまち】

「すべての人が性別にかかわらずいきいきと活躍し、安心して暮らすことのできる豊かなまち」

【計画の特徴】

- 1 「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進する計画です。
- 2 「吹田市総合計画」に対する分野ごとの個別計画であるとともに、他の個別計画との整合性をもたせたものです。
- 3 本計画のうち基本方向Ⅳの基本課題2～5を「吹田市DV防止基本計画」と位置づけています。
- 4 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画（推進計画）」とするものです。

【計画の構成】

5つの基本方向、23の基本課題を設定し、基本課題ごとに具体的取組を示しています。

第4次すいた男女共同参画プラン 施策体系

基本方向Ⅰ	基本課題	具体的取組
男女共同参画社会の実現に向けた意識改革	1 男女共同参画意識の醸成	(1) 家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進
		(2) 事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供
		(3) 市職員に対する男女共同参画研修の充実
		(4) 市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発
	2 男女共同参画・男女平等教育の推進	(1) 学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進
		(2) 男女共同参画のための生涯学習の推進
(3) 男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		

基本方向Ⅱ	基本課題	具体的取組
就労の場における男女共同参画の推進	1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	(1) 長時間労働の削減
		(2) 仕事と家庭、地域活動等を両立させるライフスタイルについての啓発
		(3) 男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備
		(4) 育児休業・介護休業等の取得が促進されるための環境整備
		(5) 保育環境の整備促進
	2 事業者等への男女共同参画の啓発等の推進	(1) 参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発
		(2) 多様な人材を活かす職場づくりの促進
		(3) ハラスメント防止の取り組み
	3 女性の活躍推進	(1) 再就職支援のネットワーク化など就労の支援
		(2) 正社員や専門職を目指した能力開発の支援
		(3) 官民が連携した企業の支援
		(4) 積極的格差是正（女性の職域の拡大、管理職への登用）や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援
	4 相談・支援体制等の整備	(1) 労働相談、法律相談等の充実
		(2) 母子家庭、父子家庭等に対するネットワーク化も含めた支援

基本方向Ⅲ	基本課題	具体的取組
ライフステージに応じた健康の保持・増進のために	1 性と生殖についての理解の促進	(1) 性と生殖に関する健康と権利に関する意識啓発の推進
		(2) 性と生殖に関する教育と情報提供
		(3) 多様な性に関する理解と支援の促進
		(4) 望まない妊娠・出産の防止・支援の推進
	2 ライフステージに応じた健康の保持・増進	(1) 思春期における心とからだの健康づくりの推進
		(2) 妊娠・出産期における健康支援
		(3) 成人、高齢期における健康づくりの推進
		(4) 介護・介護予防に関する情報提供
		(5) 豊かな高齢期のための環境整備

基本方向Ⅳ	基本課題	具体的取組
あらゆる暴力の根絶のために	1 暴力の根絶のための基盤づくり	(1) 暴力を許さない意識づくり
		(2) 暴力の発生を防ぐための環境づくり
	2 DVを許さない意識づくり	(1) DV防止に向けた啓発の推進
		(2) 幼児期からの暴力を許さない教育
	3 DV相談体制の充実と被害者保護の取り組みの推進	(1) 相談支援の機能の強化
		(2) 相談窓口の周知
		(3) 被害者保護の徹底
		(4) 支援者の支援のためのシステム作り
	4 DV被害者の自立支援体制の整備	(1) 自立支援の機能の強化
(2) 被害者とその子供のこころのケア		
5 DVに係る関係機関等との連携・協働の推進	(1) 関係部署・関係機関との連携強化	
	(2) 民間団体等との連携と協働	
6	DV加害者の更生支援の推進	
7	児童虐待防止対策の推進	
8	性暴力防止対策の推進	
9 ハラスメント防止対策の推進	事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進	

基本方向Ⅴ	基本課題	具体的取組
男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	1 政策や方針決定の場への女性の参画拡大	(1) 女性の政治の場への参画拡大
		(2) 市における女性の政策立案過程への参画拡大
		(3) 市審議会等への男女平等な参画
		(4) 市内事業所における女性の人材育成と管理職への登用の促進
	2 男女共同参画に向けての市民参画の促進	(1) 男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催
		(2) 男女共同参画を推進する市民団体・NGO・NPOへの支援と交流の促進
3 地域における男女共同参画の推進	(1) 男女が共に担う市民活動やボランティア活動などの推進	
	(2) 地域における各種団体の役員への男女平等な参画	
	(3) 防災・防犯分野における女性の参画の拡大	
4 男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進	(1) 男女共同参画に関連する国際規範・基準についての情報提供	
	(2) 市内在住の外国人家庭に対する子育てなどの支援	
5 男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備	(1) 貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援	
	(2) 母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援	
6 男女共同参画センターの機能の充実	(1) 市民団体等との協働・連携	
	(2) 男女共同参画推進のための拠点施設として、その認知度を高め、利用を促進する	

第4次すいた男女共同参画プラン【計画推進の指標】

基本方向Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

指標番号	項目	現状	目標値
I-①	「男は仕事、女は家庭」と思う市民の割合	女性 20.5% 男性 26.9% (※1)	女性 20%未満 男性 30%未満
I-②	吹田市男女共同参画推進条例の認知度	35.1% (※1)	50%以上
I-③	社会全体として男女の地位は、平等になっていると思う市民の割合	15.5% (※1)	30%以上
I-④	男女が共に個性や能力を発揮できる社会になってきていると思う市民の割合	37.2% (※2)	40%以上

※1 令和2年度（2020年度）吹田市男女共同参画に関する市民意識・実態調査より

※2 令和4年度（2022年度）吹田市市民意識調査より

基本方向Ⅱ 就労の場における男女共同参画の推進

指標番号	項目	現状	目標値
Ⅱ-①	事業所を対象とする研修会等の実施	令和2年度（2020年度） 0回 令和3年度（2021年度） 0回 令和4年度（2022年度） 2回	年3回
Ⅱ-②	男性市職員の育児休業取得率	令和2年度（2020年度） 23.3% 令和3年度（2021年度） 31.6% 令和4年度（2022年度） 44.9%	5%
Ⅱ-③	育児休業制度の利用のあった事業所の割合	令和3年度（2021年度） 12.6% (※3)	20%

※3 令和3年度（2021年度）吹田市労働事情調査より（令和3年度（2021年度）から調査内容を「育児休業・介護休業制度の利用有無」に変更）

基本方向Ⅲ ライフステージに応じた健康の保持・増進のために

指標番号	項目	現状	目標値
Ⅲ-①	子宮がん・乳がん検診受診率	令和2年度（2020年度） 子宮がん 37.6% 乳がん 37.7% 令和3年度（2021年度） 子宮がん 16.5% 乳がん 17.3% 令和4年度（2022年度） 子宮がん 16.1% 乳がん 17.7% (※4)	子宮がん 50%以上 乳がん 50%以上

※4 令和3年度（2021年度）からがん検診の対象者の考え方を変更

基本方向Ⅳ あらゆる暴力の根絶のために

指標番号	項目	現状	目標値
Ⅳ-①	すいたストップDVステーション (DV相談室)の認知度	16.3% (※1)	100%
Ⅳ-②	DV防止法の認知度	85.2% (※1)	100%
Ⅳ-③	中学校におけるデートDV防止啓発実施校数	令和2年度(2020年度) 7校 令和3年度(2021年度) 13校 令和4年度(2022年度) 11校	18校 (全ての市立中学校)

※1 令和2年度(2020年度)吹田市男女共同参画に関する市民意識・実態調査より

基本方向Ⅴ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

指標番号	項目	現状	目標値
V-①	女性市職員の管理職登用の割合	令和2年度(2020年度) 25.0% 令和3年度(2021年度) 26.3% 令和4年度(2022年度) 25.5%	30%
V-②	審議会等委員における女性の割合	令和2年度(2020年度) 34.9% 令和3年度(2021年度) 29.9% 令和4年度(2022年度) 30.1%	40%~60%
V-③	女性のいない審議会等の割合	令和2年度(2020年度) 12.1% 令和3年度(2021年度) 9.8% 令和4年度(2022年度) 7.9%	解消する

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向 I

男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(1)	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進				
具体的取組の 主な内容	男女が共に協力して育児ができるよう、妊婦（両親）教室を開催するほか、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を実施します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊娠出産包括支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	プレパパ・プレママ教室の参加者			960		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	956人	815人	0人	272人	816人	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染予防対策で参加人数を制限していたが、教室開催回数を増やし、オンラインでの教室開催も行ったことで前年度より、大幅に増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	父親の育児参加を促すために、オンラインでも開催した。 妊娠届出時の面接にて、求所した父親に子育てに関する冊子等を用いて育児参画について意識づけを行っている。					
令和4年度 取組状況	(取組の効果と課題)					
	オンライン参加者のアンケートより、実技を希望する意見が多かったため、今後は従来通り実技教室のみとし、定員や回数等を見直して対応することを検討。教室に参加が困難な父親への啓発も、ホームページやSNSを用いて引き続き実施。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	教室の運営方法の見直し。啓発の工夫を行う。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(1)	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進				
具体的取組の 主な内容	家庭教育学級において男女共同参画の視点による子育て講座を開催します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	各家庭教育学級において、専門的な知識を持った講師による講座を実施する等、情報共有及び学習の機会を作っている。					
令和4年度 取組状況	(取組の効果と課題)					
	各学級が企画する講座等を通して、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(1)	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進				
具体的取組の 主な内容	「男性のための料理教室」など、男性の家事・育児・介護への参画を促進するための講習会など学習機会を提供します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	公民館講座事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	講座開催館数			20館		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	14館 達成率70%	12館 達成率60%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による公民館の利用制限に伴い、対象となる主催講座が不実施となったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) オンライン講座の開催に必要な機器を配置する等、環境整備を行った。					
	(取組の効果と課題) 設備は整ったが、開催に必要なノウハウの構築が課題である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	公民館の利用制限が解除となったため、コロナ禍以前の講座運営とともに、オンラインを活用した講座の開催について検討する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(1)	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進				
具体的取組の 主な内容	「男性のための料理教室」など、男性の家事・育児・介護への参画を促進するための講習会など学習機会を提供します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延男性受講者数			300人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	336人	255人	29人	46人	90人	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員制限は行ったが、企画した講座を中止することなく全て開催できたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の定員を制限し、安全に配慮しながら開催した。 初心者向け男性料理講座と父と子の料理講座を年度内に2部制で2回ずつ開催した。 「夫婦で子育て」をテーマにした講座を開催し、プログラムの中で父親と子供が遊ぶ時間を設けた。					
	(取組の効果と課題) 料理以外の家事をテーマにした講座の企画も検討する。また、オンラインを活用するなど、より広い層への啓発を広げていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	開催方法や日時について、就労している男性が参加しやすい講座を企画する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(2)	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供				
具体的取組の 主な内容	JOBナビすいたにおいて、子育て両立支援求人を含む求人を開拓し、子育てをしながら就職を希望する方が就職に結びつくようマッチングを図ります					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	地域就労支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市無料職業紹介所において、仕事と子育ての両立支援に取り組む求人を17件掲載。(令和4年度)					
	(取組の効果と課題) 仕事と子育ての両立支援求人として積極的に求人を出し出す事業所は決して多くないが、企業訪問の中で、子育て中の女性も含め、企業が求める人材について掘り起こすことによって、求職者とのマッチングを高めていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(2)	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供				
具体的取組の 主な内容	市内の事業所向けに出前講座を実施します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修開催回数			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	1回	1回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するための取組内容) 出前講座の実施はなかったが、企業人権協議会役員会に出席し、男女共同参画センター発行の啓発誌「ソフィア」を用いて育児・介護休業法改正の周知及び男性の育児休業取得に関する啓発を実施した。					
	(取組の効果と課題) 事業者に向けた効果的な情報発信の手法を検討する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も様々な機会を捉えて事業所向けに共同参画に関する啓発や情報提供を行う。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(2)	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供				
具体的取組の 主な内容	市内の事業所向けに出前講座を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業（事業者向け研修会）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	1回	2回	0回	0回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	事業者に実施を呼びかけたところ、2事業者から出前講座の希望があったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 約80事業所が加入する吹田企業人権協議会会員に対して出前講座の実施を呼びかけたところ、2事業者から希望があった。ハラスメント対策や意見が出しやすい職場など働きやすい職場づくりをテーマにした出前講座を実施した。					
	(取組の効果と課題) ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティなど様々なテーマの出前講座の実施を呼びかけていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に出前講座の実施を呼びかけていく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(2)	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供				
具体的取組の 主な内容	長時間労働の是正、男性職員の育児介護休業等の取得促進などの意識啓発を行い、男女ともに働きやすい職場づくりを進めます					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	過重労働対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①月に45時間以上時間外勤務を行う職員の割合 ②月1人あたり平均45時間以上時間外勤務を行う所属をなくす。			①2.4%以下（主査級以下） ②主査級以下		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	4.2%	2.3%	1.8%	2.1%	2.2%	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度の実績値を見ると、2職場のうち1職場は危機管理室で、不発弾処理対応や事務所移転等で時間外勤務が増えました。もう1職場は予定外の新規事業の立ち上げ等で多忙になったことが、実績値の上昇の主な要因と考えます。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 平成31年4月に時間外勤務時間の上限を定めた規則を制定し、時間外勤務縮減について職員に周知を図っています。また、一月に80時間以上の職員には調査票を送付し、100時間以上の職員は必須、80時間以上100時間未満は希望により産業医面談を実施し、長時間労働による心身の負担等を説明・確認しています。					
	(取組の効果と課題) 長時間勤務で産業医面談が必須となった職員については全員に面談を実施することで、職員個人が長時間勤務縮減の意識を持つきっかけになっていると考えます。また、令和4年度から産業医が2名体制となり相談日が増えたことから、長時間勤務者を把握して以降、早期に産業医面談を案内することが出来ています。 課題としては同じ職員が複数月に渡り長時間勤務での調査対象となっている状況が見られることです。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	平成31年4月1日付で市として時間外勤務の時間数の上限を定め、長時間労働対象者については産業医面談の対象者拡充等を行いました。引き続き長時間労働の是正に向けた取り組みについて、全職員へ周知するとともに、過重労働による健康障がい防止するための産業医面談を積極的に実施します。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(2)	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供				
具体的取組の 主な内容	長時間労働の是正、男性職員の育児介護休業等の取得促進などの意識啓発を行い、男女ともに働きやすい職場づくりを進めます					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	通年実施 3,650部	通年実施 2,000部	通年実施 チラシ6,000部 冊子200部	通年実施 2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページで育児介護休業法について掲載。 また、みんなで学ぶワークルールセミナーにおいて共催である摂津市で「男性の育児休業取得」をテーマにセミナーも開催。					
	(取組の効果と課題) 男性育休に関する法改正など、事業主及び労働者を含めた市民に継続して啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(3)	市職員に対する男女共同参画研修の充実				
具体的取組の 主な内容	市職員に対する男女共同参画のための研修を充実させます					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	1回	1回	0回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 女性活躍推進法の改正により、女性の活躍を推進するためのより一層の理解や取組が求められるようになった中、法の基礎知識を踏まえ、組織と個人の成長を支援、推進するためのアクションプランの作成を通して、効果的な部下支援について理解を深めることを目的とした研修を実施しました。					
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(3)	市職員に対する男女共同参画研修の充実				
具体的取組の 主な内容	職場におけるハラスメント防止・対応のための研修を実施します					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	1回	1回	1回	2回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度行った対面形式の研修を実施せず、動画配信による研修のみ実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 反復学習やいつでも受講ができる、動画配信による研修の実施により、より多くの職員が効果的に研修を受講できる環境を整えました。					
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(3)	市職員に対する男女共同参画研修の充実				
具体的取組の 主な内容	公文書における男女共同参画の視点での文章表現を学ぶ研修を実施します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修開催回数			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	開催回数1回 参加人数63人	開催回数2回 参加人数128人	-	-	-	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するための取組内容) 研修に代えて「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」を事務なびで配信し、職員に周知した。					
	(取組の効果と課題) 職員に対し、刊行物を発行する際の男女共同参画の視点に立った文書表現について周知を図ることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も公文書における男女共同参画の視点に立った文書表現について周知し、職員の男女共同参画に関する意識の向上を図る。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(3)	市職員に対する男女共同参画研修の充実				
具体的取組の 主な内容	市民サービスの提供における男女共同参画の視点に関する研修を実施します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	人事室が行う「新規採用職員研修」で、市民サービスの提供における男女共同参画の視点について研修を実施。			年に1回実施		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-①
	1回	1回	1回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新規採用職員に対し、市民サービスの提供における男女共同参画の視点に関する研修を実施した。					
	(取組の効果と課題) 男女共同参画に関する基本的な知識や市民と接する際の注意点について研修を行い、新規採用職員の男女共同参画に関する意識の向上を図った。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き新規採用職員研修を実施し、新規採用職員の男女共同参画に関する意識の向上を図る。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画センターだより「ソフィア」、市報に掲載の「女と男のいきいきライフ」をいっそう充実させ、男女共同参画の広報・啓発を推進します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市報に掲載			年に1回 (令和2年度から)		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	2回	2回	1回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するための取組内容) 市報すいた11月号に市民スタッフとともに編集した「女と男のいきいきライフ」を掲載した。					
	(取組の効果と課題) 令和4年度は「理工系女子の進路選択を応援しよう」をテーマに、女性の参画が進んでいない理工系分野の状況や国の取組などを紹介し、男女共同参画社会の実現に向けて情報発信を行うことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	多くの方に関心をもってもらうために、様々な観点でテーマを検討していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の主な内容	男女共同参画センターだより「ソフィア」、市報に掲載の「女と男のいきいきライフ」をいっそう充実させ、男女共同参画の広報・啓発を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	発行回数			3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	3回	3回	1回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 広報誌ソフィアで、男女共同参画センターをPRすることに加えて、男女共同参画の視点を持った男性育休やデートDVなどの記事により、読者に対して男女共同参画についての諸問題について啓発した。					
	(取組の効果と課題) 紙媒体だけでなく、全国の男女共同参画施設等へ電子メールでの配布を行った。 当センターのより効果的な啓発方法が課題である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女共同参画の広報・周知に努めていくとともに、当啓発誌・当センターの認知度向上にも努めていく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	広報誌や広報番組などで情報発信を行う際に、男女共同参画の視点を持って情報発信を行うよう努めます					
担当室課	広報課					
事業名 (※複数記入可)	広報事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するための取組内容) 各種広報活動を行うにあたり、性別による固定的な役割分担を助長することのないように、文字・画像などを活用した表現に誤りや偏りがないよう注力した。					
	(取組の効果と課題) 令和4年度の広報活動において、男女共同の視点で問題となるようなことはなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	市民グループ、NPOとの連携による広報・啓発に取り組みます					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	「女と男のいきいきライフ」の市報掲載			年に1回 (令和2年度から)		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	2回	2回	1回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市報すいた11月号に市民スタッフとともに編集した「女と男のいきいきライフ」を掲載した。					
	(取組の効果と課題) 令和4年度は「理工系女子の進路選択を応援しよう」をテーマに、女性の参画が進んでいない理工系分野の状況や国の取組などを紹介し、男女共同参画社会の実現に向けた情報発信を行うことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	多くの方に関心をもってもらうために、様々な観点でテーマを検討していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	市民グループ、NPOとの連携による広報・啓発に取り組みます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業(市民グループ等自主企画支援、グループの会)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	3回	3回	3回	5回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	市民グループ等自主企画支援事業において、募集3団体に対し、応募2団体、採択が1団体であったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市民グループ等の講座(研修)企画を募集し、1団体に支援を決定し、子供の権利についての講座を開催した。 グループの会との共催で講演会(映画上映会)を開催した。					
	(取組の効果と課題) センターが企画するものとは一味違う内容の講座を開催することができるため、今後も様々な市民グループが応募できるよう、制度の広報・周知を行う必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	市内には様々なアイデアや企画力を持ったNPO等の団体も増えてきており、今後も積極的に支援していきたい。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の主な内容	市民意識調査、市内事業所調査を定期的実施するとともに、男女共同参画に係る研究を行い、その結果を市民に還元します。					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標値	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男女共同参画に関する市民意識・実態調査			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	-	-	調査対象18歳以上の市民2,000人に対して、1,068人が回答(有効回収率53.4%)	-	-	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	「すいた男女共同参画プラン」策定のための基礎資料とするため、次期プラン策定前に実施する。社会情勢を反映した市民意識調査となるよう、調査項目を精査する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の主な内容	市民意識調査、市内事業所調査を定期的実施するとともに、男女共同参画に係る研究を行い、その結果を市民に還元します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業(調査研究)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	隔年で調査研究を行い、次年度に報告書を発行し今後の事業に活かす			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	500部発行	テーマ：男性問題から見る男女共同参画～ジェンダー平等の実現と暴力・DV根絶に向けて～	1000部発行	テーマ：なぜ、男女共同参画は進まないのか？～男女共同参画センターの役割とこれからの課題～	500部発行	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 令和3年度に調査研究を行ったものを取りまとめ、冊子として発行し、市ホームページに掲載した。					
	(取組の効果と課題) 調査研究結果を踏まえ、次年度以降の事業実施に活かす。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	今後も男女共同参画に関わる様々なテーマについて調査研究し、事業実施に活かしていく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画に関する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業（情報収集・提供）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	図書貸出冊数			4,500冊以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	4,305冊	4,653冊	2,121冊	2,826冊	3,491冊	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館がなかったため。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>新着図書案内等を作成し、ホームページ等で公開した。また、情報ライブラリースタッフと協力し、図書紹介POP等を作成した。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>情報ライブラリー自体の認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	情報ライブラリーの認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	1	男女共同参画意識の醸成				
具体的取組	(4)	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画に関する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します					
担当室課	中央図書館					
事業名 (※複数記入可)	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,574,856冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 (うち電子書籍 207,822点を含む)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>他部署と行政課題を共有し、資料案内等他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、特集コーナーを設置するタイミングについては他部署と連携を図るなどして、資料の案内に努める。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	学校等における男女共同参画・男女平等教育の推進を年間計画の中で位置付け、全学校・全教職員に対して周知を図ります					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 年間計画に男女平等を含む人権教育について表記していき、乳幼児期の教育・保育の中で自分自身や友達のことを大切にできる態度や行動の育成に取り組み、人の気持ちを思いやる心を育めるようにした。					
	(取組の効果と課題) 子供達は、男女の枠にとらわれず多様な人達と親しみをもってかかわることができている。保育教諭等全職員自身が固定的な観念にとらわれないような考えで、教育・保育に取り組む視点や姿勢ができてきた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	新規採用職員が増える中、男女平等教育を含む人権教育についての推進を、年間計画の中で位置づけ意識が持てるようにする。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	学校等における男女共同参画・男女平等教育の推進を年間計画の中で位置付け、全学校・全教職員に対して周知を図ります					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男女平等教育の実施校数			54校 (全小・中学校)		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
	54校	54校	54校	54校	54校	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 年度当初に各校にて人権教育推進計画の作成し、周知を図る。					
	(取組の効果と課題) 年度末に人権教育担当者会や各校にて、人権教育推進計画について、振り返りを行い、校内の取組の成果と課題を共有し、次年度に向けての取組に生かすことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	学校等における諸活動での固定的な性別役割分担意識を見直し、改善します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 性別を意識したりとらわれたりしない、園運営の推進に取り組んだ。					
	(取組の効果と課題) 子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育活動を邁進するように努めた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性やもちあじを尊重した、教育・保育活動に取り組んでいく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	学校等における諸活動での固定的な性別役割分担意識を見直し、改善します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 性別による役割分担は原則なし。					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の主な内容	学級会、児童・生徒会役員の構成等において男女共同参画の視点で取り組みます					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 （※複数記入可）	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 男女で分けず、性別にとられない園運営（クラス運営）の推進に取り組んだ。					
	（取組の効果と課題） 性別にとられない子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組んだ。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	引き続き、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組む。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の主な内容	学級会、児童・生徒会役員の構成等において男女共同参画の視点で取り組みます					
担当室課	学校教育室					
事業名 （※複数記入可）	学級会、児童・生徒会					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ・男女それぞれを委員等に割り当てる取組の実施。 ・出席簿など男女混合名簿を作成し、男女にとられない取組の実施。					
	（取組の効果と課題） ・委員会や生徒会では男女にとられず、活動が行われている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も継続していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	教職員・保育士、教育相談員等専門職への男女共同参画研修を実施します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女平等を含む人権教育に関する研修に参加し、各園、保育教諭等で共通理解をし、性別にとらわれない教育・保育に取り組んだ。					
	(取組の効果と課題) 男女平等を含む人権教育に関する研修の機会を設け、保育教諭等一人ひとりが人権感覚を研ぎすますよう努めていき、教育・保育を行う。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	子供達が性別にとらわれず、一人ひとりの個性や本来持つ力を発揮できるようにしていく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	教職員・保育士、教育相談員等専門職への男女共同参画研修を実施します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	・教育活動支援事業 ・人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	人権教育担当者会の実施回数			年3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3回	3回	3回	3回	3回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 人権教育担当者会において、各校の実践を交流した。					
	(取組の効果と課題) 初任者研修にて、男女平等教育を含めたテーマで「人権について考える～人権教育の推進と様々な人権課題～男女平等教育について セクシュアル・ハラスメントの防止と対応 ハンセン病について」という研修を行った。男女平等教育の在り方について考えを深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	教職員・保育士、教育相談員等専門職への男女共同参画研修を実施します					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	教職員研修事業					
目標	研修内容に対する肯定的評価率			(とても良い、良い) 100%		計画推進の 指標の番号
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値	2講座実施 平均95.3%	3講座実施 平均98.8%	4講座実施 平均96.5%	5講座実施 平均97%	5講座実施 平均98.2%	
実績値における 前年度との 増減理由	引き続き、ワークなど体験的に学べる内容を取り入れた研修を実施した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 学校における今日の課題を把握し、多面的な視点から人権教育に資する研修を実施した。					
	(取組の効果と課題) 様々なキャリアステージに応じた研修を実施した。研修受講者が各校で啓発につなげることができるよう、さらに研修内容の充実を図る。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	男女平等教育の際の指導方法に関する教職員への研修の充実を図ります					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教育・保育施設に対して、男女平等教育を含む人権教育に関する研修を実施し、専門講師から具体的な指導法（言葉かけや援助の仕方等）について学ぶ機会を設けた。					
	(取組の効果と課題) 研修を受講したり園内研修を行ったりして、教育・保育における人権感覚形成や性別にとらわれない言葉かけ等、具体的な指導法について学びを深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	子供達が「男女」の枠組みにとらわれないような感覚を育ていけるよう、引き続き研修の機会を設け、教育・保育内容や指導法の学びを深める。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	男女平等教育の際の指導方法に関する教職員への研修の充実を図ります					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	教職員研修事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修内容に対する肯定的評価率			(とても良い、良い) 100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2講座実施 平均96.5%	2講座実施 平均100%	3講座実施 平均96.5%	4講座実施 平均97.5%	4講座実施 97.8%	
実績値における 前年度との 増減理由	引き続き、ワークなど、体験的に学べる内容を研修に取り入れた。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 学校における今日の課題を把握し、多面的な視点から人権教育に資する研修を実施した。					
	(取組の効果と課題) 様々なキャリアステージに応じた研修を実施した。研修受講者が各校で啓発につなげることができるよう、さらに研修内容の充実を図る。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	乳幼児からの男女平等の視点をもった教育・保育を実施します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I - ③
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 性別にとらわれない園運営（クラス運営）の推進に取り組んだ。					
	(取組の効果と課題) 性別にとらわれることなく、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組んだ。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組む。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	教科書・教材・遊具・絵本・制服・保護者向け通知等をジェンダーにとらわれない視点から見直します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	設定なし			設定なし		計画推進の 指標の番号
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値						
	実績値における 前年度との 増減理由					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園において、教材・遊具・絵本・保護者向け通知等を選定しているか見直しをした。					
	(取組の効果と課題) ジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園で、教材・遊具・絵本・保護者向け通知等を選定していた。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)		引き続きジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園で教材・遊具・絵本・保護者向け通知等を選定していく。				

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	教科書・教材・遊具・絵本・制服・保護者向け通知等をジェンダーにとらわれない視点から見直します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	教科書採択					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	実績値における 前年度との 増減理由					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教科書採択の調査項目に「人権の取扱い」を取り入れている。					
	(取組の効果と課題) 「内容」「配列」「創意工夫」だけでなく、人権にも配慮した教科書採択を実施できる。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)		今後も、調査項目に「人権の取扱い」を入れていく。				

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画・男女平等教育を推進するための図書・教材等を充実させます					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育関係視聴覚教材貸出事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	人権教育関係視聴覚教材の充実			大人向けのものが多いため、小中学校の授業の中で活用できる映像等が少ない		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	男女平等教育関係 ビデオ総本数8本	男女平等教育関係 ビデオ総本数8本	男女平等教育関係 ビデオ総本数8本	男女平等教育関係 ビデオ総本数8本	男女平等教育関係 ビデオ総本数8本	
実績値における 前年度との 増減理由	貸出については、他の分野に比べると貸出数が少ないため、新たな購入は行っていない。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ・人権教育担当者会、初任者研修等にて、周知を行う。					
	(取組の効果と課題) 大人向けのものが多く、小学校や中学校の授業で活用できる映像が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	児童生徒の実態に即した教材が必要である。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	ジェンダーにとらわれず、児童生徒の能力や進路希望等に応じて進路指導を実施します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	進路指導協議会の開催			年8回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	9回	9回	9回	9回	9回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ・進路指導協議会と連携し進路に関わる連絡等を行い、情報交換を図る。 ・公立高校において教職員対象の高等学校見学及び研修会を実施。 ・進路相談におけるタクシーの配車。					
	(取組の効果と課題) ・各校の進路指導主事を中心とした、組織的、計画的、継続的な進路指導の充実。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型研修が実施できない場合は、オンライン研修を実施。 ・願書作成におけるミスがあった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	・今後も進路指導協議会は同じ回数開催するとともに、高校見学会や研修会は引き続き実施する。 ・高等学校への不本意進学及び中途退学防止の観点から、中高連携の促進。 ・進路未定者への継続的な連携。 ・調査書作成におけるマニュアルの作成。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の主な内容	スクール・セクハラ防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります					
担当室課	学校教育室					
事業名 （※複数記入可）	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	校長・教頭指導連絡会での指導			年1回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	3回	3回	3回	
実績値における 前年度との 増減理由	吹田市立小・中学校におけるハラスメント防止及び対応に関する指針等の周知を行った。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ・校長指導連絡会・教頭指導連絡会にて、管理職に対してセクハラ担当相談窓口のメンバー構成や対応、周知について指導した。 ・吹田市立小・中学校におけるハラスメント防止及び対応に関して周知を行った。					
	（取組の効果と課題） ・市立小・中学校54校全ての学校に対窓窓口が設置されている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	研修などで、今後も周知していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の主な内容	スクール・セクハラ防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります					
担当室課	教育センター					
事業名 （※複数記入可）	来所・電話相談事業 出張教育相談事業 スクールカウンセラー配置事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市内保育所・幼稚園 / 市内小・中学校への教育相談チラシの配布率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配布					
	（取組の効果と課題） 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(1)	学校（保育所、幼稚園を含む）における男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組の 主な内容	各校の男女平等教育の実践交流を深めます					
担当室課	学校教育室					
事業名 （※複数記入可）	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	人権教育担当者連絡会			年3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③
	3回	3回	3回	3回	3回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 人権教育担当者連絡会において、中学校ブロックごとに各学校の男女平等教育の交流を行っている。					
	（取組の効果と課題） 中学校ブロックごとに交流を行うことで、小学校、中学校で切れ目のない男女平等教育の取組みを継続できる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も継続して実施していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画センター、公民館等における男女共同参画に関する講座を充実します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 （※複数記入可）	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	連続講座実施施設数			公民館3館		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	3館 達成率100%	3館 達成率100%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響による不実施のため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）					
	（取組の効果と課題）					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	新しい生活様式に対応するため、オンラインの活用を検討する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画センター、公民館等における男女共同参画に関する講座を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業・DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	主催講座開催数及び延受講者数			70 講座以上 / 5,600 人以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	I - ③ I - ④
	78 講座 5,734 人	79 講座 4,912 人	58 講座 3,717 人	80 講座 5,171 人	79 講座 5,012 人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) その時々々の社会情勢を考慮して、様々な講座を開催した。コロナ禍が続く中、受講定員を縮小する必要があったため、講座の実施回数を増やすなど工夫した。また、オンライン講座も積極的に開催した。					
	(取組の効果と課題) オンライン講座の開始により、今までなかなか来所できなかった層(遠方の人、子育て中の人、障がいのある人など)も受講してもらえるようになった。今後も市民のニーズをとらえ、魅力的な講座と開催方法の工夫を行っていく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A : 貢献している(目標値を満たしている等) B : 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C : 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価が B・C の場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	オンライン講座と対面式講座のメリット・デメリットを正しく分析し、より多くの市民に男女共同参画について知り、考えてもらう事業を展開していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	女性の経済的自立に向けた情報提供や学習機会等を充実します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	連続講座実施施設数			大学 5 校 公民館 3 館		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	I - ① I - ④
	大学 3 校 達成率 60% 公民館 3 館 達成率 100%	大学 3 校 達成率 60% 公民館 3 館 達成率 100%	大学 0 校 達成率 0% 公民館 0 館 達成率 0%	大学 0 校 達成率 0% 公民館 0 館 達成率 0%	大学 0 校 達成率 0% 公民館 0 館 達成率 0%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響による不実施のため。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に 対する事業の評価	A : 貢献している(目標値を満たしている等) B : 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C : 見直しが必要(目標値の50%未満等)				C	
今後の方向性 (評価が B・C の場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	新しい生活様式に対応するため、オンラインの活用を検討する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	女性の経済的自立に向けた情報提供や学習機会等を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業、DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延受講者数			700人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
	741人	581人	250人	353人	470人	
実績値における 前年度との 増減理由	女性向け起業支援講座と、在宅ワーク講座の回数を増やしたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 女性向け起業支援講座、在宅ワークに関する講座、子育て中の女性を対象にした再就職支援講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) ウィズコロナ・ポストコロナの働き方に対応した内容が好評だった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	最新の情報にアップデートされた講座を企画していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	男性を対象とした男女共同参画に関する講座・学習会を拡充するとともに、男性参加者の促進を図ります					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	公民館講座事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	講座開催館数			20館		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
	14館 達成率70%	12館 達成率60%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による公民館の利用制限に伴い、対象となる主催講座が不実施となったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) オンライン講座の開催に必要な機器を配置する等、環境整備を行った。					
	(取組の効果と課題) 設備は整ったが、開催に必要なノウハウの構築が課題である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	公民館の利用制限が解除となったため、コロナ禍以前の講座運営とともに、オンラインを活用した講座の開催について検討する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	男性を対象とした男女共同参画に関する講座・学習会を拡充するとともに、男性参加者の促進を図ります					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男性対象講座の延受講者数			250人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-① I-④
	290人	241人	53人	80人	100人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の定員を制限し、安全に配慮しながら開催した。 初心者向け男性料理講座と父と子の料理講座を年度内に2部制で2回ずつ開催した。 「夫婦で子育て」をテーマにした講座を開催し、プログラムの中で父親と子供が遊ぶ時間を設けた。					
	(取組の効果と課題) 料理以外の家事をテーマにした講座の企画も検討する。また、オンラインを活用するなど、より広い層への啓発を広げていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	開催方法や日時について、就労している男性が参加しやすい講座を企画する。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	市内の大学との連携による男女共同参画のための講座を実施します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	連続講座実施施設数			大学5校		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	大学3校 達成率60%	大学3校 達成率60%	大学0校 達成率0%	大学0校 達成率0%	大学3校 達成率60%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら講座を開催したから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 対面形式とオンライン配信から受講方法を選べる講座を1大学で開催した。「父親の育児・母親の育児」をテーマとした講座を行った。					
	(取組の効果と課題) オンライン配信を実施したところ、参加者全体の1/3がオンライン受講となり、コロナ後も安心して講座に参加できる方法として継続する 必要を感じた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	未実施の2大学との開催を模索していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	市内の大学との連携による男女共同参画のための講座を実施します。					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業（デートDV予防啓発出前講座）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	講座開催校数（市内の大学）及び開催回数			全校実施（5校）		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	3校/6回	3校/4回	1校/1回	3校/4回	2校/3回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 大学連携推進協議会の場を通して、PRを行った。					
	（取組の効果と課題） まだ実施していない市内の大学での実施や、より多くの対象者に向けて実施できるよう大学担当者と連携を図っていく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	大学連携推進協議会の場を通して、PRを継続していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の 主な内容	夢つながり未来館等を活用した子供への男女共同参画のための啓発活動を行います					
担当室課	青少年室					
事業名 (※複数記入可)	夢つながり未来館、自然体験交流センター及び自然の家における事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	自然体験活動や各種イベントを通じて男女共同参画に関する認識と理解を深める			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	3施設（夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家）の利用者数 508,429人	3施設（夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家）の利用者数 467,202人	3施設（夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家）の利用者数 254,708人	3施設（夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家）の利用者数 327,120人	3施設（夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家）の利用者数 408,133人	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として施設を利用人数を制限したものの、一部制限緩和しているため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 青少年が男女の区別なく協力して創作できる環境を整え、宿泊施設では自然に触れながら男女の区別なく炊事活動や野外活動を行う場を提供した。					
	（取組の効果と課題） 夢つながり未来館等における事業は、炊事活動や野外活動等を通じて、男女が共に対等な存在であるという意識形成につながるものと考えている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き各施設において、男女共同参画に関する認識や理解を深めるための啓発活動を行い、次代を担う子供たちの男女共同意識形成につながる事業展開を行う。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の主な内容	夢つながり未来館等を活用した子供への男女共同参画のための啓発活動を行います					
担当室課	青少年クリエイティブセンター					
事業名 (※複数記入可)	利用者交流事業「親子ふれあい体操」、「親子でダンス」、「おんゐkids♪音楽あそび」					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	各教室の募集定員			80%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	応募者数/定員 ・親子ふれあい 124組/60組 207% ・すてっぷこっこ 34組/40組 85% ・親子でダンス 10組/10組 100% ・おんゐkids 374組/400組 94%	応募者数/定員 ・親子ふれあい 90組/60組 150% ・～親子と一緒に～骨 盤ケア&ヨーガ 45組 /60組 75% ・親子でダンス 34組/30組 113% ・おんゐkids 392組/400組 98%	応募者数/定員 ・親子ふれあい 45組/30組 150% ・親子でダンス 34組/20組 170% ・おんゐkids 233組/210組 111%	応募者数/定員 ・親子ふれあい 59組/30組 131% ・親子でダンス 34組/30組 113% ・おんゐkids 240組/240組 100%	応募者数/定員 ・親子ふれあい 68組/45組 152% ・親子でダンス 30組/30組 100% ・おんゐkids 315組/330組 95.5%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症が拡大している中ででの事業実施となったが、感染拡大防止対策を徹底して事業を実施した。応募者数が定員を上回った事業もあるが、下回った理由としては新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら事業を実施した。 親子の交流を図る事業への関心が高く、参加者のニーズに応えるような事業を実施した。					
	(取組の効果と課題) 就学前の親子事業への関心が高く、保護者を対象に事業終了後にアンケートを実施している。 アンケートの結果を参考に、内容等の充実をはじめ利用者ニーズに応える事業を展開していく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(2)	男女共同参画のための生涯学習の推進				
具体的取組の主な内容	シニアを含む幅広い層を対象とした市民大学において男女共同参画に関する学習機会を提供します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	連続講座実施施設数			大学5校		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	I-③ I-④
	大学3校 達成率60%	大学3校 達成率60%	大学0校 達成率0%	大学0校 達成率0%	大学3校 達成率60%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら講座を開催したから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 対面形式とオンライン配信から受講方法を選べる講座を1大学で開催した。「父親の育児・母親の育児」をテーマとした講座を行った。					
	(取組の効果と課題) オンライン配信を実施したところ、参加者全体の1/3がオンライン受講となり、コロナ後も安心して講座に参加できる方法として継続する 必要を感じた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	未実施の2大学との開催を模索していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(3)	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成				
具体的取組の主な内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー（メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力）を高める学習機会を提供します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延受講者数			600人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	644人	413人	272人	317人	405人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 男女共同参画センターで活動する市民スタッフの養成講座（連続講座）や映画を通して学習の機会を提供した。					
	（取組の効果と課題） 若年層への啓発方法を考えていく必要がある。 上映会は、参加希望者が多く抽選になることが多かったため、定員や実施回数を見直していく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	定員や実施回数の見直しをしていく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(3)	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成				
具体的取組の主な内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー（メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力）を高める学習機会を提供します					
担当室課	中央図書館					
事業名 （※複数記入可）	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業、主催行事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,574,856冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 （うち電子書籍 207,822点を含む）	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。					
	（取組の効果と課題） 他部署と行政課題を共有し、資料案内等他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(3)	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成				
具体的取組の主な内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー（メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力）を高める学習機会を提供します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 （※複数記入可）	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	連続講座実施施設数			大学5校		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	大学3校 達成率60%	大学3校 達成率60%	大学0校 達成率0%	大学0校 達成率0%	大学3校 達成率60%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら講座を開催したから。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 対面形式とオンライン配信から受講方法を選べる講座を1大学で開催した。メディア等から信頼性の高い情報を収集する方法についての内容が含まれる講座を「子育てを経済学で考える」のテーマで行った。					
	（取組の効果と課題） オンライン配信を実施したところ、参加者全体の1/3がオンライン受講となり、コロナ後も安心して講座に参加できる方法として継続する必要を感じた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	未実施の2大学との開催を模索していく。					

基本方向	I	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革				
基本課題	2	男女共同参画・男女平等教育の推進				
具体的取組	(3)	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成				
具体的取組の主な内容	学校等において、インターネットをはじめ様々なメディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現や、性・暴力表現など女性の人権を侵害する情報に対して、主体的に対応できる能力を育成するためのメディア・リテラシー教育を充実させます					
担当室課	教育センター					
事業名 （※複数記入可）	教職員対象 情報モラル・セキュリティ研修（デジタル・シティズンシップ教育研修）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修アンケートの満足度			100%（肯定的解答）		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	- ①
	91%	99%	89.50%	96%	97.7%	
実績値における 前年度との 増減理由	デジタル・シティズンシップの考え方が浸透し、有用性が実感できる研修となってきた。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 初任者や担当者だけでなく、幅広いキャリアステージにおいて研修を実施し、デジタル・シティズンシップ教育の価値について理解を広げるよう取り組んだ。					
	（取組の効果と課題） デジタル・シティズンシップ教育については、学んだことを実際に生活の中で生かすために、さらに保護者と児童・生徒がともに学ぶ必要性が高まっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）						

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向Ⅱ

就労の場における男女共同参画の推進

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(1)	長時間労働の削減				
具体的取組の 主な内容	事業者における労働時間短縮の方策について啓発を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	通年実施 3,650部	通年実施 2,000部	通年実施 チラシ4,000部 冊子200部	通年実施 2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>市ホームページで育児・介護休業法に定められた両立支援制度とハラスメント防止について掲載。 みんなで学ぶワークルールセミナーにおいて「働き方改革とダイバーシティ」をテーマにセミナーを開催。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>長時間労働の削減を実現させるためには、事業主及び労働者を含めた市民に継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(2)	仕事と家庭、地域活動等を両立させるライフスタイルについての啓発				
具体的取組の 主な内容	働き続けやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延受講者数			120人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	114人	143人	63人	126人	145人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>「夫婦で子育て」をテーマにした講座を休日に実施した。 就労者向けのストレス解消をテーマにした講座を夜間に実施した。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>対象者に合わせて休日や夜間に開催することで、普段センターを利用していない人にも受講してもらうことができた。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	働きながら子育てをする人が多く、「夫婦で子育て」をテーマにした講座はニーズが高いため、今後も継続して実施していきたい。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(2)	仕事と家庭、地域活動等を両立させるライフスタイルについての啓発				
具体的取組の主な内容	働き続けやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや講座を開催します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	北摂4市働き方セミナー「人生をMore enjoy! More happyに! はたらく人のタイムマネジメントセミナー」参加者82名	北摂4市働き方セミナー「私にとって何が大切? 「働き方改革」を知って、自分のキャリアを考える」参加者32名	北摂4市働き方セミナー「有給休暇の取得と時間外労働の上限規制」参加者15名	みんなで学ぶワークルールセミナー「男性育休の取得促進」参加者22名	みんなで学ぶワークルールセミナー「男性の育児休業取得」参加者7名	
実績値における前年度との増減理由	社会情勢等に応じてさまざまなテーマに関するセミナーを開催しているため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である摂津市で「男性育休の取得促進」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 男性の育児休業取得促進がワークライフバランスにつながることから、市民や事業者が情報を得られるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(2)	仕事と家庭、地域活動等を両立させるライフスタイルについての啓発				
具体的取組の主な内容	市報や啓発誌を利用して、男性の家事・育児・介護への参画事例を紹介します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男性の家事・育児・介護への参画を推進する記事を掲載する			年に1記事以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	1記事/ソフィア94号で「家事シェア」を特集。	1記事/ソフィア98号で、講座レポート「超初心者向け男の料理教室」を掲載。	1記事/ソフィア99号で講座「子供がワクワクするパパになる」を掲載。	1記事/ソフィア101号で講座「男性向けアングーマネジメント」を掲載。	3記事/ソフィア102号で「知っていますか? 男性育休」、「話すことから始めよう」、ソフィア103号で「プロに学ぶパパと子供のクッキング」を掲載。	
実績値における前年度との増減理由	男性向けの相談の開始等の記事を積極的に掲載したため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ソフィア102号では、「知っていますか? 男性育休」と題して特集を組み、事業所や市役所での男性育休の取得についてのインタビュー記事等を掲載し、啓発を行った。同号では、令和4年6月から開始した男性のための電話相談について「デュオでも男性電話相談を始めました! 話すことから始めよう」も掲載し、周知を図った。ソフィア103号では、「プロに学ぶパパと子供のクッキング~休日のランチを作ろう! ~」と題して、父子の料理教室について掲載し、周知を図った。					
	(取組の効果と課題) 様々な掲載記事を通じて、啓発が出来たと考えている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	引き続き男性の家事・育児・介護参画促進を支援できるよう啓発を行う。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、定年後の男性のための講座を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延男性受講者数			200人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	216人	212人	23人	48人	61人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 春と冬に初心者向け男性料理講座を実施した。コロナ禍での受講者数を縮小する対応の中で、特に料理教室は調理台の共用の制限により、大幅な受講者数の縮減となるため、実施回数を増やす対応を行った。(それでも、コロナ前の実績とは開きが大きい。)					
	(取組の効果と課題) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初心者向け男性料理講座で運営の補助をするボランティアスタッフの研修は実施できなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	実施時期や定員、実施回数を見直していく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、定年後の男性のための講座を充実します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	公民館講座事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	講座開催館数			20館		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	14館 達成率70%	12館 達成率60%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	0館 達成率0%	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による公民館の利用制限に伴い、対象となる主催講座が不実施となったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) オンライン講座の開催に必要な機器を配置する等、環境整備を行った。					
	(取組の効果と課題) 設備は整ったが、開催に必要なノウハウの構築が課題である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	公民館の利用制限が解除となったため、コロナ禍以前の講座運営とともに、オンラインを活用した講座の開催について検討する。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性の育児・介護休業の取得に向けて啓発を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			1回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ－③
	—	1回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 夫婦で受講できる回を作り、日曜日にオンラインで開催した。					
	(取組の効果と課題) 日曜日に開催した回は夫婦で受講してもらうことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、夫婦で受講できる講座を検討する。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性の育児・介護休業の取得に向けて啓発を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発チラシ作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ－③
	通年実施 3,650部	通年実施 2,000部	通年実施 チラシ6,000部 冊子200部	通年実施 2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページで育児・介護休業法に定められた両立支援制度について掲載。 「育児・介護と仕事の両立のための応援ガイドブック」を100部発行。					
	(取組の効果と課題) 市民にとって重要な法改正等、男性の家事・育児・介護への参画に係る情報について多様な媒体により提供・啓発していくことは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	チラシによる啓発を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性の育児・介護休業の取得に向けて啓発を実施します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ－③
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男性の育児・介護休業の取得に向けて「吹田市職員のための子育て・介護応援ハンドブック」を用いて情報共有や啓発をして、育児・介護休業を取得できるような職員の意識や職場環境を整えることに努めた。					
	(取組の効果と課題) 男性の育児休業取得者は増えつつあるが、介護休業取得については利用がなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き男性の育児・介護休業取得に向けて、職場環境を整えていく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	男性の育児・介護休業の取得に向けて啓発を実施します					
担当室課	中央図書館					
事業名 (※複数記入可)	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,574,856冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ－③
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 (うち電子書籍 207,822点を含む)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。					
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、特集コーナーを設置するタイミングについては他部署と連携を図るなどして、資料の案内に努める。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	子供や青少年を対象とした家事・育児・介護の学習や体験活動、学校と連携した出前講座を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延参加者数（子供・青少年）			20人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	12人	12人	8人	7人	16人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 子供が積極的に家事に参加することを促すため、父と子で協力して料理をする講座を、夏休みと春休みに実施した。新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら、一定の受講者数で実施することができた。					
	（取組の効果と課題） 新型コロナウイルスの感染状況の改善に合わせ、定員を増やしていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	定員や実施回数を見直していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	子供や青少年を対象とした家事・育児・介護の学習や体験活動、学校と連携した出前講座を実施します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	認知症サポーター養成事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	令和3年度末までに33,650人養成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座開催ができなかったことから、令和3年度以降の養成目標数を下方修正した。			令和3年度末養成者数 28,190人 令和4年度末養成者数 29,800人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	24,390人 /72.5% 講座回数：77回	26,657人 /79.2% 講座回数：63回	26,906人 /80.0% 講座回数：17回	27,434人 /97.3% 講座回数：32回	28,386人 /95.3% 講座回数：42回	
実績値における 前年度との 増減理由	令和3年度以降の養成目標数を下方修正し、オンライン開催も併用しながら、令和3年度の養成者数528人を大幅に上回り952人養成ができたものの、下方修正した当初の想定より開催回数が少なく目標値には達しなかった。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 令和4年7月には小学生とその保護者を対象とした講座を健都ライブラリーで開催した他、令和5年1月には小学校において6年生を対象に講座を開催した。地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等でのポスター掲示及びちらし配布、市報やホームページへの掲載、市の介護予防教室等で周知を図っている。「全国キャラバン・メイト連絡協議会」の「新しい生活様式」における講座開催の基準に沿って、事業所向け、市民向けの講座をオンライン開催で行った。また、市民向けの講座を2回、土曜日開催とした。認知症サポーターがより具体的な活動をするためチームオレンジの構築を目指し、認知症サポーターステップアップ講座の開催を行った。					
	（取組の効果と課題） 市民向け認知症サポーター養成講座を複数回オンラインで開催することで、参集での参加が難しい層に対しても養成することができた。チームオレンジ構築に向け、認知症の人や家族のニーズを認知症サポーターや多職種支援者となつた仕組みを検討していく。実践の場が必要となる認知症の知識や、認知症の人と交流し、必要に応じて手助けするためのスキルを習得する認知症サポーターステップアップ講座の開催を行う。認知症サポーター活動登録者をシステム管理し、地域包括支援センターが登録者の活動希望内容に応じて活動場所の調整を行うことで、地域でのサポーター活動に繋げる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	市民向けや事業者向けの認知症サポーター養成講座を開催するとともに、地域の企業や小中学校等にも働きかけ、併せてオンライン開催の継続も行っていく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	子供や青少年を対象とした家事・育児・介護の学習や体験活動、学校と連携した出前講座を実施します					
担当室課	青少年室					
事業名 (※複数記入可)	調理イベント					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	青少年同士の交流や自主性・協調性を育むこと、 生きる力・生活力の向上等			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	参加者…48人	参加者…52人	参加者…10人	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため 実施できず。	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため 実施できず。	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	青少年交流活動支援事業の一環として、今後も様々な活動を通じて自主性・協調性を育むことや生きる力・生活力の向上等を目標に事業を充実させていく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	保育所、幼稚園、小・中学校、さまざまな育児施設における父親向けのプログラムを充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			1回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	2回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。					
	(取組の効果と課題) センターに初めて来たという受講者が多く、啓発の効果があった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	ニーズが高く、受講者の満足度も高い講座であるので、継続して実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の主な内容	保育所、幼稚園、小・中学校、さまざまな育児施設における父親向けのプログラムを充実します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) コロナ禍のため、父親向けのプログラム等の計画ができなかった。					
	(取組の効果と課題) 在園児は、送迎や行事等に父親が関わったり参加したりすることが増えており、地域支援事業においても少数ではあるが参加されている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	父親が参加してみたいと思えるようなプログラム等を検討し、実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の主な内容	男性の育児・介護休業の取得に向けて啓発を実施します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊産婦相談支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	妊娠届出時等の面接率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ－③
	94.0%	94.2%	84.1%	88.6%	91.7%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の流行についてやや警戒がおちついてきたと考えられ、来所率が若干上昇してきていると考えられる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 妊娠届出時の面接時に、父親の育休取得についての啓発冊子を配付するなど、育休取得と育児参画について啓発している。またLINEセグメントで産前産後の時期に育休取得の啓発メッセージを配信している。令和5年2月よりオンライン面談を開始。					
	(取組の効果と課題) 啓発の効果測定は困難だが、引き続き啓発を実施。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(3)	男性の家事・育児・介護への参画が可能となるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	保育所、幼稚園、小・中学校、さまざまな育児施設における父親向けのプログラムを充実します					
担当室課	のびのび子育てプラザ					
事業名 (※複数記入可)	父親向け親子教室					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催日数、参加人数			48日、1,152人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	開催日数 46日 参加人数 1,133人	開催日数 34日 参加人数 787人	開催日数 1日 参加人数 9人	開催日数 24日 参加人数 282人	開催日数 48日 参加人数 640人	
実績値における 前年度との 増減理由	父親を対象に親子教室を開催した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 特に月齢の小さい赤ちゃんの父親が子への関わりに自信が持てるように工夫できた。					
	(取組の効果と課題) 父親が子への関わりに自信が持てるように工夫できた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取組みつつ前年度よりも開催日数を増やし、また密にならないように参加人数を制限して開催したが、目標値には達しなかった。しかしながら、小さい赤ちゃんに接する父親向けの親子教室の参加者の満足度は高く、非常に貢献している事業として引き続き継続して取り組む。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(4)	育児休業・介護休業等の取得が促進されるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	育児休業・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けた事業者向けセミナーや講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業（事業者向け研修会）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	1回	2回	0回	0回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	事業者に実施を呼びかけたところ、2事業者から出前講座の希望があったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 約80事業所が加入する吹田企業人権協議会会員に対して出前講座の実施を呼びかけたところ、2事業者から希望があった。ハラスメント対策や意見が出しやすい職場など働きやすい職場づくりをテーマにした出前講座を実施した。					
	(取組の効果と課題) ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティなど様々なテーマの出前講座の実施を呼びかけていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(4)	育児休業・介護休業等の取得が促進されるための環境整備				
具体的取組の主な内容	育児休業・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けた事業者向けセミナーや講座を開催します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 （※複数記入可）	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	なし	「育児・介護両立セミナー」開催 参加者9名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー（島本 町）「ワークライフパ ランスの実現に向けて」 開催 参加者12名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー「男性 育休の取得促進」参加 者22名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー「男性 の育児休業取得」参加 者7名	
実績値における 前年度との 増減理由	社会情勢等に応じてさまざまなテーマに関するセミナーを開催しているため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である摂津市で「男性の育児休業取得」をテーマにセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） 育児・介護休業法について、市民や事業者が情報を得られるセミナーを開催するなど、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(4)	育児休業・介護休業等の取得が促進されるための環境整備				
具体的取組の主な内容	育児休業・介護休業に関わる事業者支援について情報を提供します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 （※複数記入可）	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発チラシの発行			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-③
	通年実施 3,650部	通年実施 2,000部	通年実施 チラシ6,000部 冊子200部	通年実施 2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市ホームページで育児・介護休業法に定められた両立支援制度について掲載。 「育児・介護と仕事の両立のための応援ガイドブック」を100部発行。					
	（取組の効果と課題） 市民にとって重要な法改正等、育児休業・介護休業に関する情報について多様な媒体により提供・啓発していくことは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					B
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(4)	育児休業・介護休業等の取得が促進されるための環境整備				
具体的取組の 主な内容	妊娠・出産に関わる機能の保護について事業者へ啓発を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発チラシの発行			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-③
	なし	なし	チラシ4,000部 冊子200部	チラシ2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>市ホームページで育児・介護休業法に定められた両立支援制度について掲載。 「育児・介護と仕事の両立のための応援ガイドブック」を100部発行。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>市民にとって重要な法改正等、育児休業・介護休業に関する情報について多様な媒体により提供・啓発していくことは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(5)	保育環境の整備促進				
具体的取組の 主な内容	待機児童解消へ向け、保育の受け皿確保に取り組みます					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	特定教育・保育施設等整備支援事業 公立保育所等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	待機児童数			0人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①待機児童数（4月1日 時点） 55人 ②新たな保育の受け皿確 保数 8か所、238人	①待機児童数（4月1日 時点） 22人 ②新たな保育の受け皿確 保数 5か所、298人	①待機児童数（4月1日 時点） 16人 ②新たな保育の受け皿確 保数 3か所、116人	①待機児童数（4月1日 時点） 8人 ②新たな保育の受け皿確 保数 8か所、440人	①待機児童数（4月1日 時点） 0人 ②新たな保育の受け皿確 保数 1か所、100人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>私立保育所の整備により、新たな保育の受け皿を確保した。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>令和5年4月1日付け開所施設の整備を進め、全体で100人分の保育枠を拡大した。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、第2期吹田市子ども・子育て支援事業計画に示す保育必要量の見込みに基づいて確保方策の検討を進める。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進				
具体的取組	(5)	保育環境の整備促進				
具体的取組の主な内容	児童に放課後の家庭に代わる安心・安全な居場所と保育を提供します					
担当室課	放課後子ども育成室					
事業名 （※複数記入可）	留守家庭児童育成室管理事業、留守家庭児童育成室運営事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	留守家庭児童育成室の待機児童数			0人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	待機児童数 0人	待機児童数 2人	待機児童数 0人	待機児童数 0人	待機児童数 11人	
実績値における 前年度との 増減理由	入室児童数 3,243人	入室児童数 3,528人	入室児童数 3,674人	入室児童数 3,942人	入室児童数 4,400人	
	入室希望児童の大幅な増加に伴い、必要な指導員の確保ができなかったため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）					
	学校の放課後に保護者が就労・病気等の理由で家庭で保育できない児童に適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図っている。留守家庭児童育成室の入室希望児童が増加している状況を踏まえ、小学校の協力を得ながら、必要な施設の確保を進めた。また、指導員の欠員を解消するため、人材派遣サービス活用等により指導員の確保を行うとともに、令和5年度から運営業務を委託する2か所の留守家庭児童育成室において、委託事業者を選定した。更に、令和5年度の待機児童約200名の受皿として学校内に居場所をつくる取組を進めた。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）		留守家庭児童育成室において、増加している入室児童を受け入れるために引き続き、必要な施設の確保や指導員の確保、民間事業者への運営業務の委託等必要な取組を進める。また、待機児童が生じる育成室において、学校内の教室やグラウンド等を活用し、児童が安全に放課後を過ごすことができる居場所を確保する。				

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	労働関連法及びその指針等の周知・啓発に向けたセミナーや出前講座を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター主催事業（事業者向け研修会）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	1回	2回	0回	0回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	事業者に実施を呼びかけたところ、2事業者から出前講座の希望があったため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）					
	約80事業所が加入する吹田企業人権協議会会員に対して出前講座の実施を呼びかけたところ、2事業者から希望があった。ハラスメント対策や意見が出しやすい職場など働きやすい職場づくりをテーマにした出前講座を実施した。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）		引き続き、事業者に実施を呼びかけていく。				

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	労働関連法及びその指針等の周知・啓発に向けたセミナーや出前講座を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務(啓発)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	講座開催回数1回 「社会保険のいろは」 参加者 14名	なし	北摂4市働き方セミナー 「有給休暇の取得と時間外労働の上限規制」 参加者 15名	講座開催回数1回 「社会保険のいろは」 参加者 17名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー(島本 町) 「労働法の基礎知識」 参加者4名	
実績値における 前年度との 増減理由	募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である島本町で「労働法の基礎知識」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 労働関連法及びその指針など、事業主及び労働者を含めた市民に継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	働きやすい職場環境づくりのため、女性の労働に関する啓発冊子・リーフレットの発行や講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発リーフレットの発行数 / 対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	0部 / 1回	2000部 / 2回	0部 / 0回	0部 / 0回	0部 / 2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 啓発リーフレットの発行なし。 事業者から依頼を受け、働きやすい職場づくりを考える事業者向け研修を2回実施した。					
	(取組の効果と課題) オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	働きやすい職場環境づくりのため、女性の労働に関する啓発冊子・リーフレットの発行や講座を開催します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発チラシの作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	通年実施 1,650部	なし	通年実施 チラシ4,000部 冊子200部	なし	なし	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である高槻市で「女性の活躍推進」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 短時間・不安定雇用労働者の市民が情報を得られるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	パートタイム、派遣、嘱託など、短時間・不安定雇用労働者へ働き方についての情報を提供します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			1回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0回	0回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発のための講座を企画・開催するとともに、ホームページやSNS等を使った啓発を検討する。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(1)	参加型研修を含めた、事業者、労働者への男女共同参画の啓発				
具体的取組の主な内容	パートタイム、派遣、嘱託など、短時間・不安定雇用労働者へ働き方についての情報を提供します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	講座開催回数1回 「社会保険のいろは」 参加者 14名	なし	・みんなで学ぶワークルール セミナー「同一労働同一賃金」 参加者 26名 ・北摂4市働き方セミナー 「有給休暇の取得と 時間外労働の上限規制」 参加者 15名	講座開催回数1回 「社会保険のいろは」 参加者 17名	講座開催回数1回 「社会保険のいろは」 参加者 10名	
実績値における 前年度との 増減理由	募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 社会保険労務士による、社会保険の基礎的な内容を解説する市民向けのセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 短時間・不安定雇用労働者の市民が情報を得られるセミナーの開催は重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(2)	多様な人材を活かす職場づくりの促進				
具体的取組の主な内容	事業所におけるキャリア教育の必要性やダイバーシティ（多様性）などについて啓発を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業（事業者向け研修会）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	1回	2回	0回	0回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	事業者に実施を呼びかけたところ、2事業者から出前講座の希望があったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 約80事業所が加入する吹田企業人権協議会会員に対して出前講座の実施を呼びかけたところ、2事業者から希望があった。 ハラスメント対策や意見が出しやすい職場など働きやすい職場づくりをテーマにした出前講座を実施した。					
	(取組の効果と課題) ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティなど様々なテーマの出前講座の実施を呼びかけていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(2)	多様な人材を活かす職場づくりの促進				
具体的取組の主な内容	事業所におけるキャリア教育の必要性やダイバーシティ（多様性）などについて啓発を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 （※複数記入可）	労働行政事務（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	北摂4市働き方セミナー 「人生を More enjoy! More happy to! はたらく人のタ イムマネジメントセミナー」 参加者 82名	北摂4市働き方セミナー 「私にとって何が大切? 「働 き方改革」を知って、自分の キャリアを考える」 参加者 32名	北摂4市働き方セミナー （箕面市） 「私らしい働き方と キャリア形成」 参加者 16名	みんなで学ぶワークルールセ ミナー（高槻市） 「働き方改革」 参加者 14名	みんなで学ぶワークルールセ ミナー 「働き方改革とダイバーシ ティ」 参加者 7名	
実績値における 前年度との 増減理由	募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。 また、コロナ禍によりオンラインでも参加可能としたため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） みんなで学ぶワークルールセミナーで「働き方改革とダイバーシティ」としてセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） キャリア形成や多様な働き方の実現について、市民が情報を得られるセミナー開催や啓発冊子を作成することは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所における防止対策ガイドラインの策定と啓発を支援します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	（取組の効果と課題） オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所における防止対策ガイドラインの策定と啓発を支援します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成 セミナーの開催			2,000部 1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 0部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー「職場のハラスメント」 開催。 参加者25名	通年実施 0部	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるハラスメント」開催。 参加者15名	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（島本町）「職場にお けるハラスメント」開催。 参加者14名	吹田市ホームページに掲載 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるパワーハラスメント」開 催。 参加者8名	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。 募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」としてセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） 事業所における雇用主及び労働者に対し、ハラスメント防止に係る情報について情報提供や啓発をすることは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所への出前セミナー等による意識啓発を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業（事業者向け研修会）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	事業者に実施を呼びかけたところ、2事業者から出前講座の希望があったため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 約80事業所が加入する吹田企業人権協議会会員に対して出前講座の実施を呼びかけたところ、2事業者から希望があった。 ハラスメント対策や意見が出しやすい職場など働きやすい職場づくりをテーマにした出前講座を実施した。					
	（取組の効果と課題） ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティなど様々なテーマの出前講座の実施を呼びかけていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所への出前セミナー等による意識啓発を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成 セミナーの開催			2,000部 1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 0部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー「職場のハラスメント」 開催。 参加者25名	通年実施 0部	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるハラスメント」開催。 参加者15名	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（島本町）「パワーハ ラスメント」開催。 参加者14名	吹田市ホームページに掲載 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるパワーハラスメント」開 催。 参加者8名	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。 募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」としてセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） 事業所における雇用主及び労働者に対し、ハラスメント防止に係る情報について情報提供や啓発をすることは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所の相談体制の整備・拡充をめざし、相談担当者への啓発につながる情報提供を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	（取組の効果と課題） オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	事業所の相談体制の整備・拡充をめざし、相談担当者への啓発につながる情報提供を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	吹田市ホームページで 掲載
	通年実施 0部	通年実施 0部	通年実施 4,000部	通年実施 2,000部		
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページで事業所の相談体制について掲載。					
	(取組の効果と課題) 事業所における雇用主及び労働者に対し、ハラスメント防止に係る情報について情報提供や啓発をすることは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	相談担当者による二次被害防止のため、スキルアップ研修などを実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	(取組の効果と課題) オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	相談担当者による二次被害防止のため、スキルアップ研修などを実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」としてセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 事業所における雇用主及び労働者に対し、ハラスメント防止に係る情報について情報提供や啓発をすることは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	市職員への周知徹底と研修の充実、苦情処理制度の充実を図ります					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	2回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度行った対面形式の研修を実施せず、動画配信による研修のみ実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 反復学習やいつでも受講ができる、動画配信による研修の実施により、より多くの職員が効果的に研修を受講できる環境を整えました。					
	(取組の効果と課題) 引き続き、効果的な研修を実施することで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	2	事業者等への男女共同参画の啓発等の推進				
具体的取組	(3)	ハラスメント防止の取組				
具体的取組の主な内容	市職員への周知徹底と研修の充実、苦情処理制度の充実を図ります					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ハラスメントに関する申出件数			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0件	0件	0件	0件	0件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市男女共同参画苦情等処理委員制度についてホームページや市報で周知を図った。					
	(取組の効果と課題) 事業主に対し、ハラスメント防止のための雇用管理上の措置義務を課す等の法整備が進んでおり、苦情等処理委員制度へのハラスメントに関する苦情申立件数は減少すると考えられる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	労働関連法でのハラスメント防止対策の動向を注視しつつ、今後も広く苦情等処理委員制度の周知に努める。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(1)	再就職支援のネットワーク化など就労の支援				
具体的取組の主な内容	女性の労働についての情報・資料の収集と提供及び就職情報資料を提供します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	地域就労支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市無料職業紹介所において、就職情報資料提供や就労支援を行った。					
	(取組の効果と課題) JOBナビすいた及び吹田市無料職業紹介所において、就職情報資料提供や就労支援を行っており、相談から就業先のあっせんまで、就職への道筋をつけられている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(1)	再就職支援のネットワーク化など就労の支援				
具体的取組の主な内容	女性の労働についての情報・資料の収集と提供及び就職情報資料を提供します					
担当室課	中央図書館					
事業名 (※複数記入可)	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,574,856冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 (うち電子書籍 207,822点を含む)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。					
	（取組の効果と課題） 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の主な内容	在職者の能力開発、向上のための講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上/40人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1講座/33人	1講座/52人	1講座/12人	0講座/0人	1講座/44人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 産休・育休中の人を対象に、仕事と子育てを両立するためのスキルアップ講座を実施した。					
	（取組の効果と課題） 人に助けを求めるスキルやタイムマネジメントスキルを身に付ける機会を提供できた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き実施を検討する。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の 主な内容	在職者の能力開発、向上のための講座を開催します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	地域就労支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) JOBナビすいたにおいて、在職中の転職希望者も含む求職者に対し、能力向上を目的とした各種セミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 在職者も含めた様々な求職者のスキルアップに貢献している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の 主な内容	女性管理職増加のための研修会を開催し、意識啓発に努めます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延べ女性受講者数			1講座以上 / 40人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	1講座 / 26人	1講座 / 41人	1講座 / 12人	0講座 / 0人	0講座 / 0人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	(取組の効果と課題) 仕事帰りや休日に受講してもらえる講座を企画する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	開催方法や日時について、就労中でも参加しやすい講座を企画する。SNSを活用した広報を検討する。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の主な内容	女性管理職増加のための研修会を開催し、意識啓発に努めます					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務(啓発)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅱ-①
	なし	なし	北摂4市働き方セミナー(箕面市) 「私らしい働き方と キャリア形成」 参加者16名	なし	みんなで学ぶワーク ルールセミナー(高槻 市) 「女性の活躍推進」 参加者5名	
実績値における 前年度との 増減理由	様々なテーマのセミナーを実施している中、令和3年度は取組内容に合致するセミナーを実施しなかったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である高槻市で「女性の活躍推進」としてセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 女性活躍推進に関するセミナーを実施することは重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の主な内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高める取組を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上/50人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1講座/57人	1講座/59人	0講座/0人	1講座/16人	1講座/16人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 女子の理工系分野への進路選択を支援することを目的とした小学生対象の科学講座を実施した。					
	(取組の効果と課題) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を増やすことができず、多くの人に啓発するチャンスを活かすことができなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	定員や実施回数を見直していく。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の主な内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高める取組を実施します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	職業体験等支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	主に中学2年生を対象に職業体験の取組を行う学校数			18校(全校)		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	18校	18校	0校	0校	1校	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響により実際に現地を訪れての職業体験学習を見合わせた学校が多かったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新型コロナウイルス感染予防により、今年度は各校職業体験を予定していたが中止となった。 各学校でオンラインを活用する等、様々な工夫のもと、職業体験に代わる取組やを実施した。					
	(取組の効果と課題) 社会とのつながりを学ぶ機会であり、自己の個性や生き方、多様な進路選択を考える力を育成することに大きな意義を持つ学習である。 キャリア教育と4職業体験を単純にイコールとし、単発で完結するのではなく、各校のキャリア教育という大きな枠組みの中の職業体験として位置づけ、取9年間を見越した取り組み内容を研究する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	アフター流行前の形態にただ戻すのではなく、現地での体験やテクノロジーを活用した新たな方策等、最善の方策を研究する必要がある。					

基本方向	Ⅱ	就労における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(2)	正社員や専門職を目指した能力開発の支援				
具体的取組の主な内容	学校における職業体験学習の取組を実施します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	職業体験等支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	主に中学2年生を対象に職業体験の取組を行う学校数			18校(全校)		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	18校	18校	0校	0校	1校	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響により実際に現地を訪れての職業体験学習を見合わせた学校が多かったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 新型コロナウイルス感染予防により、今年度は各校職業体験を予定していたが中止となった。 各学校でオンラインを活用する等、様々な工夫のもと、職業体験に代わる取組やを実施した。					
	(取組の効果と課題) 社会とのつながりを学ぶ機会であり、自己の個性や生き方、多様な進路選択を考える力を育成することに大きな意義を持つ学習である。 キャリア教育と4職業体験を単純にイコールとし、単発で完結するのではなく、各校のキャリア教育という大きな枠組みの中の職業体験として位置づけ、取9年間を見越した取り組み内容を研究する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	アフター流行前の形態にただ戻すのではなく、現地での体験やテクノロジーを活用した新たな方策等、最善の方策を研究する必要がある。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(3)	官民が連携した起業の支援				
具体的取組の主な内容	多様な働き方についての情報を提供し、関連講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1 講座以上 / 150 人以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	1 講座 / 206 人	1 講座 / 152 人	1 講座 / 67 人	1 講座 / 77 人	1 講座 / 155 人	
実績値における 前年度との 増減理由	連続講座の回数を増やしたため。また、SNSを活用して周知したことで、受講希望者が増加したため。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 女性を対象に、起業・創業を支援するための連続講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 受講者同士が情報交換をする時間も設け、様々な情報を持ち帰ってもらった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、対象講座の企画・開催に加え、SNSも利用し、より広く啓発していく。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(3)	官民が連携した起業の支援				
具体的取組の 主な内容	多様な働き方についての情報を提供し、関連講座を開催します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1 回		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	北摂 4 市働き方セミナー 「人生を More enjoy! More happy に! はたらく人のタ イムマネジメントセミナー」 参加者 82 名	北摂 4 市働き方セミナー 「私にとって何が大切? 「働 き方改革」を知って、自分の キャリアを考える」 参加者 32 名	北摂 4 市働き方セミ ナー（箕面市）「私らし い働き方とキャリア形 成」 参加者 16 名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー（高槻 市）「働き方改革セミ ナー」 参加者 14 名	みんなで学ぶワーク ルールセミナー（高槻 市） 「女性の活躍推進」 参加者 5 名	
実績値における 前年度との 増減理由	募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにおいて、共催である高槻市で「働き方改革」としてセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 多様な働き方の実現について、市民が情報を得られるセミナーを開催することは重要であると考えている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(3)	官民が連携した起業の支援				
具体的取組の主な内容	起業の際の資金繰りなどの相談や情報を提供します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	産業競争力強化法に基づく創業支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	創業支援対象者数			496人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	創業支援対象者数 265人 (うち女性 76人)	創業支援対象者数 479人 (うち女性 194人)	創業支援対象者数 242人 (うち女性 106人)	創業支援対象者数 331人 (うち女性 134人)	創業支援対象者数 333人 (うち女性 135人)	
実績値における前年度との増減理由	令和3年度に続き新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたため、前年度対比微増となった。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 中小企業診断士の常駐する総合的なワンストップ相談窓口である「すいた経営革新支援センター (SaBiC)」及び地域経済振興室の窓口において、創業希望者に支援制度の案内や相談対応を行う。					
	(取組の効果と課題) 実際の創業者は37人であり、引き続き市の広報紙やホームページなどを活用し、事業の周知に努める。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している (目標値を満たしている等) B：改善が必要 (目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要 (目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	吹田商工会議所との情報交換を密にし、引き続き融資の相談やあっせん、補助金の交付、情報発信など起業・創業支援に積極的に取り組む。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(3)	官民が連携した起業の支援				
具体的取組の主な内容	資金面や事業活動面など企業に関する支援制度の拡充を検討します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	商工振興施策検討事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			4回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	開催回数 4回/100%	開催回数 4回/100%	開催回数 3回/75%	開催回数 4回/100%	開催回数 3回/75%	
実績値における前年度との増減理由	令和4年度は新型コロナウイルスによるアクションプランの対応及び議題とする案件が少なかったことから、吹田市商工業振興対策協議会の開催を3回とした。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 商工振興施策に関する事項について検討や見直しを行うにあたって、吹田市商工業振興対策協議会を開催し、外部からの必要な意見等を聴取する。					
	(取組の効果と課題) 商工業の振興を図る上で当面する課題に関する事項等について、学識経験者、商工業関係者等から必要な意見又は助言を聴取している。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している (目標値を満たしている等) B：改善が必要 (目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要 (目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	平成28年度から令和7年度までを計画期間とする吹田市商工振興ビジョン2025の推進に向け、令和2年度に策定した後期アクションプランに沿って、施策に取り組む。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(4)	積極的格差是正（女性の職域の拡大、管理職への登用）や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援				
具体的取組の 主な内容	男女共同参画の推進に積極的に取り組む企業を表彰する制度を検討します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	商工振興施策検討事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市のホームページで国や大阪府の女性活躍推進を進める事業者のデータベースの紹介をして、その制度の周知に努めている。					
	(取組の効果と課題) ホームページ以外の周知方法を検討していく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も市のホームページや市報等により、制度の周知を図る。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	3	女性の活躍推進				
具体的取組	(4)	積極的格差是正（女性の職域の拡大、管理職への登用）や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援				
具体的取組の 主な内容	市の入札制度において、事業所の男女共同参画への取組を評価することを検討します					
担当室課	契約検査室					
事業名 (※複数記入可)	契約事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	工事の総合評価落札方式の入札実施にあたり 男女共同参画への取組を評価に加える。			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 工事の総合評価落札方式で、令和4年度から「女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」のいずれかの認定を受けている。」ことを評価項目とした。					
	(取組の効果と課題) 入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進するものと考えているが、今後も引き続き、更に適切な評価項目を検討する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	4	相談・支援体制等の整備				
具体的取組	(1)	労働相談、法律相談等の充実				
具体的取組の主な内容	多様化、複雑化する相談事案に対応する専門性の向上を目指します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業（法律相談）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	法律相談の周知に努める			法律相談：月1回（7枠）		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	61件	58件	44件	55件	44件	
実績値における 前年度との 増減理由	令和3年度に比べ、法律的な相談希望者が減少したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 毎月第2土曜日に7枠、一人30分の相談を行った。					
	（取組の効果と課題） 相談を受けた人の満足度は高く、引き続き法律的な相談に貢献できた。 相談件数が令和3年度に比べ減少した理由は不明だが、周知の工夫の必要性を感じている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	女性を対象に、女性弁護士が土曜日に法律相談を行っている特徴を生かした周知の工夫を行いたい。					

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	4	相談・支援体制等の整備				
具体的取組	(1)	労働相談、法律相談等の充実				
具体的取組の主な内容	多様化、複雑化する相談事案に対応する専門性の向上を目指します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（労働相談）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 職場における健全な労使関係の確立、労働福祉の推進を図ることを目的として労働相談（第2水曜日に弁護士、第1・3・4・5水曜日に社会保険労務士による相談）を実施。					
	（取組の効果と課題） 解雇、賞金未払い、セクハラ、社会保険制度全般や労働災害に関すること等、様々な相談を受けている。相談を受けて問題解決に向けての今後取組むべき内容や課題整理に役立ったという声から多く寄せられ、効果があると考え。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅱ	就労の場における男女共同参画の推進				
基本課題	4	相談・支援体制等の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭、父子家庭等に対するネットワーク化も含めた支援				
具体的取組の 主な内容	母子、父子等、様々なかたちの家庭が抱える課題に応える相談・支援の充実と当事者間の交流機会の形成を促進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業、DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			3講座以上 / 30人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3講座 / 31人	3講座 / 38人	3講座 / 42人	3講座 / 42人	3講座 / 46人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) シングルマザーやシングルマザーになるかもしれない人を対象に、生き方の講座やマネー講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 先輩シングルマザーの話や受講者同士の交流が好評だった。シングルマザーに受講してもらいやすい工夫が必要。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続して当事者目線での講座企画や相談ができる場を作っていく。					

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向Ⅲ

ライフステージに応じた健康の保持・増進のために

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(1)	性と生殖に関する健康と権利に関する意識啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	女性のライフステージ別の学習など、性と生殖に関する健康と権利に関する知識の普及についての講座を開催します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各家庭教育学級において、助産師や思春期保健相談士といった専門的な知識を持った講師による「家庭でできる性教育」、「いのちと性のおはなし講座」をテーマとして、ジェンダーの理解、セクシュアリティと性的行動、性と生殖に関する健康について、情報共有及び学習の機会を作っている。					
	(取組の効果と課題) 各学級が企画する講座等を通じて、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間の交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(1)	性と生殖に関する健康と権利に関する意識啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	パートナーと共に学習する機会の設定に取り組みます					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各家庭教育学級において、助産師や思春期保健相談士といった専門的な知識を持った講師による「家庭でできる性教育」、「いのちと性のおはなし講座」をテーマとして、ジェンダーの理解、セクシュアリティと性的行動、性と生殖に関する健康について、情報共有及び学習の機会を作っている。					
	(取組の効果と課題) 各学級が企画する講座等を通じて、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間の交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(1)	性と生殖に関する健康と権利に関する意識啓発の推進				
具体的取組の主な内容	女性のからだと健康についての理解を深めるため、関連事業課担当職員への研修を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1 講座以上 /30 人以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	1 講座 /33 人	1 講座 /25 人	2 講座 /44 人	2 講座 /47 人	1 講座 /28 人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 年齢に応じたセルフケアの大切さを学ぶ講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) セルフケアを通して自分の身体に普段から関心を持ち、健康増進につなげることの大切さを伝えることができた。 受講希望者は多数いたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また、実技を盛り込んだ講座のため、多くの人に受講してもらったことができなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	より多くの人に受講してもらえる内容を検討する。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	家庭において子供たちを守るため、大人を対象とした学習会を開催します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各家庭教育学級において、助産師や思春期保健相談士といった専門的な知識を持った講師による「家庭でできる性教育」、「いのちと性のおはなし講座」をテーマとして、ジェンダーの理解、セクシュアリティと性的行動、性と生殖に関する健康について、情報共有及び学習の機会を作っている。					
	(取組の効果と課題) 各学級が企画する講座等を通じて、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間の交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の 主な内容	家庭教育に役立つガイドブックや書籍について情報提供を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業（情報収集・提供）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	図書貸出冊数			4,500冊以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	4,305冊	4,653冊	2,121冊	2,826冊	3,491冊	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館がなかったため。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>市立図書館とは異なり、男女共同参画の視点から選んだ蔵書となっており、専門書から一般書籍まで取り揃えている。講座開催前後には関連書籍を集めたコーナーを作り、受講者にリストを配布している。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>オンライン講座が増えているため、センターに来館してもらう機会が減っている。情報ライブラリー自体の知名度を高め、より一層利用者増やすための広報活動が必要である。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	情報ライブラリーの利用促進にSNSの活用を検討する。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の 主な内容	家庭教育に役立つガイドブックや書籍について情報提供を行います					
担当室課	中央図書館					
事業名 (※複数記入可)	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,545,372冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 (うち電子書籍 207,822点を含む)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>他部署と行政課題を共有し、資料案内等他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女参画に関するテーマの資料の選定・収集を行い、適宜、資料の特設コーナーの設置するなどして、情報提供に努める。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	自分のからだをよく知り自己管理ができるように、青少年を対象とした学習の機会を充実します					
担当室課	青少年室					
事業名 (※複数記入可)	二十歳を祝う式典における啓発活動					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	心身及び健康について正確な知識を習得し、適切な自己管理を行う			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成人祭参加者 2,200人	成人祭参加者 2,400人	成人祭参加者 2,600人	二十歳を祝う式典参加者 2,600人	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	
実績値における前年度との増減理由	対象者に式典の案内を送る際にゲスト出演について記載していたため、動員に繋がったと考えられる。また、着席方法や誘導方法を見直したため、会場前に留まる参加者が例年より少なくなくなり、式典への参加に繋がったと考えられる。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 二十歳を祝う式典におけるリーフレットの配布については、令和3年度よりペーパーレス化し、情報をポータルサイトにまとめる形式に変更しました。 令和4年度は、性と生殖に関する情報として、「20歳からのヘルスワーク」の情報を掲載しました。					
	(取組の効果と課題) 二十歳を祝う式典に限らず、思春期における心とからだの健康づくりについての学習の機会を充実する必要がある。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	二十歳を祝う式典の取り組みに限らず、夢つながり未来館において常時リーフレットを周知していく等の取り組みを進めていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	自分のからだをよく知り自己管理ができるように、青少年を対象とした学習の機会を充実します					
担当室課	青少年室					
事業名 (※複数記入可)	<ul style="list-style-type: none"> カチカチ選手権 握力選手権 					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	青少年同士の交流や自主性・協調性を育むことを目標とし実施。			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	参加者…1729人	参加者…1446人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できず。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できず。	参加者…844人	
実績値における前年度との増減理由	前年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できなかったため。(令和4年度については11月に事業再開)					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで創意工夫し、協力して創作する活動を通じて青少年同士の交流や自主性・協調性を育むことを目的として実施した。					
	(取組の効果と課題) 異年齢の青少年が集い、自ら考え行動し、主体的に活動できる環境整備を行うことで、人と協力してやり遂げる達成感、誰かの役に立っているという自己肯定感、困っている子に手をさしのべるような他人を思いやる気持ち、そういったものが育まれていると考えている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	青少年交流活動支援事業の一環として、今後も青少年の自ら考え行動し、主体的に活動できる居場所となるよう、事業を充実させていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校においての性に関する教育の充実を図ります					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	性教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 身体の変化や性意識の変化について理解し、自他を大切にすることを育み、性に関する適切な態度や行動の選択ができるように、保健の授業を中心として学校の教育活動全体で取組を行っている。					
	(取組の効果と課題) SNSの危険性やデートDVなどについて、児童、生徒だけでなく、教職員や保護者が共に学ぶ機会を設けるため、外部講師を招聘した講習会などの開催も検討していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	世代別の情報提供のために、中高年のニーズに応じた講座を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上/30人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	なし	1講座/63人	2講座/44人	2講座/38人	3講座/76人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 親世代とは大きく変化した環境で育つ思春期の子どもとの接し方について知る講座と女性の身体の変化や女性ホルモンとの関係、罹患しやすい病気について知る講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 様々な世代に知識を伝えることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	ニーズの高い講座であるので、継続して開催していく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(2)	性と生殖に関する教育と情報提供				
具体的取組の主な内容	世代別の情報提供のために、中高年のニーズに応じた講座を実施します					
担当室課	健康まちづくり室					
事業名 (※複数記入可)	健康づくり活動推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	女性の健康講座			実績値		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	17件	0件	1143件	816件(延べ)	1769件(延べ)	
実績値における 前年度との 増減理由	女性特有の健康問題をテーマにしたイベントを開催し、講演や実践講座、健康啓発ブースなどの参加者数を計上。大幅に参加者数が増えた理由として、前年度は屋内のみで実施していたところを、屋外の広場でのブース展開に拡張したことにより、より多くの市民が参加しやすくなったことが要因と思われる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 女性特有の健康問題をテーマにしたイベント(講演、実践講座、健康啓発ブースなど)を開催した。 主な出展ブース：がん検診啓発、骨密度・肌年齢測定、栄養相談、睡眠に関する講座、妊娠・出産・骨盤臓器脱に関する相談、糖化度測定、野菜摂取量チェック等					
	(取組の効果と課題) 事前申込による講演及び実践講座については主に健康関心層を対象としており、健康無関心層に対しては、屋外広場で健康測定や健康情報の周知を図ることで、幅広い層にアプローチすることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	成人保健課や母子保健課などの関係室課、地域団体や大学等の関係機関と連携して、女性のライフステージに応じた健康づくりへの支援に努める。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	保育所・幼稚園への男性職員・教員の配置の促進を行います					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	人事管理業務					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	採用試験を実施する場合には、性別を問わず募集を行う。			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0人	0人	1人	1人	0人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 保育教諭の職員採用試験において、性別を問わず、募集を行いました。					
	(取組の効果と課題) 今後も性別を問わず、募集を行います。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、性別を限定しない職員採用試験を実施します。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	保育所・幼稚園への男性職員・教員の配置の促進を行います					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 保育所・幼稚園・認定こども園への男性職員の配置を行った。					
	(取組の効果と課題) 男性職員の配置により、保護者や地域住民が「女性の職業」というイメージを払拭していくことができつつある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					B
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	男性職員の受験・採用が少ないため、研修や人事交流等の機会をとらえ、男性職員の活躍の様子を広く知らせていくような機会を作る。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	ジェンダーにとらわれない視点からの学校運営において、男女平等となるよう啓発を行います					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	校長・教頭指導連絡会での指導			年1回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 校長・教頭指導連絡会にて、男女平等の観点を取り入れた学校運営について指導した。					
	(取組の効果と課題) 各校、年度当初に男女平等の観点を取り入れた指導について確認することにより、児童生徒の発達段階や家庭環境に応じて、個別指導や集団指導を行うことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	教職員に対し、セクシャリティやジェンダーについての研修を充実させます					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	教職員研修事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修内容の肯定的評価率			(とても良い、良い) 100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2講座実施 平均96.5%	2講座実施 平均100%	3講座実施 平均98.7%	2講座実施 平均99%	2講座実施 平均96%	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度はLGBT当事者の話を聞くことができたため、満足度が非常に高かった。今後もニーズに応じた研修に取り組んでいく。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 多様性を認め合う指導方法や教材の提供等。					
	(取組の効果と課題) 今後も多様な性に関する理解を深める取組を進め、すべての児童・生徒が安心して過ごすことができる学校づくりにの推進を支援する、					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	ジェンダーに配慮したDVD等の貸出し、図書・資料の収集・提供を拡充します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業（情報収集・提供）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	図書貸出冊数			4,500冊以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	4,305冊	4,653冊	2,121冊	2,826冊	3,491冊	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館がなかったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市立図書館とは異なり、男女共同参画の視点から選んだ蔵書となっており、専門書から一般書籍まで取り揃えている。講座開催前後には関連書籍を集めたコーナーを作り、受講者にリストを配布している。					
	(取組の効果と課題) オンライン講座が増えているため、センターに来館してもらう機会が減っている。情報ライブラリー自体の知名度を高め、より一層利用者増やすための広報活動が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	情報ライブラリーの利用促進にSNSの活用を検討する。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	ジェンダーに配慮したDVD等の貸出し、図書・資料の収集・提供を拡充します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育関係視聴覚教材貸出事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	人権教育関係視聴覚教材貸出			中学校で50%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	貸出数1本	貸出数1本	貸出数1本	貸出数1本	貸出数2本	
実績値における 前年度との 増減理由	ジェンダーに関する教材については、まだまだ少ないのが現状である。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 人権教育担当者会等で、性の多様性について考える機会を作った。 貸出教材を充実させていくため、担当者会で周知した。					
	(取組の効果と課題) 平和学習やいじめ等と比べると、まだまだ認知度が低い。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	貸出教材の周知。 性的マイノリティの教材を増やしていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(3)	多様な性に関する理解と支援の促進				
具体的取組の主な内容	ジェンダーに配慮したDVD等の貸出し、図書・資料の収集・提供を拡充します					
担当室課	中央図書館					
事業名 (※複数記入可)	図書、視聴覚資料等の貸出・閲覧に関する事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	個人貸出総計 人口×12冊			4,545,372冊		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,542,107冊	3,238,042冊	2,504,847冊	3,622,360冊	3,848,694冊 (うち電子書籍 207,822点を含む)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら通常開館を継続したことに加え、北千里図書館（まちなかりビング北千里）が令和4年11月に供用開始したが、その一方で、江坂図書館の改修工事による臨時休館や、北千里分室から北千里図書館への移転作業に伴う臨時休館があり、個人貸出数は増加したものの、目標達成には至らなかった。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。					
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女参画に関するテーマの資料の選定・収集を行い、利用促進に努める。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	大人を対象とした学習会を通じ親への啓発を行い、家庭での性に関する教育の支援を行います					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各家庭教育学級において、助産師や思春期保健相談士といった専門的な知識を持った講師による「家庭でできる性教育」、「いのちと性のおはなし講座」をテーマとして、ジェンダーの理解、セクシュアリティと性的行動、性と生殖に関する健康について、情報共有及び学習の機会を作っている。					
	(取組の効果と課題) 各学級が企画する講座等を通じて、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	学校（保育所、幼稚園を含む）における性に関する教育の充実を目指します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教育・保育を行う中で、自分も友達も大切に思い、お互いや男女の違いなどを話をしたり、絵本を見たりして、知ることができるような機会を作った。					
	(取組の効果と課題) 教育・保育を行う中で、話をしたり絵本を見たりして、自分や友達を大切にしようとする気持ちが育ってきた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	性に関する教育について、保育教諭等全職員の意識を高め、子供達が自分も友達も大切に使用するという思いを育めるような教育・保育活動を行っていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	学校（保育所、幼稚園を含む）における性に関する教育の充実を目指します					
担当室課	学校教育室					
事業名 （※複数記入可）	性教育					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健の授業を通して、自他を大切にすることを育み、性情報に対して適切に対処できるように取り組んでいる。 インターネット上の性情報の適切な対処や、DVIについての理解を深めるべく、児童生徒の発達段階を踏まえながら取り組んでいる。 					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>外部講師を招聘し、講習会等を充実させるとともに未然防止の観点から、インターネット・SNS等にかかる事案の現状と傾向について関係機関との一層の情報共有を図る。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>					A
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も継続して取り組んでいく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	大阪府が行っている「妊娠SOS」の普及・啓発を行うとともに妊娠時の様々な悩み相談に対応します					
担当室課	青少年室					
事業名 （※複数記入可）	夢つながり未来館における啓発活動					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	望まない妊娠に関する正しい知識の習得			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	夢つながり未来館館利用者数 446,221人	夢つながり未来館利用者数 405,402人	夢つながり未来館利用者数 238,510人	夢つながり未来館利用者数 300,864人	夢つながり未来館利用者数 360,082人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>「望まない妊娠」・「性暴力」に関するリーフレットを周知し、相談に対応できる体制づくりを行った。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>望まない妊娠等に関する正しい知識を習得する機会を提供しており、青少年に対して行う啓発としては効果的な取組であると考えている。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>					A
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	「望まない妊娠・出産」を防止するため、引き続き青少年に対する啓発活動を行い、相談があった場合は適切な支援をしていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	大阪府が行っている「妊娠SOS」の普及・啓発を行うとともに妊娠時の様々な悩み相談に対応します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊娠出産包括支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	妊娠届出時の面接実施率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	94.0%	94.2%	84.1%	88.6%	91.7%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 妊娠届出時等に妊婦に全数面接を行い、妊娠、出産についての不安や悩みを把握し継続的な支援につなげている。 大阪府の思いがけない相談窓口「妊娠SOS」の啓発媒体を市内の高校、大学、薬局に設置し、周知している。					
	(取組の効果と課題) 望まない妊娠・出産に悩む方への情報提供と支援ができるだけ早期に実施できるよう、相談窓口の周知を図った。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	1	性と生殖についての理解の促進				
具体的取組	(4)	望まない妊娠・出産の防止・支援の推進				
具体的取組の主な内容	性に関する悩み（LGBTを含む）など、すべての心の相談に対応します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	電話相談・対面での相談環境整備			電話相談：週4回 対面相談：月8回 法律相談：月1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	延べ656件	延べ698件	延べ734件	延べ957件	延べ1,074件	
実績値における 前年度との 増減理由	令和3年7月より拡充した女性のための電話相談の件数の増加及び令和4年6月より男性のための電話相談を開始したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 令和3年7月から、女性のための電話相談の毎週水曜日の終了時間を午後5時から午後8時に延長し、毎週土曜日の相談日を新たに設定した。また、令和4年6月から男性のための電話相談を開始し、相談環境の充実に努めた。					
	(取組の効果と課題) 相談機会の増加に伴い、相談件数も増加している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、相談環境の充実に努めていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(1)	思春期における心とからだの健康づくりを推進				
具体的取組の主な内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います。					
担当室課	保健給食室					
事業名 (※複数記入可)	学校保健体育事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	大阪府・国からの通知文書を配付して、「世界エイズデー」等の周知を図る。			4回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅲ－①
	4回	4回	4回	2回	4回	
実績値における 前年度との 増減理由	大阪府・国(文部科学省及び厚生労働省)からの通知が前年度より増加したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 大阪府・国(文部科学省及び厚生労働省)からの通知文書を配付して、「世界エイズデー」等について、各校の教職員及び児童・生徒への周知を図った。					
	(取組の効果と課題) 継続して周知を行っているため、認知度は高まってきている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続して意識啓発に努める。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(1)	思春期における心とからだの健康づくりの推進				
具体的取組の主な内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います					
担当室課	青少年室					
事業名 (※複数記入可)	二十歳を祝う式典における啓発活動					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	心身及び健康について正確な知識を習得し、適切な自己管理を行う			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成人祭参加者 2,200人	成人祭参加者 2,400人	成人祭参加者 2,600人	二十歳を祝う式典参加者 2,600人	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	
実績値における 前年度との 増減理由	対象者に式典の案内を送る際にゲスト出演について記載していたため、動員に繋がったと考えられる。また、着席方法や誘導方法を見直したため、会場前に留まる参加者が例年より少なくなくなり、式典への参加に繋がったと考えられる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 二十歳を祝う式典におけるリーフレットの配布については、令和3年度よりペーパーレス化し、情報をポータルサイトにまとめる形式に変更しました。 令和4年度は、性感染症に関する啓発として、「20歳からのヘルスワーク」と「梅毒の注意喚起」の情報を掲載しました。					
	(取組の効果と課題) 二十歳を祝う式典に限らず、思春期における心とからだの健康づくりについての学習の機会を充実させる必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	二十歳を祝う式典の取り組みに限らず、夢つながり未来館において常時リーフレットを周知していく等の取り組みを進めていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(1)	思春期における心とからだの健康づくりの推進				
具体的取組の主な内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います					
担当室課	地域保健課					
事業名 (※複数記入可)	性感染症対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	H I V等性感染症に関する予防啓発回数			年4回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	-	-	啓発回数 1回	啓発回数 2回	啓発回数 7回	
実績値における 前年度との 増減理由	若年層の梅毒増加への対策のため、これまでの活動取組に加え、新たに若年層への活動を行うことで、実施回数が増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ・市内5大学の大学内ポータルサイト(イントラネット)や成人祭ポータルサイトを活用し、若年層へ性感染症の予防やHIV等性感染症検査に関する啓発を実施。 ・府政令中核市で構成するエイズ予防週間実行委員会に参画し、「エイズウィークス2022」の啓発事業(ポケットティッシュ等啓発物品の配布やポスターによる啓発等)を実施。					
	(取組の効果と課題) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、H I V等性感染症検査事業は中止する回もあったが、1回あたりの受検者数は、5.6人とこれまでより増加し、検査機会の周知は図れたと考える。(令和2年度3.9人/回、令和3年度4.3人/回) ・市ホームページの当該事業のアクセス数は令和2年度より増加。(広報課調べ)引き続き、SNS等を活用した効果的な情報発信を検討していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A:貢献している(目標値を満たしている等) B:改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C:見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(2)	妊娠・出産期における健康支援				
具体的取組の主な内容	健康診査や健康相談、保健指導等の母子保健サービスの充実を図ります					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	①妊婦歯科健康診査(令和元年度10月1日より実施) ②産婦歯科健康診査					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①②受診率			①②50%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①41.7%	①38.1% ②21.3%	①39.0% ②20.2%	①43.2% ②27.6%	①45.8% ②29.6%	
実績値における 前年度との 増減理由	母子健康手帳交付時の受診勧奨とラインセグメントによる受診勧奨を継続実施した。また、マタニティエンタル講座でも受診の啓発をした。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 母子健康手帳交付時の受診勧奨とラインセグメントを通しての受診勧奨を継続して実施。市内産科医療機関への妊産婦歯科健診啓発ポスター掲示を継続実施。 さらにホームページで妊娠中や、産後の口腔ケアに関する情報の発信を行い、受診の啓発を行った。					
	(取組の効果と課題) SNSやホームページを活用した効果的な情報発信について検討していく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A:貢献している(目標値を満たしている等) B:改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C:見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(2)	妊娠・出産期における健康支援				
具体的取組の 主な内容	妊娠期から出産期を通して産前・産後の切れ目ない支援に努めます					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊娠出産包括支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	妊娠届出時等の面接率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	94.0%	94.2%	84.1%	88.6%	91.7%	
実績値における 前年度との 増減理由	オンライン面談を開始したことで、面接数が増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 令和5年2月より開始した出産・子育て応援事業で妊娠期と出産後に面談を行い、妊娠・出産・子育てに関する情報提供や相談を行い、支援を要する妊産婦には関係機関につなぐなど、切れ目ない支援を実施している。					
	(取組の効果と課題) 出産・子育て応援事業により妊産婦の面談率が増加し、これまで以上に妊産婦への子育て等に関する情報提供や支援が可能となり、切れ目ない支援体制が充実してきている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(2)	妊娠・出産期における健康支援				
具体的取組の 主な内容	妊婦（両親）教室を開催し、父親の育児への参画を促進します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊娠出産包括支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	プレパパ・プレママ教室の参加者数			960人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	956人	815人	0人	272人	816人	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染予防対策で参加人数を制限していたが、教室開催回数を増やし、オンラインでの教室開催も行ったことで前年度より、大幅に増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教室において、赤ちゃん人形を用いたの実習や、講義を通じて、父親としての自覚や子育てのイメージづくりを行い育児参画を促している。参加希望者が多いため、夫婦で参加できるように教室開催回数を増やし、オンラインでの教室開催もして運営した。ホームページに育児に関する動画も掲載している。					
	(取組の効果と課題) 夫婦で参加できる教室のため、育児を協力して行う啓発になっている。参加希望者が参加できるように、教室の受け入れ人数の増加や開催日時や回数についての検討も必要。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	教室の運営方法の見直し。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(2)	妊娠・出産期における健康支援				
具体的取組の主な内容	妊娠・出産に関わる機能の保護や、喫煙や飲酒が及ぼす影響について情報提供を行います					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊産婦相談支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	妊娠届出時面接での妊婦への禁煙指導実施件数			妊娠届出時のアンケートで喫煙中と回答した妊婦等を対象に実施するため数値化困難		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	33件
	13件	28件	26件	24件		
実績値における前年度との増減理由	妊娠届出で把握した喫煙妊婦33名に対して、禁煙指導を実施している。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	妊娠届出時に喫煙・飲酒をしている妊婦に対して保健師、助産師が指導を行っている。喫煙についてはその後も助産師が電話にて継続指導を行い、状況確認も行っている。 (取組の効果と課題) 妊娠前からの禁煙啓発が重要であると考える。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(3)	成人、高齢期における健康づくりの推進				
具体的取組の主な内容	健康すいた21を活用し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に努めます					
担当室課	健康まちづくり室					
事業名 (※複数記入可)	健康すいた21推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①生活習慣改善に取り組む人の割合 ②喫煙率 ③朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合			①(男性)53.4%以上(女性)59.9%以上 ②(男性)19.3%以下(女性)5.0%以下 ③平成26年度(7.5%)より減少		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅲ-①
	①生活習慣改善に取り組む人の割合(男性)59.1%(女性)63.3% ②喫煙率(男性)21.0%(女性)5.9% ③7.7%等	①生活習慣改善に取り組む人の割合(男性)60.5%(女性)62.9% ②喫煙率(男性)20.6%(女性)5.6% ③7.7%等	①生活習慣改善に取り組む人の割合(男性)61.2%(女性)65.3% ②喫煙率(男性)20.1%(女性)5.6% ③7.8%等	①生活習慣改善に取り組む人の割合(男性)61.2%(女性)65.3% ②喫煙率(男性)19.1%(女性)5.5% ③7.7%等	①生活習慣改善に取り組む人の割合(男性)60.9%(女性)65.8% ②喫煙率(男性)19.5%(女性)5.7% ③8.6%	
実績値における前年度との増減理由	令和3年度新型コロナウイルス感染症の影響により、生活習慣を改善する人が増えた結果が、令和4年度においても継続して現れており、割合については、おおむね横ばいである。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	<p>家庭での食生活改善に向け、学校給食を活用した児童への食育と家庭への啓発を実施。「適切な食塩摂取」をテーマに国立循環器病研究センターと連携し、給食メニューの減塩アレンジや家庭への意識変化・実践につながる啓発を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食での取組：減塩アレンジメニューの提供、児童の学習ツールである「給食のおしらせ」や動画を活用した食育 家庭への啓発：給食献立表を通じたコラムの配信、動画による取組の周知啓発 <p>【【保健センター③(成人保健課ほか)】3-2-③再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> スモークフリーフェスタを開催し、専門家や事業者を交えたパネルディスカッションを行い、たばこの健康影響や禁煙についての啓発を行った。 小中学生による禁煙啓発ポスターの募集を行い、子供がたばこについて考えるきっかけとなる機会となった。 公共施設や事業所、大学においてたばこの健康被害や禁煙に関する啓発品を展示してまわるキャラバンを行い、機運醸成を図った。 毎月22日を「スワソ(吸わん)の日」とし、HPやSNS等で禁煙及びたばこの健康被害に関する情報発信を行った。 5月31日の世界禁煙デー及び5月31日から6月6日までの禁煙週間に、公共施設や事業所、大学において大々的な周知啓発を行いたばこに関する啓発を行った。 令和5年度から供用開始する産後支援ブース内で放映する、たばこの健康影響や禁煙についての啓発動画コンテンツを作成した。 <p>(取組の効果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭向け動画アクセス数：1,533回(R5.4月末時点) <p>引き続き、学校給食を通して家庭での食生活改善を促す取組を行うとともに、市内スーパー等と連携してまちぐるみで取組を進めることが重要と考える。</p>					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	関係室課、地域団体等と連携し、くらしにとけこむ健康づくりを推進する。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(3)	成人、高齢期における健康づくりの推進				
具体的取組の主な内容	女性に特有の疾病、多くみられる疾病等についての相談体制、情報提供の充実を図り、予防啓発に努めます					
担当室課	成人保健課					
事業名 (※複数記入可)	子宮がん検診、乳がん検診、健康教育・相談事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①子宮がん検診受診率 ②乳がん検診受診率			①② 50%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅲ-①
	子宮がん検診 乳がん検診	子宮がん検診 乳がん検診	子宮がん検診 乳がん検診	子宮がん検診 乳がん検診	子宮がん検診 乳がん検診	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度との比較はほぼ横ばいの状況。 がん検診の受診率は国の示す算定方法に基づく受診率を用い、令和3年度に国・府の変更に合わせて本市においても変更。実績値の令和4年度を除く上段は旧方式、下段は新方式を記載している。令和3年度以降の受診率は、新方式のみ算出してあり、計画等で使用する指標としては、市民意識調査の受診率を指標としている。 ※令和4年度【参考】市民意識調査の受診率は、市民意識調査結果から子宮がん検診20～69歳、乳がん40～69歳の受診率を計算したものの					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・国立がん研究センターが作成した受診勧奨資材（ナッジ理論に基づき作成され、視認性が高く、年代別に検診の重要性が記載されている。）を用いて個別受診勧奨を郵送。 ・検診受診の必要性や受信方法をわかりやすく記載したガイドブックを作成し、市報すいたと併せて全戸配布。 ・ホームページやSNS、LINEセグメントを活用して健康診査やがん検診受診の必要性について啓発に努めた。 					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き女性特有の疾病について、正しい知識の情報提供を男女問わず進めていく。 がん検診や人間ドック利用からの早期発見や治療技術の進歩により、がん治療と社会参加の両立に対する支援も重要となっている。医療専門職の支援技術の向上や、がん患者の社会参加に対する支援について取組を進めていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(3)	成人、高齢期における健康づくりの推進				
具体的取組の主な内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます					
担当室課	成人保健課、健康まちづくり室、地域保健課					
事業名 (※複数記入可)	たばこ対策推進事業、健康教育・相談事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	禁煙治療費一部助成制度申請者数			令和3年度 100人 令和4年度 110人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	禁煙治療開始前の届出者 88人 助成金交付者数 59人	禁煙治療開始前の届出者 66人 助成金交付者数 37人	禁煙治療開始前の届出者 81人 助成金交付者数 65人	禁煙治療開始前の届出者 66人 助成金交付者数 34人	禁煙治療開始前の届出者 52人 助成金交付者数 21人	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度と比較して禁煙治療開始前の届出者、助成金交付者数ともに減少。令和3年7月以降、禁煙治療の内服薬の出荷が停止されており、ニコチンパッチ等の禁煙補助薬を使用した治療は保健指導が必要などの理由から、禁煙外来を実施する医療機関が減少していることが原因の一つと考えている。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・市報やホームページ、SNSでの発信に加え、妊娠届出時や乳幼児健診、産業フェアへの出展等、様々な機会を通して、禁煙の啓発や禁煙治療費一部助成制度の周知に努めた。 ・加熱式タバコの危険性を啓発するチラシを作成し、禁煙の啓発及び助成制度の紹介を行った。 ・生活習慣病予防の一環として、アルコールの適正飲酒についてホームページで啓発した。また、健康診査受診後に配付するリーフレットに適正飲酒について掲載している。 ・スモークフリーフェスタを開催し、学識経験者や事業者を交えたパネルディスカッションを行い、たばこの健康影響や禁煙についての啓発を行った。 ・小中学生を対象とした禁煙啓発ポスターの募集を行い、子供がたばこについて考えるきっかけとなる機会となった。 ・公共施設や事業所、大学においてたばこの健康被害や禁煙に関する啓発品を展示するキャラバンを行い、機運醸成を図った。 ・毎月22日を「スワフ（吸わん）の日」とし、HPやSNS等で禁煙及びたばこの健康被害に関する情報発信を行った。 ・5月31日の世界禁煙デー及び5月31日から6月6日までの禁煙週間に、公共施設や事業所、大学において周知啓発を行いたばこに関する啓発を行った。 ・令和5年度から供用開始する卒煙支援ブース内で放映する、たばこの健康影響や禁煙についての啓発動画コンテンツを作成した。 ・アルコールの適正飲酒についてホームページで啓発。アルコール関連問題啓発週間にSNSやホームページでの啓発、また本庁ロビーでパネル展示やリーフレット配架を実施し、啓発に努めた。 					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	健康診査等の問診において喫煙状況を聴取しているため、喫煙者への効果的な指導・助言方法について、具体的な対策を検討していく。 関係室課と連携しスモークフリーシティの実現を目指す。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(4)	介護・介護予防に関する情報提供				
具体的取組の主な内容	認知症サポーター養成講座など、介護・看護への男性参加の啓発講座を開催します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	認知症サポーター養成事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	令和3年度末までに33,650人養成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座開催ができなかったことから、令和3年度以降の養成目標数を下方修正した。			令和3年度末養成者数 28,190人 令和4年度末養成者数 29,800人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	24,390人 /72.5% 講座回数：77回	26,657人 /79.2% 講座回数：63回	26,906人 /80.0% 講座回数：17回	27,434人 /97.3% 講座回数：32回	28,386 /95.3% 講座回数：42回	
実績値における前年度との増減理由	令和3年度以降の養成目標数数を下方修正し、オンライン開催も併用しながら、令和3年度の養成者数528人を大幅に上回り952人養成ができたものの、下方修正した当初の想定より開催回数が少なく目標値には達しなかった。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等でのポスター掲示及びちらし配布、市報やホームページへの掲載、市の介護予防教室等で周知を図っている。「全国キャラバン・メイド連絡協議会」の「新しい生活様式」における講座開催の基準に沿って、事業所向け、市民向けの講座をオンライン開催で行った。また、市民向けの講座を2回、土曜日開催とした。認知症サポーターがより具体的な活動をするためチームオレンジの構築を目指し、認知症サポーターステップアップ講座の開催を行った。					
令和4年度取組状況	(取組の効果と課題)					
	市民向け認知症サポーター養成講座を複数回オンラインで開催することで、参集での参加が難しい層に対しても養成することができた。チームオレンジ構築に向け、認知症の人や家族のニーズを認知症サポーターや多職種の実践の場での必要となる認知症の知識や、認知症の人と交流し、必要に応じて手助けするためのスキルを習得する認知症サポーターステップアップ講座の開催を行う。認知症サポーター活動登録者をシステム管理し、地域包括支援センターが登録者の活動希望内容に応じて活動場所の調整を行うことで、地域でのサポーター活動に繋げる。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	市民向けや事業者向けの認知症サポーター養成講座を開催するとともに、地域の企業や小中学校等にも働きかけ、併せてオンライン開催の継続も行っていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(4)	介護・介護予防に関する情報提供				
具体的取組の主な内容	介護保険制度、自立支援制度等の活用を啓発を行います					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	包括的支援事業、包括的支援・社会保障充実事業（在宅医療・介護連携推進）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市内の地域包括支援センターで受け付けた介護保険サービスに関する相談件数 すいた年輪サポートナビの活用状況			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	相談件数 8,916件 すいた年輪サポートナビ 平均アクセス数 9,313件	相談件数 10,312件 すいた年輪サポートナビ 平均アクセス数 8,575件	相談件数 10,071件 すいた年輪サポートナビ 平均アクセス数 9,669件	相談件数 11,037件 すいた年輪サポートナビ 平均アクセス数 8,207件	相談件数 12,745件 すいた年輪サポートナビ 平均アクセス数 8,561件	
実績値における前年度との増減理由	地域包括支援センターの周知を進めるとともに、コロナ禍ではあるが地域活動の場へのアウトリーチにも取り組んでいる。「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活サポート情報を追加掲載し、周知に取り組んでいる。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	「吹田市ケア倶楽部」にて「すいた年輪サポートナビ」における「介護事業者情報の空き情報等調査」への協力を依頼し、鮮度の高い情報を提供。「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活サポート情報を追加掲載。令和4年5月より吹田市ホームページ上の「すいた年輪サポートナビ」バー表示を「医療・介護サービス検索システム すいた年輪サポートナビ」と記載。その後8月に高齢者の生活サポート情報の掲載を受け「医療・介護サービス、生活サポート検索システム すいた年輪サポートナビ」に変更。「すいた年輪サポートナビ」啓発チラシを、地域包括支援センターや市内医療機関など関係機関に配布し活用を進めている。					
令和4年度取組状況	(取組の効果と課題)					
	引き続き「すいた年輪サポートナビ」の周知を行うため、ホームページだけでなく、SNSによる周知も検討が必要。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	在宅医療を支えていくための連携体制の推進のため、多職種連携研修会、ケアマネ塾、ケアマネ懇談会を開催し、顔の見える関係づくりの取組を進める。「すいた年輪サポートナビ」の認知度向上のため今後は既存の周知に加え、SNSを活用した周知を実施する。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(4)	介護・介護予防に関する情報提供				
具体的取組の主な内容	介護保険制度、自立支援制度等の活用の啓発を行います					
担当室課	障がい福祉室					
事業名 (※複数記入可)	障害者基幹相談支援センター事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発事業開催			3回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3回	1回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 大阪介護支援専門員協会吹田支部のケアマネージャー（介護支援専門員）に対し、障がい福祉サービスに関する研修を11月・3月に実施。具体的なサービスの種類や利用申請に至るまでの流れ、介護保険サービスとの併用について担当職員が講師となり実施した。					
	(取組の効果と課題) 65歳を迎えると、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行が生じるが、ケアマネージャーによっては、障がい福祉サービスの制度概要や理解が十分とは言えない状況がある。このことにより、介護保険サービス移行によって必要なサービスが提供できない事態が生じないよう、制度理解を深めるための研修や65歳以降の利用サービス切り替えのためのガイドラインを作成する等の取組が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、啓発を進めていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(5)	豊かな高齢期のための環境整備				
具体的取組の主な内容	ひとり暮らしの高齢者への支援・緊急時の支援体制の整備・充実を図ります					
担当室課	福祉総務室					
事業名 (※複数記入可)	①ふれあい昼食会事業補助事業 ②地域福祉推進活動補助事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ふれあい昼食会延べ参加者数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	10,934人	9,848人	5,273人	9,750人	13,489人	
実績値における 前年度との 増減理由	より身近な地域拠点でふれあい昼食会（ふれあい外出配食）は回数を増加して実施したこと及び新型コロナウイルス感染症が徐々に収束したことにより、参加者数が増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区福祉委員会がひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい昼食会」の開催を自粛したことにより、高齢者の閉じこもり予防目的として地域拠点で弁当等を配布する「ふれあい外出配食」を実施し、（福）吹田市社会福祉協議会を通じて補助を行った。					
	(取組の効果と課題) ひとり暮らし高齢者と地区福祉委員等の支援者が顔見知りとなるため、平常時からの声かけ・見守りなどを円滑に行うことができた。コロナ禍でも高齢者の外出や交流の機会を創出することができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	継続的な事業実施のため、男女ともに参加しやすいよう実施方法の検討を行う等、効果的・効率的に事業を推進していくことで、一人暮らしの高齢者への支援の充実を図っていく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(5)	豊かな高齢期のための環境整備				
具体的取組の主な内容	ひとり暮らしの高齢者への支援・緊急時の支援体制の整備・充実を図ります					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	在宅生活支援事業（救急医療情報キット配布）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	救急医療情報キット延配布数 16,730人			第8期の目標値は18,730人、第9期の目標値は21,730人としている。		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	14,279人 /85.3%	15,067人 /90.1%	15,566人 /93.0%	16,072人 /96.1%	16,647人 /99.5%	
実績値における前年度との増減理由	令和4年度の申請者は575人					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市内15か所の地域包括支援センターと2か所の出張所で救急医療情報キットを配布している。市報9月号（高齢者月間）への掲載や民生・児童委員にも協力依頼し、普及活動を行っている。またホームページにも様式等をダウンロードできるようにし、対象外の人にも作成できるようにしている。外出時に携帯できる救急医療情報カードも配布し、救急搬送時に活用できるようにしている。					
	（取組の効果と課題） 迅速かつ円滑な救急活動の実施と高齢者の安心・安全な暮らしの実現に寄与している。効果的な活用のために、利用者に対し医療情報シートの内容の更新と救急医療情報キットの保管場所（冷蔵庫）についての啓発を継続していく。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、様々な機会を通じて、市民に普及啓発を行っていく。効果的な活用のために、利用者に対し、医療情報シートの内容の更新と救急医療情報キットの保管場所（冷蔵庫）についての啓発を継続していく。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(5)	豊かな高齢期のための環境整備				
具体的取組の主な内容	高齢者が安心して暮らせるよう、地域福祉のネットワークづくりなど環境の整備を行います					
担当室課	福祉総務室					
事業名 (※複数記入可)	①地域支えあいネットワーク推進事業 ②地域福祉推進活動補助事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①相談者に対して何らかの支援を行った割合 ②ふれあい昼食会延べ参加者数			①100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①100% ②10,934人	①100% ②9,848人	①100% ②5,273人	①100% ②9,750人	①100% ②13,489人	
実績値における前年度との増減理由	①前年度同様、相談内容等に応じ、必要な行政サービス等へつなぐなど適切に支援を行うことができた。 ②より身近な地域拠点でふれあい昼食会（ふれあい外出配食）を回数を増加して実施したこと及び新型コロナウイルス感染症が徐々に収束したことにより、参加者数が増加した。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 「①CSW（コミュニティ・ワーカー）に相談があった場合、住民による地域活動やボランティア活動、他機関など専門機関と連携・協働して支援を行った。また、すぐに課題を解決できない場合であっても、相談対象者の不安に寄り添い、関係を閉ざさない支援に務めた。 ②地区福祉委員会が一人暮らし高齢者を対象に実施するふれあい昼食会等の小地域ネットワーク活動を支援することで、地域での高齢者の見守り・声かけ等の支援体制の構築に寄与した。					
	（取組の効果と課題） ①複合化した課題を抱えた世帯への支援が多くなっているため、課題解決への支援だけでなく、孤立・孤独させないネットワークづくりを進めていく必要がある。 ②ふれあい昼食会に参加した一人暮らし高齢者と地区福祉委員等の支援者が顔見知りとなるため、平常時からの声かけ・見守りなどを円滑に行うことができ、緊急時の支援体制の整備にもつながる。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	①CSWの市民認知度の向上を図ることで、地域における支援体制のネットワークを強化し、孤立化等を防ぐ仕組みづくりへと繋げていく。 ②地区福祉委員会が実施する小地域ネットワーク活動を支援することで、高齢者と支援者の顔の見える関係づくりを進める。					

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(5)	豊かな高齢期のための環境整備				
具体的取組の主な内容	高齢者が安心して暮らせるよう、地域福祉のネットワークづくりなど環境の整備を行います					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	包括的支援・社会保障充実事業（地域ケア会議）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域ケア会議開催回数			地域ケア会議ブロック別定例会、地域別定例会、実務者連携会議、包括ケア会議、研修会、随時会、自立支援型ケアマネジメント会議の実績		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	33/33回 (100%)	37/33回 (112%)	8/35回 (22%)	33/35回 (94%)	43/47回 (91%)	
実績値における前年度との増減理由	令和4年度は地域の状況に合わせて、オンライン会議の他、感染予防対策を徹底した参集での開催にも取り組み、ブロック別定例会を開催できたが、地域別定例会の開催は2ブロック（目標は3ブロック）にとどまった。令和4年度からは自立支援型ケアマネジメント会議を介護事業所が参加しやすいよう、市内6ブロックの会場で会議を開催し、地域課題の抽出に務めた。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）					
	ブロック別定例会・地域別定例会については、地域の実情に合わせ各センターが主体的に運営を行い、個別事例の支援の検討を積み重ねることで地域課題や資源の把握に努めた。コロナ禍であっても地域におけるネットワーク構築に繋がる基盤となるよう、オンラインによる開催方法等を進めた。ブロック別定例会・地域別定例会や自立支援型ケアマネジメント会議から導き出された地域課題については、地域住民や団体、地域の支援者が主体となった身近な社会資源創出の検討や地域づくりを促進する「すいたの年輪ネット（吹田市高齢者生活支援体制整備協議会）」と連動した取組を進め、多方面からの地域のネットワーク構築を目指した。地域ケア会議の事務局会議（年6回）では、広域型生活支援コーディネーターに出席を呼びかけ、地域課題の情報共有を行い、双方の連携の進捗状況などを意見交換しながら進めてきた。自立支援型ケアマネジメント会議を介護事業所が参加しやすいよう、市内6ブロックの会場で会議を開催し、圏域内の事例を検討することにより、地域課題の抽出から資源創出にも向けた取組を行った。					
具体的取組に対する事業の評価	（取組の効果と課題）					
	令和5年度から地域型生活支援コーディネーターを配置することで、より身近な地域でのネットワークづくり（地域づくり）につながる地域検討会等の開催が増えること想定している。地域検討会等の内容についてはブロック別定例会・地域別定例会で共有を図り、年4回から年3回の開催に変更し、効率的な運営にしていく。又会議体運営の効率化のため地域包括ケア会議の機能（政策形成）を実務者連携会議に包含し一本化を図っていく。					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	地域ケア会議、地域型生活支援コーディネーターが中心となって展開する小さい地域単位での話し合い、自立支援型ケアマネジメント会議における個別事例の検討から抽出した地域課題を一体的に捉え、地域ケア会議において解決に向けての提案や検討内容を共有することにより、高齢者の生活支援の充実につながる効果的な取組の促進を図り、支え合いの地域づくりを進めていく。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	

基本方向	Ⅲ	ライフステージに応じた健康の保持・増進のために				
基本課題	2	ライフステージに応じた健康の保持・増進				
具体的取組	(5)	豊かな高齢期のための環境整備				
具体的取組の主な内容	高齢者虐待防止の取組を推進するため、啓発講座を開催します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	包括的支援・社会保障充実事業（地域ケア会議）、包括的支援事業（高齢者虐待防止に関する包括的支援講座（出前講座））					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域ケア会議ブロック別定例会の開催回数（そのうち高齢者虐待の事例検討や研修の回数）高齢者虐待対応や防止に関する出前講座の回数			地域ケア会議において6ブロック全域で高齢者虐待防止に取り組む。		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	地域ケア会議 33回（5回） 出前講座 3回	地域ケア会議 37回（6回） 出前講座 5回	地域ケア会議 8回（1回） 出前講座 3回（うち1回はケア マネジャー向け研修）	地域ケア会議 33回（0回） 出前講座 3回（うち1回はケア マネジャー向け研修）	地域ケア会議 43回（2回） 出前講座 25回	
実績値における前年度との増減理由	令和4年度は地域の状況に合わせて、オンライン会議の他、感染予防対策を徹底した参集での開催にも取り組み、全ブロックで年間予定どおりに開催することができた。高齢者虐待防止の出前講座については、各地域包括支援センターが、担当圏域における民生・児童委員地区委員会での研修に取り組んだことで、実績が増加した。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）					
	近年起こった災害で、防災や地域課題の抽出に向けての取組が多く虐待防止に特化した会議開催はなかったが、地域でのネットワーク構築は停滞することなく進めている。					
具体的取組に対する事業の評価	（取組の効果と課題）					
	高齢者虐待の疑いの時点で地域包括支援センターに相談が入るネットワークとなるよう、多機関・多職種が参画する地域ケア会議で顔の見える関係づくりに取り組んだ。また、圏域のケアマネジャーを支援する目的で開催するケアマネジャー懇談会で高齢者虐待を取り上げるブロックもあり、虐待の早期発見・未然防止を目指している。					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	地域ケア会議等を通じ、高齢者虐待の早期発見及び未然防止を目的とした啓発を継続していく。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向Ⅳ

あらゆる暴力の根絶のために

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて、暴力（DV、ハラスメント等）、性の商品化等の根絶に向けた一般的な広報、啓発を推進します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	啓発冊子等の発行部数			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Wリボンチラシ8,000枚
	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット1,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット1,000部 カード5,000部 チラシ4,000枚	性暴力防止啓発チラシ500枚 性暴力防止啓発パンフレット2,000枚 性暴力防止啓発ポスター100枚 Wリボンチラシ10,000枚 「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット2,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用カード5,000部 チラシ8,000枚		
実績値における前年度との増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。また、Wリボンプロジェクトの活動を通じてDV及び児童虐待防止に関する啓発を行った。					
	（取組の効果と課題） 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、暴力の根絶に向けた啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて、暴力（DV、ハラスメント等）、性の商品化等の根絶に向けた一般的な広報、啓発を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名（※複数記入可）	男女共同参画センター啓発事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	毎年DV関連の記事を掲載する			年に1記事以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-③
	1記事/ソフィア93号で男性向けデートDV防止対策講座のレポートを掲載	1記事/ソフィア96号でWリボンパッジの啓発記事を掲載	1記事/ソフィア99号でWプロジェクトの啓発記事を掲載	1記事/ソフィア101号でWリボンプロジェクトの啓発記事を掲載	2記事/ソフィア103号でデートDVとWリボンプロジェクトの啓発記事を掲載	
実績値における前年度との増減理由	ソフィア103号で「大人になる前に知ってほしい デートDV」と題して若者向けの特集記事を掲載し、併せて例年掲載しているWリボンプロジェクトの記事も掲載したため。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 「大人になる前に知ってほしい デートDV」と題して特集記事を掲載し、若者向けの啓発を行った。					
	（取組の効果と課題） 特集記事では男女共同参画センターで取り組んでいる、大学生を中心としたボランティアであるユースリーダーとの中学校への出前講座の様子を取り上げ、DVは身体的暴力だけではないこと等の理解が広まったと感じている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も様々な形で幅広い層への啓発を行う。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	DV防止法、ストーカー規制法の市民向け広報・周知・講座を開催します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	出前講座の数			1件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-②
	0件	1件	0件	2件	0件	
実績値における前年度との増減理由	出前講座の実施依頼がなかったため。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 出前講座のメニューにDVに関する講座を掲載しているが、実施依頼はなかった。ホームページやパンフレット等でDV防止法等について広報・周知を行った。					
	（取組の効果と課題） 継続して啓発を行っていく必要がある。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	多くの方にDV防止への関心を高めてもらえるよう、周知に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	DV防止法、ストーカー規制法の市民向け広報・周知・講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業（Wリボンプロジェクト）					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			3講座以上 / 100人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-②
	3講座 / 110人	3講座 / 85人	2講座 / 74人	2講座 / 65人	3講座 / 68人	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 女性や子供に対するあらゆる暴力の根絶を目指して、関連講座の開催やガンバ大阪の協力を受けて啓発活動などを行う「Wリボンプロジェクトinすいた」を開催し、性暴力をテーマに講演会を開催した。					
	（取組の効果と課題） 性暴力をテーマとしたところ、市民にとっては参加しにくいものとなってしまった。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	多くの人に啓発できるような講演会や講座を検討する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	学校、保育所、幼稚園等を通じたの広報、啓発に努めます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における前年度との増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、学校、保育所、幼稚園の担当室課と連携を図るとともに、DV被害者の相談先の周知を図った。					
	(取組の効果と課題) DV相談があった際、学校、保育所、幼稚園を所管する担当室課とのやり取りが円滑に行われている。DVと児童虐待は密接に関連しているため、情報共有の迅速化等に努める必要がある。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	会議内容の充実を図り、学校、保育所、幼稚園等を含む関係室課と連携していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	学校、保育所、幼稚園等を通じたの広報、啓発に努めます					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名（※複数記入可）	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	リーフレットの配布部数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	17,000部	23,000部	23,000部	23,000部	22,000部	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやチラシを保育園や幼稚園等に配布したほか、市民向けの講演会の開催を行うとともに、母子保健課での乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行いました。					
	(取組の効果と課題) 吹田市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができた。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も引き続き、児童虐待防止に向けた広報や啓発活動を行っていく必要があります。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	学校、保育所、幼稚園等を通じたの広報、啓発に努めます					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 暴力を許さない教育・保育について学ぶ機会を設け、保育教諭等全職員の意識を高めたり、保護者にも話をしたり掲示物をしたりして、暴力を許さない意識の啓発に努めた。					
	(取組の効果と課題) 個々の家庭で抱える課題も多様であり、家庭支援が必要な子供達も増えてきている現状がある。保護者が暴力を許さない教育・保育・子育てについて掲示物等で気づいたり、意識を持ってもらったりすることがあった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	暴力根絶のための教育・保育についての学ぶ機会を設け、職員間で共通理解し、意識を高めていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(1)	暴力を許さない意識づくり				
具体的取組の主な内容	学校、保育所、幼稚園等を通じたの広報、啓発に努めます					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	・じんけん作品事業 ・人権関連視聴覚教材貸出事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	・じんけん作品事業 ・人権関連視聴覚教材貸出事業			小・中学校で100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①作品応募校数40校、 応募総数11277点。 ②ビデオ貸出計106回、 貸出本数計419本。	①作品応募校数38校、 応募総数11570点。 ②ビデオ貸出計96回、 貸出本数計404本。	①募集中止 ②ビデオ貸出計62回、 貸出本数計277本。	①作品応募校数32校、 応募総数8293点 ②ビデオ貸出計79回、 貸出本数計349本。	①作品応募校数33校、 応募総数9043点 ②ビデオ貸出計91回、 貸出本数計393本。	
実績値における 前年度との 増減理由	①じんけん作品事業について、応募総数は3年度よりも増加した。 ②ビデオ貸出数について、3年度より利用が増え、増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 研修をはじめ、連絡会等で案内を行った。					
	(取組の効果と課題) 市内の全小・中学校で取り組んでもらえるよう、今後も呼びかけを続けていく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、担当者会等で呼びかけを行っていく。 ニーズに応じた貸出しができるよう、視聴覚教材の精選に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	関係機関職員や教職員への研修を行います					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	1回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由	職員研修扱いとする、関係部局が主催する研修等が複数あったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 家庭児童相談室が実施する職場内研修及び教育センターが主催する市民セミナーを職員研修扱いとしました。					
	(取組の効果と課題) 特定の人を対象とした研修等を職員研修扱いとすることにより、効果的・効率的に研修を実施しています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	関係部局と連携して職員への受講勧奨に努めます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	関係機関職員や教職員への研修を行います					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、各関係機関からの事例報告や研修を行った。					
	(取組の効果と課題) 大阪府女性相談センター職員による「DV被害者支援と庁内連携の必要性について」をテーマとした研修を行い、関係機関との連携の必要性について認識を深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も関係機関職員への研修を行い、さらなる連携の強化に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	関係機関職員や教職員への研修を行います					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	教職員研修事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修内容に対する肯定的評価率			(とても良い、良い) 100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	6講座実施 平均95%	5講座実施 平均99.5%	3講座実施 平均96.7%	6講座実施 平均97%	6講座平均 98.8%	
実績値における 前年度との 増減理由	今日的な課題をテーマに研修を行うことで学びを深めることができたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 人権研修において、様々なテーマからアプローチするとともに、キャリアステージに応じて全ての教職員を対象に実施した。					
	(取組の効果と課題) 生徒指導提要の改訂等の観点からも、さらに暴力根絶のための基盤づくりに取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	被害防止のための講座等を実施します(警察との連携)					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	3機関会議への出席			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議において、警察等の関係機関から事例報告を受け、情報共有を行った。また、裁判所主催の3機関会議に出席し、警察・裁判所・配偶者暴力相談支援センターの連携を図った。					
	(取組の効果と課題) 日常的に相互に情報提供を行うことで、連携しやすい関係を作ることができている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も関係機関と連携し、犯罪被害防止に取り組む。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます					
担当室課	危機管理室					
事業名 (※複数記入可)	地域防犯推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	防犯カメラの設置 (平成28年度から平成30年度までの3か年計画に基づく設置)			設置済み		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	191台 (564台)	0台 (564台)	0台 (564台)	143台 (707台)	97台 (804台)	
実績値における 前年度との 増減理由	防犯カメラの更新が必要となった地区において、機器更新とあわせて防犯カメラ台数の増設が実施できたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 地域の防犯力向上に資するよう地域の実情や犯罪情勢等を踏まえ、吹田警察等と連携して防犯カメラの設置箇所の検討を行い、防犯カメラの更新及び増設を行った。					
	(取組の効果と課題) 犯罪認知件数は、令和3年度と比較すると令和4年度は増加に転じたものの、平成30年度から減少傾向にあり、防犯カメラの設置も件数減少に一定の寄与をしているものと推測します。 防犯カメラの設置効果の検証を図るなかで、今後の設置箇所や設置台数の見直しを絶えず行っていくことが課題であると考えます。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	1	暴力の根絶のための基盤づくり				
具体的取組	(2)	暴力の発生を防ぐための環境づくり				
具体的取組の主な内容	防犯灯、街路灯の維持補修など道路上のチェックと環境改善に取り組みます					
担当室課	道路室					
事業名 (※複数記入可)	街路灯管理事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	街路灯（防犯灯）の維持補修による適切な照度確保			維持補修が主の事業になっているため、目標数値はない		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	21,163灯	21,350灯	21,233灯	21,219灯	21,237灯	
実績値における 前年度との 増減理由	開発譲渡や要望等により新設されたもので増となり、市から府への移管分及び管理台帳と現地の照合作業で減となった。総数としては若干の増となった。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 水銀灯・蛍光灯などの照明器具をLED灯に更新している。					
	(取組の効果と課題) LED灯を設置することにより、不点灯箇所が少なくなることから、安心安全なまちづくりに一定の成果が期待できる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	街路灯（防犯灯）については、引き続き同様の取組を行う。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	DVを防止するためのセミナー等を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業、DV防止対策事業（デートDV予防啓発を除く）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			7講座以上 / 230人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	7講座 / 281人	6講座 / 191人	3講座 / 154人	3講座 / 58人	3講座 / 41人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男性向けのストレス解消講座を休日に開催した。					
	(取組の効果と課題) 受講者が少なかった講座については、内容だけでなく開催時間や曜日を見直し、より多くの人に啓発できる方法を検討する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	多くの人が受講しやすい講座を企画する。オンラインの活用も検討する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	パンフレット、ホームページ等を活用した啓発を推進します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子等の発行部数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット 1,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット 1,000部 カード 5,000部 チラシ 4,000枚	性暴力防止啓発チラシ 500枚 性暴力防止啓発パンフレット 2,000枚 性暴力防止啓発ポスター 100枚 Wリボンチラシ 10,000枚 「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット 2,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用カード 5,000部 チラシ 8,000枚	Wリボンチラシ 8,000枚	
実績値における 前年度との 増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。ホームページのリニューアルを行い、より市民の目に触れやすいようにした。					
	(取組の効果と課題) 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、DV防止に向けた啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の主な内容	パンフレット、ホームページ等を活用した啓発を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	各種啓発パンフレットの作成部数			25,000部以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	34,000部	24,000部	9,000部	500部	1,500部	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度と異なる啓発対象を想定して作成したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 若年層を対象とした啓発を強化するため、インターンシップ等で募った意見を元に、啓発用ボールペンを作成した。					
	(取組の効果と課題) 若年層が抵抗なく使用できるボールペンに、センターと家庭児童相談室の相談電話番号と、Wリボンマークを載せた。しかし、啓発用品を活用した周知が、十分にはできていない。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後もDV防止の啓発が効果的にできるよう工夫していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	ホームページや市報その他の広報誌による周知を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子等の作成枚数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	「すいたストップDV ステーション」啓発用 パンフレット 1,000部	「すいたストップDVス テーション」啓発用 パンフレット1,000部 カード5,000部 チラシ4,000枚	性暴力防止啓発チラシ500枚 性暴力防止啓発パンフレット 2,000枚 性暴力防止啓発ポスター100枚 Wリボンチラシ10,000枚 「すいたストップDVステーシ ョン」啓発用パンフレット2,000 部	「すいたストップDV ステーション」啓発用 カード5,000部 チラシ8,000枚	Wリボンチラシ 8,000枚	
実績値における 前年度との 増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。ホームページのリニューアルを行い、より市民の目に触れやすいようにした。					
	(取組の効果と課題) 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、DV防止に向けた啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の主な内容	ホームページや市報その他の広報誌による周知を図ります					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター啓発事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	広報誌にて啓発記事を作成すること ホームページにおいて相談機関の周知を行うこと			啓発記事は年1記事以上 ホームページは常時		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	関連記事3件掲載 ホームページでは常時 周知	関連記事2件掲載 ホームページでは常時 周知	関連記事1件掲載 ホームページでは常時 周知	関連記事1件掲載 ホームページでは常時 周知	関連記事1件掲載 ホームページでは常時 周知	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市報10月号に「DV・児童虐待防止 Wリボンプロジェクト」として特集記事を掲載した。 また、HPには随時「Wリボンプロジェクトとは」として記事を掲載している。					
	(取組の効果と課題) Wリボンプロジェクトを通して、DVや児童虐待についての効果的な啓発活動が行えている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、効果的な啓発活動を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(1)	DV防止に向けた啓発の推進				
具体的取組の主な内容	若年層に向けたデートDV等予防啓発を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催校数及び延受講者数			市内の全大学、高校、中学校（31校） /3,000人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	13校 /3,078人	14校 /2,662人	10校 /2,031人	17校 /2,856人	16校 /2,711人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 中学校、高校、大学への出前講座を実施した。特に中学校では、大学生ユースリーダーとともに出前講座に出向き、より身近な問題と捉えてもらえるよう工夫した。 小学生向けにも出前講座を行った（市内の小中学校5校、延554人が受講）。					
	(取組の効果と課題) 若年層への啓発はDVだけではなくいじめやハラスメント防止の観点からも好評であり、今後も実施校数を増やしていくため、オンラインの活用も含め取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	毎年継続して授業を行っている学校もあるが、全校で授業ができるように学校へのアプローチ方法を検討する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教育・保育の中で話したり、絵本を見たりして、自分も友達も大切にすることを伝え続けた。 友達とけんかになった時に、叩いたり蹴ったりして相手を傷つけず、言葉で伝えることを身に付けていけるように取り組んだ。					
	(取組の効果と課題) 自分も友達も大切にすることを育て、叩いたり蹴ったりして傷つけない気持ちを育てるように取り組んだ。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、叩いたり蹴ったりしなくても、相手に気持ちを伝えることができる言葉でのやりとりをする力を育てるよう、保育教諭等全職員が意識を高め、教育・保育における指導法の学びを深める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	生徒指導					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	生徒指導主事会・学警連絡会			年10回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	11回	8回	5回	6回	11回	
実績値における 前年度との 増減理由	集合型の開催することができたため、					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 小学校、中学校の生徒指導主事・主担者や教育委員会や吹田補導地区吹田少年補導協働員会、警察、子ども家庭センター、茨木サポートセンターなどの関係諸機関、SSWSV（スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）が参加し、いじめや暴力、虐待の早期発見や早期対応、未然防止のため、各校のいじめ事案や暴力事案、虐待事案を各関係諸機関と情報共有し、研究協議を行った。					
	(取組の効果と課題) 事案の現状と傾向について、より広い視野での情報を共有することで、各学校と教育委員会、それぞれの対応機関と連携し、問題行動の未然防止、問題を起こした児童・生徒への指導・支援、子どもたちの家庭環境の改善など、地域で一貫した指導・支援を行い、早期発見、早期対応、未然防止を進めていくことができる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	継続して実施を行う。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング（非暴力、コミュニケーション力）を実施するための啓発に努めます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター主催事業、DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数及び延受講者数			2回以上 / 100人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回 / 111人	3回 / 164人	1回 / 34人	3回 / 115人	2回 / 58人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 保護者向けのアンガーマネジメント講座を実施した。					
	（取組の効果と課題） 実践的な内容を伝えることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	開催日時や開催方法を工夫しながら継続して実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング（非暴力、コミュニケーション力）を実施するための啓発に努めます					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 （※複数記入可）	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 教育・保育の中で、絵本を読んだり、場面を捉えて話したりしながら、自分も友達も大切にすることを伝えるようにした。また、友達とけんかやトラブルになった際、叩いたり蹴ったりしなくても言葉で気持ちを伝えられるように援助した。					
	（取組の効果と課題） 語彙数が少なかったり、感情をうまく表現できなかつたりする子供もいるので、保育教諭等全職員が子供一人ひとりに寄り添い、気持ちに寄り添っていくようにした。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	新規採用職員も増えているので、保育教諭等全職員に向けたソーシャルスキルトレーニングについての研修機会を設ける。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング（非暴力、コミュニケーション力）を実施するための啓発に努めます					
担当室課	学校教育室					
事業名 （※複数記入可）	SSW派遣					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	各中学校ブロックへのSSW配置時間			週20時間 年43週		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	週10時間 年43週	(~8月) 週10時間 (9月~) 週20時間 年43週	週20時間 年43週	週20時間 年43週	週20時間 年43週	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 各中学校ブロックにSSWを派遣し、虐待・いじめなどの生徒指導の組織的な対応について助言する。					
	（取組の効果と課題） SSWが派遣されることにより、福祉的な視点を取り入れたソーシャルスキルトレーニングが可能になる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	保育士や教職員等を対象にした意識啓発を図ります					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 （※複数記入可）	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 暴力を許さない教育を含む子供の人権を守ることについての研修を開催し、意識啓発を行った。					
	（取組の効果と課題） 子供の人権を守ること、幼児期からの暴力を許さない教育について、研修を行い意識啓発を行っていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も、暴力を許さない教育についての研修機会を設け、保育教諭等全職員の意識を高めていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の 主な内容	保育士や教職員等を対象にした意識啓発を図ります					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	SSW派遣					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	SSW担当者会			年3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3回	3回	3回	3回	3回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各学校のSSW担当者に対して、いじめや虐待の初期対応について指導する。					
	(取組の効果と課題) SSW 担当者が学校に戻り、担当者会で学んだ内容を周知することで、いじめ、虐待などについての適切な初期対応をすることができる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の 主な内容	非暴力教育の意識を高めるため、保護者等を対象にした非暴力学習を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上 / 130人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2講座 / 178人	2講座 / 148人	1講座 / 43人	2講座 / 110人	2講座 / 104人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 叩かず、甘やかさずに子育てをする方法を学ぶ「スターペアレンティング講座」を、センター主催で1回、のびのび子育てプラザとの共催で1回、計2回実施した。					
	(取組の効果と課題) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グループワーク（受講者同士の意見交換）を取り入れることができなかった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	感染対策をしながら、グループワークを取り入れ、理解を深めてもらう。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	非暴力教育の意識を高めるため、保護者等を対象にした非暴力学習を推進します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 保護者と個別に話し家庭における子育ての様子や、保護者自身の困り感等をできる限り把握し、個々の保護者に応じた子育て支援を行うように努めた。 参観や懇談会等の場において、暴力を許さない子育てについての推進を図った。					
	(取組の効果と課題) 保護者一人ひとりとゆっくり話す時間がとりづらく、保護者が抱える課題を十分に聞き取ることができないことがある。 大人の何気ない言動が子供達を傷つけてしまっていることに、気づけていないケースもある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	非暴力学習を推進していくためには、保育教諭等全職員が非暴力教育についての学びを深め、保護者に伝えていく 力量を付けていく必要がある。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	非暴力教育の意識を高めるため、保護者等を対象にした非暴力学習を推進します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	乳幼児健診事業（4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止啓発または「愛の鞭ゼロ作戦」リーフレット配布			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 4か月児健康診査、3歳児健康診査の受診票郵送時に「ひとりで悩まないで」のリーフレットを同封。1歳6か月児健康診査受診票郵送時に「愛の鞭ゼロ作戦」のリーフレットを同封。健診の問診時に、虐待やDVについての相談や、暴言・暴力をしないような対応について説明。					
	(取組の効果と課題) 乳幼児健診の問診で「すこやか親子21アンケート」の虐待項目に関する回答があった保護者に状況を確認し、相談や指導を実施。また、暴力に関する事実を把握した際は、家庭児童相談室と連携して対応している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	2	DVを許さない意識づくり				
具体的取組	(2)	幼児期からの暴力を許さない教育				
具体的取組の主な内容	非暴力教育の意識を高めるため、保護者等を対象にした非暴力学習を推進します					
担当室課	まなびの支援課					
事業名 (※複数記入可)	生涯学習事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	家庭教育学級開設数			36学級		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	20学級 達成率56%	19学級 達成率53%	0学級 達成率0%	0学級 達成率0%	17学級 達成率47%	
実績値における 前年度との 増減理由	感染対策を講じながら学級開設を行ったから。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各家庭教育学級において、専門的な知識を持った講師による講座を実施する等、情報共有及び学習の機会を作っている。					
	(取組の効果と課題) 各学級が企画する講座等を通じて、学習の機会を生み出すことができる。学級の運営に関する負担を軽減する方法の検討が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	学級の運営に関する情報提供及び学級間の交流等を促すための支援を充実させる必要がある。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション（DV相談室）」の充実を図ります					
担当室課	すいたストップDVステーション（DV相談室）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV相談件数			500件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	537件	552件	857件	643件	651件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) マニュアル等を作成し、相談員の知識の共有化を図るとともに、庁内連携を図り、相談者へワンストップサービスを提供している。また、相談員が積極的に研修等に参加し、相談業務の充実を図っている。					
	(取組の効果と課題) 相談者に寄り添った支援を心がけており、相談者からは繰り返し相談があり、継続した支援につながっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、相談者に寄り添った丁寧な対応をする。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	保護命令の制度の利用についての情報提供と支援を行います					
担当室課	ずいたストップDVステーション（DV相談室）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	保護命令申立支援件数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-②
	5件	8件	2件	1件	0件	
実績値における 前年度との 増減理由	相談者からの保護命令の申立てがなかったため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 必要に応じて、相談者に保護命令制度の説明を行った。					
	（取組の効果と課題） 申立支援を行うことで、普段行く機会が少ない裁判所での手続を円滑に行うことができている。全ての申立てに対して保護命令の決定がされるわけではないため、相談者に制度の趣旨を理解してもらう必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も保護命令を円滑に利用できるよう支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	相談者が市役所で行う手続きのワンストップ化を推進します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV相談件数			500件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	537件	552件	857件	643件	651件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ずいたストップDVステーションでは、相談者の方の庁内での必要な手続きについて同行支援を行っている。					
	（取組の効果と課題） 窓口で同行し、相談者に代わって経過等の説明を行うなど相談者の精神的負担を軽減している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も、相談者に寄り添った丁寧な対応をしていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	各室課の窓口対応者への研修を行います					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、各関係機関からの事例報告や研修を行った。					
	(取組の効果と課題) 大阪府女性相談センター職員による「DV被害者支援と庁内連携の必要性について」をテーマとした研修を行い、関係機関との連携の必要性について認識を深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も関係機関職員への研修を行い、さらなる連携の強化に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	DV相談担当者への専門研修の実施および医師、弁護士等との連携の強化に取り組みます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV法律相談実施回数			12回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	15回	13回	11回	6回	7回	
実績値における 前年度との 増減理由	法律相談の希望者が増えたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議において、医師会や弁護士会を含む各関係機関からの事例報告や研修を行った。また、大阪弁護士会から推薦を受けた弁護士と委託契約を締結し、DV専門法律相談を実施した。					
	(取組の効果と課題) 専門的な知識を有する医師や弁護士の協力を得て、被害者支援につなげることができている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も連携を深め、DV相談体制の充実と被害者保護に取り組む。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	日本語が話せない相談者のための相談体制の整備を行います					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	日本語が話せない外国人からの相談に対応できなかった件数			0件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0件／2件	0件／0件	0件／4件	0件／11件	0件／5件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 日本語が話せない外国人からの相談の際は、文化スポーツ推進室が実施している行政通訳窓口同行事業や翻訳機を利用して対応する。 吹田市多文化共生ワンストップ相談センターと連携を図っている。					
	（取組の効果と課題） 相談担当職員以外の第三者が相談の場に入ることに対し、相談者への配慮が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	吹田市多文化共生ワンストップ相談センターとの連携、行政通訳窓口同行事業や翻訳機の利用により、日本語が話せない相談者に対応していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	日本語が話せない相談者のための相談体制の整備を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	通訳者同行支援を実施している所管と連携する					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	なし	なし	なし	なし	なし	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 取組なし。					
	（取組の効果と課題）					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	日本語が話せない方からの相談の希望があった場合は、通訳者同行支援を実施している所管と連携していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	日本語が話せない相談者のための相談体制の整備を行います					
担当室課	文化スポーツ推進室					
事業名 (※複数記入可)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ通訳ボランティア同行事業【行政・医療】 ・吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業（令和4年度新規事業） 					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	行政通訳窓口同行			80件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	44件	66件	42件	52件	104件	
実績値における 前年度との 増減理由	令和2年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症による緊急事態措置期間等が多くあり依頼件数が減少したが、令和4年度はコロナの対応措置が緩和された部分もあったため、件数が増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・対応言語を2か国語（フランス語、ネパール語）追加し、7か国語の通訳を行えるようにした。 ・外国人に対する窓口対応について他部署から相談を受けた際には、本事業を活用するよう積極的にPRした。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・令和4年度から、在留手続や雇用、医療等、日常生活の中で必要な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」を設置。 ・リーフレットやHPを用いて、庁内だけでなく、教育機関等へも広く周知した。					
	(取組の効果と課題) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・職員と外国籍市民等（利用者）との意思疎通が正確かつ円滑に行われることにより、利用者が公平なサービスを受けることができた。 ・時間帯（土曜日や夜間等）での利用が増加しているため、利用時間について検討する必要がある。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・相談内容より、適切な機関へとスムーズにつなぐことができるようになった。 ・HPでの行政情報の発信について強化する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、継続する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	DV事例の研究から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 2回	(代表者会議) 1回 (実務担当者会議) 1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、各関係機関からの事例報告や研修を行った。					
	(取組の効果と課題) 大阪府女性相談センター職員による「DV被害者支援と庁内連携の必要性について」をテーマとした研修を行い、関係機関との連携の必要性について認識を深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も関係機関職員への研修を行い、さらなる連携の強化に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(1)	相談支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	DV事例の研究から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業担当者連絡会議の実施			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 相談事業の担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有とスキルアップを図った。					
	(取組の効果と課題) 情報共有を行うことにより、相談者に対してよりきめ細かく対応できるようになった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も定期的に相談事業担当者連絡会議を行い、相談事業の充実を図っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の主な内容	すいたストップDVステーション（DV相談室）の周知に努めます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子等の発行部数			1,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	N-①
	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット1,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット1,000部 カード5,000部 チラシ4,000枚	「すいたストップDVステーション」啓発用パンフレット2,000部	「すいたストップDVステーション」啓発用カード5,000部 チラシ8,000枚	Wリボンチラシ8,000枚	
実績値における 前年度との 増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。また、医師会及び歯科医師会を通じて市内の医療機関へ相談窓口を掲載したチラシと啓発用品を配付し、相談窓口の周知に努めた。					
	(取組の効果と課題) 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口を周知し、被害者支援につなげていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の 主な内容	パンフレットやリーフレットをより多くの場所に設置し、市民への周知徹底を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子等の発行部数			1,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	「すいたストップDV ステーション」啓発用 パンフレット 1,000部	「すいたストップDVス テーション」啓発用 パンフレット1,000部 カード5,000部 チラシ4,000枚	「すいたストップDVス テーション」啓発用 パンフレット2,000 部	「すいたストップDV ステーション」啓発用 カード5,000部 チラシ8,000枚	Wリボンチラシ 8,000枚	
実績値における 前年度との 増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。また、医師会及び歯科医師会を通じて市内の医療機関へ相談窓口を掲載したチラシと啓発用品を配付し、相談窓口の周知に努めた。					
	（取組の効果と課題） 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口を周知し、被害者支援につなげていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の 主な内容	ホームページや市報その他の広報紙、ケーブルテレビ等での紹介を行います					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子等の発行部数			1,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	「すいたストップDV ステーション」啓発用 パンフレット 1,000部	「すいたストップDVス テーション」啓発用 パンフレット1,000部 カード5,000部 チラシ4,000枚	「すいたストップDVス テーション」啓発用 パンフレット2,000 部	「すいたストップDV ステーション」啓発用 カード5,000部 チラシ8,000枚	Wリボンチラシ 8,000枚	
実績値における 前年度との 増減理由	在庫状況により発行する啓発冊子等の種類や発行部数が異なるため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。また、医師会及び歯科医師会を通じて市内の医療機関へ相談窓口を掲載したチラシと啓発用品を配付し、相談窓口の周知に努めた。					
	（取組の効果と課題） 相談者から、ホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聞いている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	様々な媒体を通じてすいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口を周知し、被害者支援につなげていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の主な内容	ホームページや市報その他の広報誌、ケーブルテレビ等での紹介を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市報やホームページでの周知を行う			市報は年1回以上 ホームページは常時		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	市報にて年1回周知 ホームページは常時周知	市報にて年1回周知 ホームページは常時周知	市報にて年1回周知 ホームページは常時周知	市報にて年1回周知 ホームページは常時周知	ホームページにて 常時周知	
実績値における 前年度との 増減理由	例年市報の掲載を3月に行っていたが、令和5年度から悩みの相談室とDV相談を統合する等の変更があり、3月の掲載を4月に変更したため令和4年度の市報掲載回数が減少した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 常時ホームページにて、相談事業の周知を行った。					
	(取組の効果と課題) ホームページ等で相談事業の周知を行っているが、予約が全枠埋まらないこともあり、周知方法の工夫等が必要であると感じている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	令和4年度は市報掲載時期をずらしたため、市報掲載回数が減少したが、令和5年度以降は、今までどおり定期的に市報等で周知を図る。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の主な内容	保健、医療機関や民生・児童委員への情報提供、周知を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	吹田市民生・児童委員協議会へ情報提供			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	1回	1回	1回	1回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由	業務都合により民生・児童委員協議会への出席を見送ったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会に吹田市社会福祉協議会や民生児童委員協議会も委員として参加し、市のDVの現状や防止への取組について情報共有を行っている。また、医師会及び歯科医師会を通じて市内の医療機関へ相談窓口を掲載したチラシと啓発用品を配付し、相談窓口を周知した。					
	(取組の効果と課題) DVの仕組みを理解してもらうことで、民生委員の証明書発行など様々な場面での配慮をお願いしている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も関係機関と連携し、DV被害者の支援に取り組む。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(2)	相談窓口の周知				
具体的取組の主な内容	保健、医療機関や民生・児童委員への情報提供、周知を図ります					
担当室課	福祉総務室					
事業名 (※複数記入可)	福祉活動補助事業（吹田市民生委員・児童委員活動補助金）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	民生委員・児童委員の新任研修受講率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	Ⅳ-①
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由	民生委員・児童委員の新任研修欠席者に対しても、後日個別に研修内容を説明するなど、活動に必要な情報を提供している。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 民生委員・児童委員に対し、新任研修等の機会をとらえて、DV相談窓口を含めた福祉サービス全般の相談体制に関する情報提供を行った。 また、吹田市民生・児童委員協議会の児童部会にて、市主催の子ども見守り家庭訪問事業実施時に配布するPR用ウェットティッシュを作成した。このデザインについて、Wリボンを持ったすいたんに「心配ごと・悩みごとは、地域の民生委員・児童委員にお気軽にご相談を」という文言を添え、児童虐待や女性に対する暴力の根絶のための相談先として民生委員・児童委員を啓発した。また11月には同様のデザインのバンドエイドを市内中学生に配付した。					
	（取組の効果と課題） 民生委員・児童委員が要支援者の相談に対し、DV等の相談窓口適切につなぐことができるよう、定期的に情報提供を行う必要がある。 上記のPR物品の配付について、次年度以降も継続を検討しているが、物価高騰の影響により、上記物品を必要数作成することが困難になりつつあるため、委員の意見も聞きつつ内容について検討する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、民生委員・児童委員に対し相談体制に関する情報提供・周知を行う。また、市民に対し相談窓口を周知する取組を行う。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	相談時の加害者からの安全確保と相談者のプライバシー保護を徹底します					
担当室課	すいたストップDVステーション（DV相談室）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV相談件数			500件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	537件	552件	857件	643件	651件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 被害者保護のため、相談場所の秘匿や個室での面談を行っている。また、職員にも相談場所の秘匿について周知している。					
	（取組の効果と課題） 加害者からの接触はなく、安全な環境で相談を実施している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、被害者の安全確保に努め、安心して相談できる環境を維持していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	相談者の個人情報の保護のため、相談に関する情報等の管理を徹底します					
担当室課	すいたストップDVステーション（DV相談室）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV相談件数			500件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	537件	552件	857件	643件	651件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 書類の作成にはネットワークから独立した端末を使用し、施錠できる場所に保管する等、個人情報の管理について、漏洩することのないよう徹底している。					
	（取組の効果と課題） 庁内関係機関と連携する事案もあるため、個人情報のやり取りについては、より一層厳重に行う必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も、情報管理を徹底していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	支援者は頻繁に情報共有を図り、相談機関による二次被害を防止します					
担当室課	すいたストップDVステーション（DV相談室）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			（代表者会）1回 （実務担当者会議）2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、関係室課との連携を図り、情報共有を徹底することで相談者に不要な説明を求めることを省略し、精神的な負担の軽減に努めている。					
	（取組の効果と課題） DV被害者の心理等を関係室課の担当者に理解してもらうことにより二次被害を防止している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も、関係室課と連携を行い、二次被害の防止に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	被害者の保護と加害者への対応について、関係機関職員への研修を実施します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における前年度との増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会や実務担当者会議の中で事例検討や研修を行った。					
	(取組の効果と課題) 大阪府女性相談センター職員による「DV被害者支援と庁内連携の必要性について」をテーマとした研修を行い、関係機関との連携の必要性について認識を深めることができた。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も関係機関職員への研修を行い、さらなる連携の強化に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	緊急時における避難場所の確保等、一時保護体制の充実に努めます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	一時保護件数			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	4件	6件	3件	1件	1件	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 一時保護施設への入所に際しては、大阪府に一時保護を依頼することになるが、スムーズに一時避難にあたっての引継ぎができるよう、聞き取りシートやチェックシートを作成している。					
	(取組の効果と課題) 聞き取りシート等を基に必要な情報を聞き取り、スムーズに他機関への引継ぎができています。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も、緊急時に速やかに対応できるよう、チェックシート等のツールの整備を図る。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の 主な内容	緊急時における避難場所の確保等、一時保護体制の充実に努めます					
担当室課	生活福祉室					
事業名 (※複数記入可)	生活保護事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数10	DV被害者の 保護開始件数19	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。					
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の 主な内容	緊急時における避難場所の確保等、一時保護体制の充実に努めます					
担当室課	障がい福祉室					
事業名 (※複数記入可)	障害者基幹相談支援センター事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 緊急時における避難場所の確保については、短期入所施設の提供や宿泊施設利用における予算を確保している。本人の状況、状態に応じて病院等の入所先を探して、本人の安全確保を図っている。					
	(取組の効果と課題) 障がい者の状態は、身体障がい、知的障がい、精神障がいにより大きく異なり、本人の状態に応じた安全確保先が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	本人の状況、状態に応じた安全に過ごせる場所の確保を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	緊急時における避難場所の確保等、一時保護体制の充実に努めます					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業の利用件数			適切な利用		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0件	0件	0件	0件	0件	
実績値における 前年度との 増減理由	平成30年度以降利用なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用できるよう研修している。					
	(取組の効果と課題) 高齢者虐待の内容に応じて高齢者の意思を尊重し、安心安全な生活を送るための避難を講じることができる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	セーフティネット事業として、継続していく。 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の主な内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システムの連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	支援措置の意見付与件数			50件以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	65件	76件	85件	68件	62件	
実績値における 前年度との 増減理由	相談者からの申出により判断を行うため					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、担当課との連携を図っている。必要に応じて支援措置担当者と同席のうえで、相談業務を行っている。					
	(取組の効果と課題) 被害者保護のために個人情報の漏洩がないよう庁内で連携を行っている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、会議等でDV被害者における情報秘匿の必要性について周知し、被害者保護に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(3)	被害者保護の徹底				
具体的取組の 主な内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システムの連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します					
担当室課	市民課					
事業名 (※複数記入可)	住民基本台帳事務における支援措置					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	実績値			実績値の増減で評価できるものではなく、申出がない人の状況を把握することは困難であり、実績をもって評価が難しく、他の指標でも評価は困難と考えます。		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	263件	299件	336件	353件	350件	
実績値における 前年度との 増減理由	支援措置の継続申出及び新規申出件数を基に算出し、令和3年度とほぼ同数値（対前年度比3件減）。					
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>住民基本台帳事務処理要領に基づき、今まで以上に制度の説明を丁寧に行い、申出者にとって本制度の必要性を理解してもらうことを心掛け、事業を実施しました。また、転入や戸籍の届のため来庁された際に支援措置申出者であることが各担当へ伝わるよう徹底するとともに、支援措置担当者を増員し、いつでも制度の説明や相談が行えるよう体制の強化を図りました。</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>必要な方に必要な情報提供を行い、制度の適正な運用に取り組みました。ただし、継続の意思確認が取れない方も増加しており、適正な運用方法の構築が必要と考えます。また、申出件数とともに相談件数、電話での問い合わせも併せて増加しており、支援措置に係る相談時間や事務処理が増大し、体制の強化を今後も図っていく必要があります。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	全国的にも支援措置制度に関する情報が一般的に周知され、本市の支援措置件数は増加傾向にあります。ただし、単に誰でも「住所が知られないようにできる制度」と誤解され来庁されるケースも増加しており、着実に必要な方が利用できるよう制度説明等において市民課職員のスキルアップを図るとともに、関係各課・機関との連携を強化し、被害者保護に向け支援体制の充実を図っていきます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(4)	支援者の支援のためのシステム作り				
具体的取組の 主な内容	相談員など被害者支援に関わる人たちの交流の機会をつくります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業担当者連絡会議参加回数			2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	<p>（具体的取組を推進するために取り組んだ内容）</p> <p>男女共同参画センターの各種相談員とすいたストップDVステーションの相談員との情報交換会に参加した</p>					
	<p>（取組の効果と課題）</p> <p>相談上の悩み等を情報交換、共有し、相談スキルの向上に役立っている。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、情報交換会を継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(4)	支援者の支援のためのシステム作り				
具体的取組の 主な内容	相談員など被害者支援に関わる人たちの交流の機会をつくります					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業担当者連絡会議の実施			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 相談事業担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有等を行った。					
	(取組の効果と課題) 会議を通して情報共有等を行うことにより、相談者に対してよりきめ細かく対応できるようになった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も定期的に相談事業担当者会議を行い、相談事業の充実を図っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(4)	支援者の支援のためのシステム作り				
具体的取組の 主な内容	相談員など被害者支援に関わる人たちのこころの健康（メンタルヘルス）のための取組を推進します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業担当者連絡会議参加回数			2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画センターの各種相談員とすいたストップDVステーションの相談員との情報交換会に参加した。					
	(取組の効果と課題) 相談上の悩み等を情報交換、共有し、相談スキルの向上に役立っている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も情報交換会を継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	3	DV相談体制の充実と被害者保護の取組の推進				
具体的取組	(4)	支援者の支援のためのシステム作り				
具体的取組の主な内容	相談員など被害者支援に関わる人たちのこころの健康（メンタルヘルス）のための取組を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名（※複数記入可）	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	相談事業担当者連絡会議の実施			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 相談事業担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有等を行った。					
	（取組の効果と課題） 相談事業担当者連絡会議が相談員のメンタルヘルスケアの一翼となり、より良い相談事業が行えている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も定期的に相談担当者連絡会議を行い、相談員のメンタルヘルスケアに努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	DV相談件数			500件		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	537件	552件	857件	643件	651件	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会や実務担当者会議を開催し、担当課との連携を図っている。担当課に被害者の状況を伝え、的確な情報を伝えられるようにしている。					
	（取組の効果と課題） 被害者の状況把握を十分に図ることで、必要な支援を明確にし、関係部署につなぐことができています。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	よくある対応についてはマニュアル化し、プロセスを明確にすることで、迅速に適切な支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図ります					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上 / 30人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2講座 / 23人	2講座 / 31人	2講座 / 98人	1講座 / 14人	1講座 / 20人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 相談事業では相談者に適した相談先を紹介している。 DVフォロー講座として、シングルマザーを対象としたマネー講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 相談から受講へつながる方も多いため、相談内容の分析を随時行い、講座企画に反映させていく。 また、講座の受講から相談へつながるように、受講者に相談先や支援についての情報提供をしていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	状況に応じて受講方法を定めることができるように、対面式の講座を同時にオンラインで配信するハイブリッド形式を検討する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	福祉制度の活用等、福祉事務所などと連携した、生活支援から自立へつながるような体制を強化します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 福祉部門に関連する室課はDV防止ネットワーク会議の委員となっており、障がいを抱えたり、経済的に困窮している等の相談者については連携し自立に向けた支援を行っている。連携が必要なケースについては、担当者同席のうえで相談業務を行っている。					
	(取組の効果と課題) 適切な福祉制度の利用に繋げることで、相談者の自立の支援ができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も連携し、被害者のニーズに応じた支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	福祉制度の活用等、福祉事務所などと連携した、生活支援から自立へつながるような体制を強化します					
担当室課	生活福祉室					
事業名 (※複数記入可)	生活保護事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			数値目標を設定できない		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数21	DV被害者の 保護開始件数10	DV被害者の 保護開始件数19	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。					
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	福祉制度の活用等、福祉事務所などと連携した、生活支援から自立へつながるような体制を強化します					
担当室課	障がい福祉室					
事業名 (※複数記入可)	障害者相談支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市内6ブロックに設置している障がい者相談支援センターにおいて、障がい者等の福祉に関する各般の問題や困りごとや虐待の早期発見に向けた相談対応を実施。また、相談支援の中核的役割として後方支援を行っている基幹相談支援センターに虐待防止センターを併設し、虐待対応から自立に向けた支援を実施した。					
	(取組の効果と課題) 障がい者等の多様な相談に対応する中で、虐待防止や福祉サービスの活用や生活支援から自立に向けた支援を行っている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	関係機関との連携強化、相談員等の技術向上を図ることで、支援体制を強化します。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	福祉制度の活用等、福祉事務所などと連携した、生活支援から自立へつながるような体制を強化します					
担当室課	国民健康保険課					
事業名 (※複数記入可)	DV等被害者の国民健康保険・後期高齢者医療各届出事務相談他					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	対応件数	対応件数	対応件数	対応件数	対応件数	
	国民健康保険 23件 後期高齢者医療 7件	国民健康保険 25件 後期高齢者医療 4件	国民健康保険 14件 後期高齢者医療 7件	国民健康保険 22件 後期高齢者医療 11件	国民健康保険 15件 後期高齢者医療 4件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 被害者の健康保険届出事務において、秘密保持を図るため、システム上に注意喚起フラグを立て、重要案件については加害者からの問い合わせ等への具体的対応方法を入力し、情報の共有化を図っている。					
	(取組の効果と課題) 窓口担当者、問い合わせを受けた担当者は必ずフラグの内容を確認し、DV等関連部署との情報連携を図ることができている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の 主な内容	経済的な自立に向けた就労支援を充実します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)2回	(代表者会議)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、担当課との連携を図っている。被害者の就労支援については、地域経済振興室や子育て給付課が行う就労支援相談を案内している。					
	(取組の効果と課題) 児童手当や児童扶養手当等の給付や母子父子自立支援員の就労相談につなぐことで経済的な自立の支援ができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も連携をすすめ、被害者の経済的な自立につながるような支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	経済的な自立に向けた就労支援を充実します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	地域就労支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	就労支援講座を開催			2種類以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①介護職員初任者研修：20名 ②パソコン講座：30名	①調剤事務講座：10名 ②介護職員初任者研修：10名	①調剤事務講座：10名 ②介護職員初任者研修：9名 ③ビジネスパソコン講座：18名	①調剤事務講座：10名 ②介護職員初任者研修：10名 ③ビジネスパソコン講座：19名	①調剤事務講座：8名 ②介護職員初任者研修：6名 ③ビジネスパソコン講座：15名	
実績値における前年度との増減理由	募集人数や内容の異なる講座を開催しているため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施。 講座内容：①調剤事務講座②介護職員初任者研修③パソコン講座					
	(取組の効果と課題) DV被害者のみに限らないが、様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身につけることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益であると考えます。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	経済的な自立に向けた就労支援を充実します					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	ひとり親家庭等支援事業（自立支援プログラム策定・ひとり親家庭就業相談）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①自立支援プログラム策定件数 ②就業相談件数			①24件 ②相談事業のため目標設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①26件 / 108.3% ②918件	①19件 / 79.2% ②902件	①24件 / 100% ②925件	①20件 / 83.3% ②811件	①21件 / 87.5% ②705件	
実績値における前年度との増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、相談件数が令和3年度より減少したと考えられるため。					
令和4年度取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 就業支援専門員を配置し、ひとり親家庭の方に対して、職業能力の向上や求職活動等に関する支援を行っている。					
	(取組の効果と課題) ひとり親家庭の方の個々の事情に応じた就職、転職や資格取得等に関する助言・情報提供を行うことにより、スキルアップや就労につながっている。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)	ひとり親家庭の方が経済的に安定し自立できるよう、今後もハローワークや庁内関係所管との連携を強化しながら、的確な助言・情報提供に努める必要がある。児童扶養手当の手続き時など、本人の状況を聞き取りし、就労支援につなげることができる機会を活かして、支援につなげていくことも肝要である。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	被害者の自立した生活に向け、住宅の提供に関する支援を検討します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	公営住宅用DV証明発行件数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2件	3件	9件	5件	4件	
実績値における前年度との増減理由	相談者からの申出が減ったため。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市営や府営住宅についての情報提供や申込に際し、必要な証明書の発行等、住宅政策室等と連携し支援を行っている。					
	（取組の効果と課題） 被害者の住宅確保を支援し、自立した生活を促している。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も関係室課と連携して被害者の住宅確保を支援していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(1)	自立支援の機能の強化				
具体的取組の主な内容	被害者の自立した生活に向け、住宅の提供に関する支援を検討します					
担当室課	住宅政策室					
事業名（※複数記入可）	市営住宅管理事業、借上型市営住宅管理事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	DV被害者が応募できる「ひとり親世帯向け」募集戸数			提供戸数は増減		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	16戸	13戸	15戸	8戸	14戸	
実績値における前年度との増減理由	退去等により募集可能となった部屋の戸数及び間取り等の条件により、提供戸数が増減します。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市営住宅入居者募集にあたり、令和4年度は募集戸数99戸のうち、DV被害者が申込できる「ひとり親世帯向け」住居14戸を提供しました。					
	（取組の効果と課題） 効果：居住が安定することで、自立した生活につながります。 課題：空き住戸の提供のため、募集時期により戸数の増減が発生します。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	今後も引き続き、DV被害者が応募できる住宅を提供します。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の 主な内容	安定した生活が維持できるようこころのケアのための相談や、情報提供を充実します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業担当者連絡会議参加回数			2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回	2回	2回	2回	2回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 相談対応の中で、不安が強い方については男女共同参画センターの女性のための相談を案内している。					
	（取組の効果と課題） 相談担当のカウンセラーと情報を共有することで、相談者に寄り添った対応ができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も相談者のこころのケアに努めるため、情報交換会を継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の 主な内容	安定した生活が維持できるようこころのケアのための相談や、情報提供を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター相談事業、DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上/30人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1講座/67人	1講座/63人	2講座/111人	2講座/68人	2講座/57人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 相談事業では、相談経験の豊富な相談員が相談者のエンパワーメントを基本に、一定期間継続して相談を受けるようにしている。DVフォロー講座として、DVとは何かを知ってパートナーとの関係を見直すことをテーマにした講座を開催した。					
	（取組の効果と課題） 講座ではDVとは何かを知ってもらい、被害にあったときにそれに気付き、相談したり、支援を求めたりできるように情報提供をしていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	講座受講から相談につなげていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の 主な内容	安定した生活が維持できるようこころのケアのための相談や、情報提供を充実します					
担当室課	のびのび子育てプラザ					
事業名 (※複数記入可)	子育て支援コンシェルジュ事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談件数			1,500 件		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	相談件数 1,302 件	相談件数 1,288 件	相談件数 1,257 件	相談件数 1,202 件	相談件数 1,341 件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) コンシェルジュだよりや吹田版ネウボラのリーフレットの作成で周知をすすめた。					
	(取組の効果と課題) 相談の予約等が増加傾向にある。電話・来館・メールでの相談を受け、安心して子育てできるように、助言や必要な情報を提供している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	安心・安全に子育てができるよう寄り添い、助言や必要な情報提供を行っており、数値で測れないが、非常に必要度の高い事業である。引き続きコンシェルジュだよりや吹田版ネウボラのリーフレットにより啓発、周知を進める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の 主な内容	安定した生活が維持できるようこころのケアのための相談や、情報提供を充実します					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	来所・電話相談事業 出張教育相談事業 スクールカウンセラー配置事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市内保育所・幼稚園 市内小・中学校への 教育相談チラシの配布率			100%		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配布					
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の主な内容	子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援に努めます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			（代表者会）1回 （実務担当者会議）2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、担当課との連携を図っている。子供のこころのケアについては、児童担当部署の各制度の案内や、同席での面談を行っている。					
	（取組の効果と課題） 子供のこころのケアを行うことで、被害者の家庭生活の不安や負担を軽減できている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も担当部署と連携し、情報提供や制度につなげることで被害者の安定した家庭生活の支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の主な内容	子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援に努めます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	傾聴カフェの定期的な開催			年6回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	12回	10回	11回	11回	12回	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は新型コロナウイルス等の休館日がなかったため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 月1回、傾聴カフェを行い、DV被害者の支援に努めた。					
	（取組の効果と課題） 利用者は増加しているが、まだ受け入れの余地があるので、より一層周知していく必要性を感じている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今まで以上に周知に努め、利用者の増加を図る。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の主な内容	子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援に努めます					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	児童虐待相談件数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1,212件	1,321件	1,491件	1,385件	1,845件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 児童の面前でのDVは児童に対する心理的虐待にあたり、その心的外傷から、児童の発達や成長に悪影響が及びます。これらの相談に対しては、まずは児童の状況を確認し、関係機関と情報を共有しながら、必要な支援や養育者に対する指導を行いました。					
	(取組の効果と課題) 児童虐待相談1,845件のうち、面前DVを含む940件の心理的虐待相談に対応し、必要に応じて関係機関と連携をしながら、児童や養育者の支援を行いました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	児童虐待相談に対し、早期に発見し、適切な対応ができるよう、引き続き、相談員の確保やそのスキル向上を図るとともに、関係機関とのさらなる連携強化に取り組む必要があります。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	4	DV被害者の自立支援体制の整備				
具体的取組	(2)	被害者とその子供のこころのケア				
具体的取組の主な内容	地域で支えていく仕組みづくりの検討を行います					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	吹田市民生・児童委員協議会への情報提供			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	1回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由	業務都合により民生・児童委員協議会への出席を見送ったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会に吹田市社会福祉協議会や民生児童委員協議会も委員として参加し、市のDVの現状や防止への取組について情報共有を行っている。					
	(取組の効果と課題) DVの仕組みを理解してもらうことで、民生委員の証明書発行など様々な場面での配慮をお願いしている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も関係機関と連携し、DV被害者の支援に取り組む。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の主な内容	DV防止ネットワークをさらに充実させ、関係機関相互の連携を強化します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			（代表者会）1回 （実務担当者会議）2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 吹田市DV防止ネットワーク会議を開催し、各関係機関からの事例報告や研修を行った。					
	（取組の効果と課題） 大阪府女性相談センター職員による「DV被害者支援と庁内連携の必要性について」をテーマとした研修を行い、関係機関との連携の必要性について認識を深めることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も吹田市DV防止ネットワーク会議の充実を図り、関係機関との連携を強化していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の主な内容	児童、高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した推進体制の構築を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	DV防止ネットワーク会議の開催回数			（代表者会）1回 （実務担当者会議）2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）2回	（代表者会議）1回 （実務担当者会議）1回	
実績値における 前年度との 増減理由	DV防止ネットワーク会議のあり方を見直し、実務担当者会議を1回の開催に整理・統合したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市が対応するDV、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待の担当室課については、吹田市DV防止ネットワーク会議の委員になっており、連携を図っている。					
	（取組の効果と課題） 吹田市DV防止ネットワーク会議を活用することで担当室課との連携が図れており、DV被害者の支援を円滑に行うことができています。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も吹田市DV防止ネットワーク会議を活用し、連携を強化していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の主な内容	児童、高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した推進体制の構築を図ります					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の開催数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	代表者会議 1回 実務者会議 28回	代表者会議 1回 実務者会議 25回	代表者会議 1回 実務者会議 25回	代表者会議 1回 実務者会議 29回	代表者会議 1回 実務者会議 27回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 児童虐待を含む家庭児童相談に対しては、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関と連携して、情報や支援方針を共有しながら支援を行いました。					
	(取組の効果と課題) 代表者会議や実務者会議等を通して、関係機関との情報共有を行うなど連携強化を図りました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関との連携強化に努めます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の主な内容	児童、高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した推進体制の構築を図ります					
担当室課	障がい福祉室					
事業名 (※複数記入可)	障害者基幹相談支援センター事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 障がい者等への虐待防止の取組の中で、児童、高齢者が関わっている場合は、関係部署、関係機関と連携し対応している。					
	(取組の効果と課題) 障がい者、児童、高齢者の虐待対応に関しては、根拠法令が異なるが虐待者と被虐待者の状況等により、適切に対応し連携する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、関係部署、関係機関との連携を強化する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の 主な内容	研修などを利用し情報共有を含めて、大阪府・他市町村との連携を強化します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修、連絡会への参加			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	9日	23日	参加研修 10日 オンライン研修 8日	参加研修 2日 オンライン研修 5日 動画研修 5回	参加研修 7日 オンライン研修 4日 府内DV会議出席 3回	
実績値における 前年度との 増減理由	新任の担当者が増えたため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 大阪府等の会議や研修に参加し、他市町村のDV防止の取組について情報を共有した。					
	（取組の効果と課題） 会議や研修を通して、他市町村との連携をスムーズに行うことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も大阪府や他市町村との連携を強化し、DV被害者支援に活かしていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(1)	関係部署・関係機関との連携強化				
具体的取組の 主な内容	研修などを利用し情報共有を含めて、大阪府・他市町村との連携を強化します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター相談事業、DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修への参加			年10回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	20回	19回	11回	9回	12回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 様々な研修に参加し、情報収集・連携を図った。					
	（取組の効果と課題） 男女共同参画や相談業務に関して研修で学ぶことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	引き続き、積極的に受講し、事業に活かしていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(2)	民間団体等との連携と協働				
具体的取組の 主な内容	効果的な支援のあり方を検討し、民間団体の被害者支援活動や予防啓発活動との連携を強化します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 研修等を通じ、民間団体の被害者支援活動を参考にし、情報提供を行っている。					
	（取組の効果と課題） 相談者へ民間団体等の情報提供を行うことで、行政機関以外にも相談できる窓口を広げられている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も、民間団体の被害者支援活動の情報を取り入れ、相談者へ効果的な支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	5	DVに係る関係機関等との連携・協働の推進				
具体的取組	(2)	民間団体等との連携と協働				
具体的取組の 主な内容	民間シェルターとの連携を検討します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 一時保護を実施する際に直接民間シェルターとの連携は行っていないが、大阪府を通じて民間シェルターを利用している。					
	（取組の効果と課題） 男性の一時保護希望者やペット同伴希望の相談者への支援が十分とはいえない。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後は、様々な民間団体の情報を取り入れ、相談者へ効果的な支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	6	DV加害者の更生支援の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	男性相談などDV予防のための方策を検討します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 男性被害者からの相談も女性と同様に行っているが、必要に応じて男女共同参画センターや大阪府が実施している男性電話相談を案内するなど、柔軟に対応している。加害者の更生支援についてはメンズサポートルーム大阪のプログラムを案内している。					
	（取組の効果と課題） 加害者へのアプローチの方法や、効果的な更生支援については、研究が必要である。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	DV加害に対する気づきを促すための啓発や、更生支援の相談窓口の情報提供を行う。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	関係機関の効果的な連携を可能にする児童虐待防止ネットワークの体制強化のため、研修などを実施します					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名（※複数記入可）	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	実務者を対象にした研修の開催回数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	2回	2回	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の構成機関の全実務者を対象に、児童虐待発生時の初期対応とリスクアセスメントについて研修を行いました。					
	（取組の効果と課題） 研修を通して、児童虐待防止ネットワーク会議の役割や虐待発生時における対応方法について再確認することができた。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	児童虐待に関する相談については、各関係機関が連携しながら、迅速かつ適切に対応することが求められます。今後も引き続き、効果的な研修内容を検討しながら、研修会を実施することで実務者の対応スキルの向上に取り組めます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	虐待問題担当者の配置、すべての教職員への校内研修の実施など、学校における早期発見体制を整備します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	SSWの派遣・SSW担当者会					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	SSW担当者会			年3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3回	3回	3回	3回	3回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 学期に1回SSW担当者会を開き、学校での役割を確認して情報を共有し研修を行った。また、各校に派遣されたSSWがコア会議・ケース会議に参加したり、校内研修を実施したりした。					
	(取組の効果と課題) SSWが問題対応に追われ、校内研修を実施する時間を十分確保できていない。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続、拡充していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	虐待の未然防止、早期発見に取り組むため、子どもに対する暴力防止プログラムを実施します					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	親支援プログラム事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	有効性が認められた参加者の割合			8割以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	88%	88%	93%	85%	90%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 保護者を対象に子育てのスキルや問題解決力の向上を目的とした講座を実施することで、児童虐待の未然防止を図りました。					
	(取組の効果と課題) 9割以上の参加者に講座の有効性が認められ、保護者の子育てに対する不安や負担感が大きく改善されました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	本事業を継続していくとともに、より多く保護者が受講しやすいよう開催形態を工夫しながら、多様化する養育者のニーズの把握に努めます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	虐待の未然防止、早期発見に取り組むため、子どもに対する暴力防止プログラムを実施します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 保育教諭等全職員に対して児童虐待についての研修実施や、各園での日々の保育の振り返り等の会議を持つ中で、子どもに対する暴力防止についての意識を高め、虐待の未然防止や早期の発見に努めるようにした。また、児童虐待防止ネットワーク会議へ参加し、虐待情報を共有し在園児の状況把握をした。					
	(取組の効果と課題) 保育教諭等全職員に対して児童虐待についての研修に参加したり、各園での日々の保育の振り返り等の会議を持つ中で、子どもに対する暴力防止についての意識を高めたりし、虐待の未然防止や早期の発見に努める意識が持てるよう啓発した。また、児童虐待防止ネットワーク会議へ参加し、虐待情報を共有し在園児の状況把握をし、保護者対応に努めた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	新規採用職員が増える中、虐待の未然防止、早期発見に取り組むことができるように虐待防止についての研修機会を設け、意識を啓発する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	虐待の未然防止、早期発見に取り組むため、子どもに対する暴力防止プログラムを実施します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	要保護児童地域対策協議会					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	虐待ネットワーク会議			年10回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	12回	12回	12回	12回	12回	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 毎月1回の児童虐待防止ネットワーク会議への参加					
	(取組の効果と課題) 家庭児童相談室や子ども家庭センター等の関係機関と虐待情報を共有することで、早期発見・未然防止につながる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	虐待の未然防止、早期発見に取り組むため、子どもに対する暴力防止プログラムを実施します					
担当室課	のびのび子育てプラザ					
事業名 (※複数記入可)	一時預かり事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	一時預かり事業の利用率			80%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	88.70%	86.30%	79.30%	78.20%	87.00%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) コロナ禍で安全に保育を行うため定員を10名から、4月～6月は6名、7月～8月に減らしたが、多くの方が利用できるよう原則月1回の利用とする制限を行った。					
	(取組の効果と課題) 一時預かり事業の利用率はコロナ禍前と変わらず85%以上となっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	家族の孤立化を防止するため、子育てサークルによる育成支援を実施します					
担当室課	のびのび子育てプラザ					
事業名 (※複数記入可)	子育てサークル支援					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	サークル交流会の開催数			2回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	サークル交流会の開催 数 2回	サークル交流会の開催 数 1回	サークル交流会の開催 数 0回	サークル交流会の開催 数 0回	サークル交流会の開催 数 0回	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度の実施は無し。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 子育てサークル活動の内容を他のサークルの参考となるよう、室内に掲示する等の工夫を行った。					
	(取組の効果と課題) 交流会は開催できなかったが、サークル交流室の利用が25回あった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	新型コロナウイルス感染症により、サークル活動を自粛され、交流会の開催ができなかった。感染状況が収束傾向に向かえば、交流会の開催につなげられるのではないかとと思われる。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	家族の孤立化を防止するため、家庭訪問等の支援策を充実します					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	育児支援家庭訪問事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	育児支援家庭訪問員による延べ訪問回数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	111回	161回	78回	109回	68回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 子供の養育に不安や孤立感を抱えるなど支援が必要な家庭に対し、育児支援家庭訪問員が訪問し、子育て相談や育児方法に対するアドバイスをを行いました。					
	(取組の効果と課題) 養育者の子育てにおける育児不安や負担感の軽減を図りました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	育児における養育者の負担感が増していることから、児童虐待の防止の点からも育児支援家庭訪問員による支援が有効と考えます。引き続き、訪問員の確保に取り組みながら、支援を必要とする養育者を早期に支援するため、母子保健課などの関係機関との連携に努めます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	家族の孤立化を防止するため、家庭訪問等の支援策を充実します					
担当室課	母子保健課					
事業名 (※複数記入可)	妊娠出産包括支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	新生児・乳児訪問実施率			80%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	56.7%	66.5%	55.4%	57.80%	63.70%	
実績値における 前年度との 増減理由	コロナ禍で実施率が落ち込んでいたが、感染対策に留意することで訪問希望が増えていること、助産師訪問できる期日が延長されたことも、訪問実施率の増加につながっている。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 助産師と保健師での新生児訪問等で、授乳・育児相談・地域情報提供を行っている。不安のある方には継続訪問を行い育児の不安や負担の軽減に努めている。令和5年2月から、出産・子育て応援事業で経済的支援と伴走型支援を一体的に開始し、訪問だけでなく、来所面談・オンライン面談を行っている。					
	(取組の効果と課題) 令和5年2月から開始した出産・子育て応援事業で、ほとんどの産婦と関わる事が可能となった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	出産・子育て応援事業を推進していき、より多くの方と面談・訪問での相談支援を行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	家族の孤立化を防止するため、地域コミュニティカを活用します					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	子ども見守り家庭訪問事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	民生・児童委員、主任児童委員等による家庭訪問における面談率					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	56.4%	55.6%	3.4%	35.2%	79.0%	
実績値における 前年度との 増減理由	不在家庭の連絡先の情報を母子保健課と共有し、約束のうで再訪問を行ったため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 民生・児童委員、主任児童委員が市内の生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問することで孤立化を防止しました。また支援を必要とする家庭を、各種の養育支援につなぎました。					
	(取組の効果と課題) 面談率向上のために配置した会計年度任用職員の成果もあり、令和元年度を上回る実績値となりました。家庭の孤立化を防ぐことで児童虐待の防止に寄りました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、面談率向上に向けた取り組みを進めるとともに、母子保健課との連携や事業のあり方を改めて検討する必要があります。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	児童虐待防止のための市民への啓発・情報提供を推進します					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市民向け講演会の参加者数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	50名	17名	12名	13名	16名	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやチラシを保育園や幼稚園等に配付したほか、市民向けの講演会の開催を行うとともに、保健センターでの乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行いました。					
	(取組の効果と課題) 吹田市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、児童虐待防止に向けた広報や啓発活動を行っていく必要があります。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	保育所での要保護児童の受入体制を整備します					
担当室課	保育幼稚園室					
事業名 (※複数記入可)	公立保育所等事業 公立幼稚園等事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 教職員に対して、日々の保育の振り返りや会議等を通して子供に対する暴力防止についての意識を高めるとともに、虐待の未然防止や早期発見に努めた。					
	(取組の効果と課題) 教職員に対して、日々の保育の振り返りや会議等を通して子供に対する暴力防止について啓発するとともに、虐待の未然防止や早期発見に取り組む姿勢ができてきた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	教職員間で情報を共有し、会議や研修等に参加してさらに意識や理解を高め、虐待の未然防止や早期発見に取り組んでいく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	子どもの権利条約の啓発に努めます					
担当室課	人権政策室(人権・平和担当)					
事業名 (※複数記入可)	人権啓発事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	「子供の権利」をテーマとした講演会等の開催数・参加者数			1講座あたりの参加者数		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	「子供の権利」 をテーマとした 講演会等の 開催数 / 参加者数 1講座 / 87人	「子供の権利」 をテーマとした 講演会等の 開催数 / 参加者数 2講座 / 317人	—	—	「子供の権利」 をテーマとした 講演会等の 開催数 / 参加者数 1講座 / 27人	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は、連続講座で行う市民ひゅーまんセミナーの1回で、「子供の権利」をテーマとして取り上げたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市民ひゅーまんセミナー、憲法と市民のつどい、人権フェスティバル等の講演会を実施。					
	(取組の効果と課題) 児童虐待についての講演であったことから、講演会参加者に虐待等の防止が期待できると考えられる一方、子育て世代の参加者を増やすために、工夫が必要であると認識している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、共催団体と協議しながら、「子供の権利」をテーマに取り上げる。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	子どもの権利条約の啓発に努めます					
担当室課	家庭児童相談室					
事業名 (※複数記入可)	児童虐待防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	リーフレットの配布部数					
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	17,000部	23,000部	23,000部	23,000部	22,000部	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 母子保健課の乳幼児健診時をはじめ、児童虐待防止推進月間にも保育園や幼稚園等にリーフレットを配布し、子どもの権利条約の啓発に努めました。					
	(取組の効果と課題) 吹田市民の子どもの権利条約の啓発に努めました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	全ての子供が幸せに暮らしていけるよう、引き続き子どもの権利条約の啓発に取り組みます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	7	児童虐待防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の主な内容	子どもの権利条約の啓発に努めます					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	人権教育推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	児童の権利に関する条約パンフレットの配布			新一年生への配布100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	各校・園・PTA・委員会・施設等に合計5956部を配布し、活用を呼び掛けている。	各校・園・PTA・委員会・施設等に合計5776部を配布し、活用を呼び掛けている。	各校・園・PTA・委員会・施設等に合計5987部を配布し、活用を呼び掛けている。	各校・園・PTA・委員会・施設等に合計5987部を配布し、活用を呼び掛けている。	各校・園・PTA・委員会・施設等に合計5909部を配布し、活用を呼び掛けている。	
実績値における 前年度との 増減理由	配布する室課及び施設の数の増減のため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各校・園に児童の権利に関する条約パンフレットを配付するとともに、施設、PTAにも配布を行った。あわせて、新入生保護者にも配付し、虐待防止やいじめ問題の解決に向けた内容や、相談窓口等についての周知・啓発を行った。					
	(取組の効果と課題) 小学校入学時に保護者へ配布するにあたり、虐待やいじめ問題といった人権課題の解決に向けた内容を周知する機会となり、新入生全家庭への啓発となっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、児童の権利に関する条約について紹介し、市民の人権意識の向上と啓発を目指していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	8	性暴力防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ホームページ、SNS及びデジタルサイネージに性暴力被害の事例や相談窓口を掲載し、周知を図った。また、各室課に対して、リーフレットによる性犯罪・性暴力被害に関する啓発及び相談窓口の周知について協力を依頼した。					
	（取組の効果と課題） 継続した啓発が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も様々な媒体を通じて性犯罪・性暴力被害予防の啓発、相談窓口の周知に努める。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	8	性暴力防止対策の推進				
具体的取組						
具体的取組の 主な内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ホームページでの相談機関の紹介を行う			常時行うこと		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	常時行っている	常時行っている	常時行っている	常時行っている	常時行っている	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ホームページで吹田市や国・大阪府の相談機関の紹介を行った。					
	（取組の効果と課題） ホームページを見て相談につながるケースがあるので、被害者救済に効果的である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	情報収集に努め、今後も継続して行っていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	事業所における防止対策ガイドラインの策定と啓発への支援を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	(取組の効果と課題) オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	事業所における防止対策ガイドラインの策定と啓発への支援を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成 セミナーの開催			2,000部 1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 0部 みんなで学ぶワークルールセ ミナーにおいて、「職場のハ ラスメント」セミナーを開催。 参加者25名	通年実施 0部	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるハラスメント」開催。参 加者15名	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（島本町）「パワーハ ラスメント」開催。参加者 14名	吹田市ホームページに掲載 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるパワーハラスメント」開 催。参加者8名	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。 募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページでハラスメントに対する相談や窓口について掲載。 みんなで学ぶワークルールセミナーにて共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止に係る情報について事業所における雇用主及び労働者に対し多様な媒体によって情報提供・啓発をすることは重要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	事業所への出前セミナー等による啓発を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ハラスメント対策に関する事業者向け研修をオンラインで実施した。					
	(取組の効果と課題) グループワークを取り入れながらハラスメント対策について考えてもらうことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	事業所への出前セミナー等による啓発を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成 セミナーの開催			2,000部 1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 0部 みんなで学ぶワークルールセ ミナーにおいて、「職場のハ ラスメント」セミナーを開催。 参加者25名	通年実施 0部	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるハラスメント」開催。参 加者15名	通年実施 2,000部 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（島本町）「パワーハ ラスメント」開催。参加者 14名	吹田市ホームページに掲載 みんなで学ぶワークルールセ ミナー（茨木市）「職場にお けるパワーハラスメント」開 催。参加者8名	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。 募集人数規模の異なるセミナーを実施したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにおいて、共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) 出前セミナーは実施していないが、事業所における雇用主及び労働者に対し、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止に係る情報について多様な媒体によって情報提供・啓発をすることは必要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	事業所の相談体制の整備・拡充をめざし、相談担当者への啓発につながる情報提供を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	(取組の効果と課題) オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	事業所の相談体制の整備・拡充をめざし、相談担当者への啓発につながる情報提供を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発冊子の作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 0部	通年実施 0部	通年実施 4,000部	通年実施 2,000部	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由	市ホームページに掲載し、周知したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページでパワーハラスメント防止措置が事業主の義務となることについて及び労働相談窓口について掲載。					
	(取組の効果と課題) セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止に係る情報について事業所における雇用主及び労働者に対し、多様な媒体によって情報提供・啓発をすることは重要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	相談担当者による二次被害防止のため、スキルアップ研修などを実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	0回	0回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 事業者から研修会開催の希望がなく、実施に至らなかった。					
	(取組の効果と課題) オンラインの活用など事業者が開催しやすい形での研修を提案する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					C
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、事業者に研修会実施を呼びかけていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	相談担当者による二次被害防止のため、スキルアップ研修などを実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) みんなで学ぶワークルールセミナーにおいて、共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」をテーマにセミナーを開催。					
	(取組の効果と課題) セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止に係る情報について、知識を深めるスキルアップ研修などを実施することは必要であるため、今後も啓発セミナー等を通じ情報提供に取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	ハラスメント防止の対策に取り組んでいる事業者を公表します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市民全般に向けたみんなで学ぶワークルールセミナーにおいて、共催である茨木市で「職場におけるパワーハラスメント」をテーマにセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） 事業者の公表は行っていないが、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止に係る情報について広く周知することで、ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進が図れている					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	市職員への周知徹底と研修の充実、苦情処理制度の充実を図ります					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	1回	2回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度行った対面形式の研修を実施せず、動画配信による研修のみ実施したため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 反復学習やいつでも受講ができる、動画配信による研修の実施により、より多くの職員が効果的に研修を受講できる環境を整えました。					
	（取組の効果と課題） 引き続き、効果的な研修を実施することで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組	(1)	事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	市職員への周知徹底と研修の充実、苦情処理制度の充実を図ります					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ハラスメントに関する申出件数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0件	0件	0件	0件	0件	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 苦情処理委員制度について市報やホームページで周知している。					
	（取組の効果と課題） 効果的な周知方法を検討する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	申し出があった場合は、速やかに対応する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	教師向けにガイドラインを作成し、研修を行い啓発を推進します					
担当室課	教職員課					
事業名 （※複数記入可）	服務管理業務					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ・府の指針に基づき、令和4年5月に市各種ハラスメントの防止及び対応に関する指針を改訂し、同指針を活用し、ハラスメントに対する意識向上と、相談体制の充実に取り組んだ。 ・各種ハラスメントに関する管理職研修の実施や不祥事防止に関する資料を基にした綱紀保持に関する積極的な注意喚起に取り組んだ。					
	（取組の効果と課題） 各校では校内相談窓口を設置し、指針をもとに、ハラスメントに対する意識の向上、相談体制の充実に取り組んでいる。また、当課から発出した資料を活用し、校内研修を実施するなど、未然防止と組織的な対応を行っている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	引き続き、市各種ハラスメントの指針に基づき、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止体制の整備と啓発の推進に努めていく。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	教師向けにガイドラインを作成し、研修を行い啓発を推進します					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	教職員研修事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	研修内容に対する肯定的評価率			(とても良い、良い) 100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	6講座実施 平均95%	5講座実施 平均99.5%	3講座実施 平均98.7%	6講座実施 平均97.1%	6講座実施 平均98.8%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 学校におけるハラスメント防止のための体制づくりに資する研修を実施。					
	(取組の効果と課題) 引き続きハラスメント被害のない、安心して過ごすことのできる学校環境づくりに取り組んでいく。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の 主な内容	小・中学生が相談できる窓口(学校内・学校外)を充実します					
担当室課	教育センター					
事業名 (※複数記入可)	来所・電話相談事業 出張教育相談事業 スクールカウンセラー配置事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	市内保育所・幼稚園市内小・中学校への教育相談チラシの配布率			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配布					
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。					
具体的取組に 対する事業の評価		A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組	(1)	事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	市民が相談できる窓口をわかりやすく周知します					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名（※複数記入可）	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	ハラスメントに関する申出件数			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1件	0件	0件	0件	0件	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 苦情処理委員制度について市報やホームページで周知している。					
	（取組の効果と課題） 効果的な周知方法を検討する必要がある。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	申し出があった場合は、速やかに対応する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	こころの健康（メンタルヘルス）のための取組を推進します					
担当室課	人事室					
事業名（※複数記入可）	メンタルヘルス研修（セルフケア・ラインケア）					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	セルフケア研修 ラインケア研修			セルフケア研修（2回/年） ラインケア研修（3回/年）		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2回 2回	2回 3回	3回 4回	2回 5回	2回 3回	
実績値における前年度との増減理由	前年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回に分けて実施していた2つの研修を、1回の開催としたため。					
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） メンタルヘルスのための取組として対象者別の研修を実施していますが、新任課長級・新任課長代理級・新任主査級についてはラインケアとして一部パワーハラ防止についての内容を取り入れています。					
	（取組の効果と課題） メンタルヘルス研修のうち、ラインケアでは、こういった言動がパワーハラスメントになりうるかに触れているため、パワーハラスメントについて認識する機会になっていると思われます。しかしながら、こころの健康（メンタルヘルス）のための取組の中心はセルフケア及びラインケアに重点を置いた研修のため、セクシャル/パワーハラスメントに特化した研修が行えていない。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	現在実施しているセルフケア研修やラインケア研修はメンタルヘルス対策として必要ですが、ハラスメント防止対策の推進の取組としてはその内容に特化した研修の実施を進めていきます。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	こころの健康（メンタルヘルス）のための取組を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名（※複数記入可）	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	対象講座開催回数			2回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	2回	1回	1回	2回	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 仕事・人間関係・職場ストレスの解消方法をテーマにした市民向け講座とハラスメント対策についての事業者向け研修を実施した。					
	（取組の効果と課題） 普段センターの利用が少ない就労中の人に啓発することができた。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					A
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	オンラインの活用など就労中の人が開けやすい形での啓発を検討する。					

基本方向	Ⅳ	あらゆる暴力の根絶のために				
基本課題	9	ハラスメント防止対策の推進				
具体的取組		事業所・学校・地域活動におけるセクシュアル/パワー・ハラスメント等の防止体制の整備と啓発の推進				
具体的取組の主な内容	こころの健康（メンタルヘルス）のための取組を推進します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名（※複数記入可）	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の指標の番号
	啓発冊子の作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	通年実施 1,650部	通年実施 0部	通年実施 0部	通年実施 0部	通年実施 0部	
実績値における前年度との増減理由						
令和4年度取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 市ホームページでハラスメントに対する相談や窓口について掲載。					
	（取組の効果と課題） メンタルヘルスのための取り組みを推進することは重要であり、今後も啓発を継続していく。					
具体的取組に対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					B
今後の方向性（評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入）	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向V

男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(1)	女性の政治の場への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	女性の政治や地方自治への関心を高める啓発に取り組みます					
担当室課	人権政策室（男女共同参画担当）					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ジェンダー・ギャップ指数や女性活躍推進に関する情報をホームページに掲載し、情報提供を行った。					
	（取組の効果と課題） 効果的な啓発の手法を検討する必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	国や大阪府の動向を注視しながら情報収集を行い、女性の政治への関心を高めるための啓発に努める。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(2)	市における女性の政策立案過程への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	庁内の検討会議等への女性の参画を促進します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 （※複数記入可）	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	特定事業主行動計画策定・推進委員会への出席			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-②
	-	1回	3回	2回	0回	
実績値における 前年度との 増減理由	会議の開催がなかったため					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 性別に関わらずそれぞれの個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現に向け、市が率先して取り組むよう庁内へ通知した。					
	（取組の効果と課題） 継続した意識啓発が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 （評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入）	今後も関係部署と連携して女性職員の活躍の推進に取り組む。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(2)	市における女性の政策立案過程への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	女性市職員の職域の拡大に取り組みます					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	-					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	-			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	-	-	-	-	-	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) キャリアプラン申告制度等を活用しながら、適性・経験を生かせる職場や多様な知識・経験を身につけることができる職場への配置を行っています。					
	(取組の効果と課題) 女性市職員のキャリア形成が図れるよう、ワーク・ライフ・バランスに留意しながら、職域の拡大に取り組んでいます。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	研修など職員のキャリア形成の支援を行い、職員が自己のキャリアプランを持つことで、意欲を持って主体的に業務に取り組み、能力を最大限に発揮することができるようにするとともに、引き続きワーク・ライフ・バランスの実現を推進していきます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(2)	市における女性の政策立案過程への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	女性市職員の管理職への登用を促進します					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	-					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	管理的地位における女性職員の割合			30%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-①
	25.1%	24.7%	25.0%	26.3%	25.5%	
実績値における 前年度との 増減理由	退職等により、課長代理級以上の職員に占める女性の職員数が減ったため。（令和3年度182人、令和4年度178人）					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 適性・経験を生かせる職場や多様な知識・経験を身につけることができる職場への配置を進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めています。					
	(取組の効果と課題) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めながら、女性市職員のキャリア形成を図り、管理職への登用を促進する必要があります。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	管理職として必要なマネジメント力を強化する研修を実施し、各職階に応じた業務内容の理解を深めます。また、意欲を持って主体的に業務に取り組み、能力を最大限に発揮することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を始めたとした環境整備に努めます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(2)	市における女性の政策立案過程への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	女性市職員のエンパワーメントのための講座等を開催します					
担当室課	人事室					
事業名 (※複数記入可)	主催研修事業（令和2年度から職員研修事業）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	開催回数			1回/年度		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回	1回	0回	1回	1回	
実績値における 前年度との 増減理由	<p>(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)</p> <p>反復学習やいつでも受講ができる、動画配信による研修の実施により、より多くの職員が効果的に研修を受講できる環境を整えました。</p> <p>(取組の効果と課題)</p> <p>引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図ります。</p>					
具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修内容を検討します。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(2)	市における女性の政策立案過程への参画拡大				
具体的取組の 主な内容	女性教職員の管理職登用を促進します					
担当室課	教職員課					
事業名 (※複数記入可)	人事管理業務					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	女性管理職の登用率			35%以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	校長 35.2% 教頭 29.6%	校長 31.5% 教頭 27.8%	校長 37.0% 教頭 29.6%	校長 38.9% 教頭 33.3% 管理職全体 36.1%	校長 42.6% 教頭 29.6% 管理職全体 36.1%	
実績値における 前年度との 増減理由	令和3年度末、再任用を含む18名の退職管理職のうち、5名が女性管理職であったが、3名が再任用校長として任用された。また2名の新任管理職を配置したことにより、令和4年度は女性管理職の登用率が令和3年度と同数となり、目標値の35%を上回った。令和5年度においても、20名の退職管理職のうち、8名が女性管理職であったが、4名が再任用校長として任用され、4名の新任管理職を配置したことにより、前年度と同数となり、これまでの目標値の35%を上回っている。					
令和4年度 取組状況	<p>(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)</p> <p>教職員の年齢構成上、管理職の担い手が全体的に減少しているが、各校において母性保護や育児に関する諸制度の周知を図り、女性が働きやすい職場環境の整備に努めたほか、女性管理職候補の積極的な育成を、人事ヒアリングなどを通して各校に啓発した。</p> <p>(取組の効果と課題)</p> <p>女性が働きやすい職場環境が整備されてきているほか、首席・指導教諭への女性登用が増加する傾向にあり、計画的な女性管理職候補に育成が進んでいる。引き続き、女性管理職候補の擁立に向け、職場環境の整備や意識の向上に取り組んでいく。</p>					
	具体的取組に 対する事業の評価	<p>A：貢献している（目標値を満たしている等）</p> <p>B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等）</p> <p>C：見直しが必要（目標値の50%未満等）</p>				A
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	女性教職員の管理職登用率が目標値に達するように、引き続き、女性が働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、長期的な視野で計画的に管理職候補を育成し、校長、教頭だけでなく教育委員会事務局へ割愛する指導主事も含めて、積極的な受験を促していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(3)	市審議会等への男女平等な参画				
具体的取組の 主な内容	市の行政委員会委員への女性の参画を推進します					
担当室課	農業委員会事務局					
事業名 (※複数記入可)	農業委員会運営事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	21人中3人 14.3%	20人中2人 10.0%	22人中2人 9.1%	22人中2人 9.1%	20人中1人 5.0%	
実績値における 前年度との 増減理由	委員の辞職により、女性委員が2人から1人に減少した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 農業委員の改選に係る募集に際し、女性や若者の積極的な応募・推薦をしていただくよう市ホームページや各地区の説明会等にて働きかけを行った。					
	(取組の効果と課題) 委員の募集は3年ごとに行っており、令和5年度からの任期に係る募集を令和4年度に行った。その結果、女性の応募・推薦は4人で、前回と比較して2人増加した。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	改正農業委員会法には、年齢、性別など著しい偏りが生じないように配慮する旨、定められており、具体的取り組みを推進できるよう検討が必要。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(3)	市審議会等への男女平等な参画				
具体的取組の 主な内容	市の行政委員会委員への女性の参画を推進します					
担当室課	税制課（固定資産評価審査委員会事務局）					
事業名 (※複数記入可)	固定資産評価審査委員会運営事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	女性の委員会の場での活躍の推進			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	全委員数3人中 女性委員数0人	全委員数3人中 女性委員数0人	全委員数3人中 女性委員数0人	全委員数3人中 女性委員数1人	全委員数3人中 女性委員数1人	
実績値における 前年度との 増減理由	増減なし					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 委員の選任がなかったため、特になし。					
	(取組の効果と課題) 特になし					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	本委員会は委員の人数が3人と少人数であるため、目標値を満たすことは難しいが、委員の選任の際には引き続き、特に留意すべき点として、女性の参画について伝えます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(3)	市審議会等への男女平等な参画				
具体的取組の主な内容	審議会等委員への女性の参画を推進します					
担当室課	企画財政室					
事業名 (※複数記入可)	行財政改革推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性のいない審議会等の割合			① 40%～60% ② 0%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-②
	① 36.5% ② 8.2%	① 35.1% ② 6.7%	① 34.9% ② 12.1%	① 29.9% ② 9.8%	① 30.1 ② 7.9%	
実績値における 前年度との 増減理由	①女性委員が増加したため ②女性のいる審議会等が増加したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 令和4年度当初に人権政策室と合同で、女性委員の積極的な選任に努めるよう各室課に通知を行った。 また、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努めるよう依頼を行うとともに、特に女性の参画割合が低い審議会等については、女性委員の参画率向上のための今後の方策を検討した。					
	(取組の効果と課題) 特定の専門的な分野における審議会等では、委員に専門的な見地による助言、提言等を求めた結果が男性のみの委員構成に至ったものがある。分野によっては、候補となる人材に占める女性の割合が低いこともあったと考えられ、女性のいない審議会等が存在している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努め、男女双方の意見を反映できる審議会等となるよう依頼を行う。また、照会時には、女性委員がいない場合のみ記入いただいた理由及び今後の方策について、女性の参画割合が低い審議会等についても回答いただくことで、より多くの室課からの意見を集約し今後の検討の参考とする。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(3)	市審議会等への男女平等な参画				
具体的取組の主な内容	審議会等委員への女性の参画を推進します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	審議会等委員における女性の割合			40%～60%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-②
	36.5%	35.1%	34.9%	29.9%	30.1%	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 審議会等委員における女性の割合について調査を実施し、その結果を公表した。 女性委員の割合が少ない審議会を所管する担当室課に対して、個別に女性委員の積極的な選任について働きかけを行った。					
	(取組の効果と課題) 個別のヒアリングにおいて、次期委員委嘱時に女性委員を積極的に選任するよう意識付けを行うことができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も調査結果を公表し、女性委員の割合の増加を意識付けしていく。また、女性委員の割合が少ない審議会を所管する担当室課に対して、女性の参画の推進について働きかけを行う。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(4)	市内事業所における女性の人材育成と管理職への登用の促進				
具体的取組の主な内容	女性管理職増加のための研修会の開催など、市内事業所が女性の管理職登用や継続就労に取り組めるよう支援します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業（啓発）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	セミナーの開催			1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	なし	「育児・介護両立セミナー」開催 参加者9名	北摂4市働き方セミナー（箕面市） 「私らしい働き方とキャリア形成」 参加者16名	みんなで学ぶワーカー ルールセミナー（高槻市） 「働き方改革」 参加者14名	みんなで学ぶワーカー ルールセミナー 吹田市：「働き方改革とダイバーシティ」 高槻市：「女性の活躍推進」 合計参加者12名	
実績値における 前年度との 増減理由	社会情勢等に応じてさまざまなテーマに関するセミナーを開催しているため。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） みんなで学ぶワーカールールセミナーにおいて、吹田市では「働き方改革とダイバーシティ」、共催である高槻市で「女性の活躍推進」としてセミナーを開催。					
	（取組の効果と課題） 市内事業所が女性の管理職登用や継続就労に取り組めるよう、セミナーを開催することは意義があることから、今後も引き続き開催していく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(4)	市内事業所における女性の人材育成と管理職への登用の促進				
具体的取組の主な内容	資金繰り・経営診断等の相談や情報の提供など、女性企業への支援を行います					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	商業相談、情報発信事業、中小企業資金融資事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	商業相談者数			80人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	相談者数 60人/75.0%	相談者数 71人/88.8%	相談者数 55人/68.8%	相談者数 32人/40.0%	相談者数 45人/56.3%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として相談者数が低調傾向にあるが、継続して事業の周知を行っているため、件数が増加したと考えられる。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 融資制度や催物等についての情報提供とともに、商業相談員による庁内・庁外相談を行った。					
	（取組の効果と課題） 商業相談員から経営等に関するアドバイスをを行い、本市産業振興施策等の情報を提供することで、事業者の経営改善等を促している状況である。 しかし、相談者数については、コロナ禍前と比べ、回復しきれていない実態があり、商業相談をより多くの事業者にも活用してもらうため、広報等を含めた周知方法の検討が必要である。また、融資制度の活用等による市内商工業の活性化を促進する取組みを進める。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	吹田商工会議所との情報交換を密に行うことに加え、市広報媒体を活用することで、産業振興施策等の情報発信に努める。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(4)	市内事業所における女性の人材育成と管理職への登用の促進				
具体的取組の 主な内容	一般事業主行動計画の周知を図ります					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に関する情報をホームページに掲載し、一般事業主行動計画の策定について周知を図った。また、第5次すいた男女共同参画プランに一般事業主行動計画の策定義務について記載した。					
	(取組の効果と課題) より多くの事業所に周知できるよう、効果的な情報発信が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も様々な機会を捉えて情報を発信していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	1	政策や方針決定の場への女性の参画拡大				
具体的取組	(4)	市内事業所における女性の人材育成と管理職への登用の促進				
具体的取組の 主な内容	一般事業主行動計画の周知を図ります					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	労働行政事務事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	啓発チラシの作成			2,000部		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	なし	なし	通年実施 チラシ4,000部 冊子200部	吹田市ホームページに て掲載	吹田市ホームページで 掲載	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市ホームページで一般事業主行動計画について掲載。					
	(取組の効果と課題) 一般事業主行動計画について、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を続けていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	啓発方法を見直し、市ホームページやデジタルサイネージなど、より効果的な方法で啓発を実施していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	2	男女共同参画に向けての市民参画の促進				
具体的取組	(1)	男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催				
具体的取組の 主な内容	社会教育施設などで男女共同参画に関するリーダー養成講座を開催します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上 / 130人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1講座 / 168人	1講座 / 83人	1講座 / 36人	1講座 / 53人	1講座 / 66人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画の視点を持ち、市内で様々な活動をする人材を養成する連続講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけでなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、実際にリーダーシップを發揮できる場を提供できている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	講座の周知においては、男女共同参画に関するテーマについて、自分ごととして考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	2	男女共同参画に向けての市民参画の促進				
具体的取組	(1)	男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催				
具体的取組の 主な内容	市民による男女共同参画のためのフォーラム等の開催への支援を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域フォーラムの開催回数/ 市民グループ等自主企画講座の開催回数			1回以上 / 3回以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1回 / 3回	1回 / 3回	0回 / 2回	0回 / 4回	0回 / 1回	
実績値における 前年度との 増減理由	市民グループ等からの自主企画の応募数が減少したため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市民グループ等自主企画講座を募集し、1団体を支援した。					
	(取組の効果と課題) センター主催講座とは異なる特色を持った講座を開催することができた。また、通常とは異なる受講者層に啓発することができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	より多くの市民グループに自主企画支援事業を活用してもらえるように広報していく。また支援内容の見直しも行う。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	2	男女共同参画に向けての市民参画の促進				
具体的取組	(2)	男女共同参画を推進する市民団体・NGO・NPOへの支援と交流の促進				
具体的取組の主な内容	市民団体等の交流、ネットワークづくりを支援します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	グループの会登録団体数			13 団体以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	13 団体	13 団体	12 団体	10 団体	10 団体	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) センター利用団体で構成される「グループの会」と共同で映画上映会を開催した。					
	(取組の効果と課題) 利用団体に対し、グループの会の登録団体が少ない。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	グループの会の登録促進やグループ間の交流における支援内容について検討する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	2	男女共同参画に向けての市民参画の促進				
具体的取組	(2)	男女共同参画を推進する市民団体・NGO・NPOへの支援と交流の促進				
具体的取組の 主な内容	市民団体等への情報提供と活動への支援を行います					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター管理事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	登録団体の数			40 団体以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	43 団体	41 団体	40 団体	28 団体	27 団体	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルスの流行に伴い、活動を縮小した団体があったため。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 登録団体の活動を支援するため、センター内の印刷機の使用許可やロッカー・トレーの無料貸与等を行った。					
	(取組の効果と課題) 登録団体に対しての活動支援は一定行えたが、新たな団体の登録の促進や、既存団体に対して印刷機の使用許可やロッカー・トレーの貸与以外に行えることがないかが課題である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	新たな団体の登録促進方法について検討していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(1)	男女が共に担う市民活動やボランティア活動などの推進				
具体的取組の 主な内容	市民活動への男女共同参画推進のための啓発を推進します					
担当室課	市民自治推進室					
事業名 (※複数記入可)	市民公益活動事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) これまで市民活動への男女共同参画推進のための啓発の講座等も開催してきましたが、令和4年度は、男女共同参画推進に資するような講座は開催されませんでした。					
	(取組の効果と課題) これまで男女共同参画推進に資する講座等を実施した際には、参加者に一定の啓発を図ることができました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、男女共同参画推進のための啓発の講座等も実施していきます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(1)	男女が共に担う市民活動やボランティア活動などの推進				
具体的取組の 主な内容	市民のネットワークと行政の連携・協働を促進します					
担当室課	市民自治推進室					
事業名 (※複数記入可)	市民公益活動事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業として、随時、市民協働のニーズを受け付けて、分野やセクターを超えた連携・マッチングの支援ができる状況を整えています。					
	(取組の効果と課題) 市民の市民公益活動への理解や活動の活性化、また、行政にも、どのような市民公益活動が行われているのかについての情報提供ができました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も、市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進できるよう、広報活動及び交流・連携を促進していけるよう体制を確保していきます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(1)	男女が共に担う市民活動やボランティア活動などの推進				
具体的取組の 主な内容	ジェンダーにとらわれない視点をもったボランティア人材を養成します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域保育スタッフ養成講座、参画スタッフ養成セミナー受講者数			350人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	413人	286人	139人	160人	201人	
実績値における 前年度との 増減理由	市報やホームページだけでなく、SNSを使って受講者募集を行ったところ、受講申込み者が増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。また、子育て中の人々の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	毎年、開催時期を冬に設定しているが、受講者数を増やすために回数や時期、手法を見直す。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(1)	男女が共に担う市民活動やボランティア活動などの推進				
具体的取組の 主な内容	ジェンダーにとらわれない視点をもったボランティア人材を養成します					
担当室課	市民自治推進室					
事業名 (※複数記入可)	市民公益活動事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 性別に関わらず、働きざかりの方や家事・勉強に忙しい方などに、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぶち)ボランティア活動」のプログラムである「ぶちボラ」を提供しています。					
	(取組の効果と課題) ボランティアやNPO、地域の活動について知り、自分に合った市民公益活動を見つけ参加することに繋がりました。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	市民のボランティア活動のきっかけとなるように広報活動やマッチングに努めていきます。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(2)	地域における各種団体の役員への男女平等な参画				
具体的取組の 主な内容	各種団体における女性の役員への積極的登用を促進します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 自治会における女性の参画状況を調査し結果を公表した。					
	(取組の効果と課題) 継続した意識啓発が必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	各種団体における女性の参画状況を調査し結果を公表するとともに、女性の参画拡大に向けて意識啓発を行う。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画を拡大します					
担当室課	危機管理室					
事業名 (※複数記入可)	防災対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男女共同参画の視点を入れる取組の有無			男女共同参画の視点を反映するため、数値目標 の設定は困難		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-③
	男女共同参画の視点を 防災施策に反映するた め、専門委員2名(女 性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を 防災施策に反映するた め、女性委員の委嘱。	男女共同参画の視点を 防災施策に反映するた め、専門委員4名(女 性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を 防災施策に反映するた め、専門委員3名(女 性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を 防災施策に反映するた め、専門委員3名(女 性)を委嘱した。	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員(女性3名)の意見を聴取。					
	(取組の効果と課題) 女性の視点を踏まえ、地域防災計画を修正。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している(目標値を満たしている等) B：改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C：見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、地域防災計画に女性の視点を加えた修正を行う。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	地域防災計画及びマニュアルなどに女性の視点を反映します					
担当室課	危機管理室					
事業名 (※複数記入可)	防災対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域防災計画及び避難所運営マニュアル作成指針等の改訂プロセスの中で男女共同参画の視点を導入する取組の有無			計画やマニュアルに男女共同参画の視点を反映するため数値目標の設定は困難		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-③
	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員2名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、女性委員の委嘱。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員4名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員3名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員3名(女性)を委嘱した。	
実績値における 前年度との 増減理由	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、専門委員(女性3名)の意見を聴取。					
令和4年度 取組状況	(取組の効果と課題) 女性の視点を踏まえ、地域防災計画を修正。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、地域防災計画に女性の視点を加えた修正を行う。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	地域防災計画及びマニュアルなどに女性の視点を反映します					
担当室課	人権政策室(男女共同参画担当)					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
実績値における 前年度との 増減理由	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 防災対策推進会議準備会に参加し、女性の視点からの避難所対応について検討を行った。					
令和4年度 取組状況	(取組の効果と課題) 地域防災計画や避難所運営マニュアル等に男女共同参画の視点が反映されるよう、継続的に取り組む必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A: 貢献している(目標値を満たしている等) B: 改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C: 見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	関係部署と連携を図り、防災・防犯分野における女性の参画拡大に取り組む。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	地域防災計画及びマニュアルなどに女性の視点を反映します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)						
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	避難所対応検討部会への参加			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	-	4回	-	-	-	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ※令和2年3月に計画完成。					
	(取組の効果と課題)					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	避難所運営や災害ボランティア活動などにおいて男女共同参画の視点からの配慮に取り組みます					
担当室課	危機管理室					
事業名 (※複数記入可)	防災対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	男女共同参画の視点を入れる取組の有無			マニュアルに男女共同参画の視点を反映するため数値目標の設定は困難		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	V-③
	翌年度に全戸配布する 防災ブック作成にあたり、 男女共同参画の視点からの 配慮に取り組んだ。	避難所運営マニュアル 作成指針の改定にあたり 男女共同参画の視点 等を取り入れた。	避難所運営マニュアル 作成指針を改訂し、 避難所となる施設管理者 に対し周知した。	地域防災リーダー育成講 習において、男女共同参 画センター主催の参画ス タッフ養成セミナーと連 携することで男女共同参 画の視点を取り入れた。	地域防災リーダー育成講 習において、男女共同参 画センター主催の参画ス タッフ養成セミナーと連 携することで男女共同参 画の視点を取り入れた。	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画の視点を地域防災リーダーの育成講習に反映するため、男女共同参画センターが主催する参画スタッフ養成セミナーの参加者に参画いただいた。					
	(取組の効果と課題) 当該講習において、HUG（避難所運営ゲーム）の実施やコロナ禍における避難所運営開設の注意点の共有などを行うことで、避難所運営における男女共同参画の必要性を地域と共有している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き男女共同参画センターとの連携を行っていくとともに、講習の案内や周知を工夫し、女性の講習参加者の増加を図る。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	避難所運営や災害ボランティア活動などにおいて男女共同参画の視点からの配慮に取り組みます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座延受講者数			50人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	-	-	29人	28人	31人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 防災になぜ男女共同参画の視点が必要なのかをテーマにした防災講座を開催した。 センターで活動する市民スタッフを養成する講座の中に、防災と男女共同参画をテーマにした回を設けた。					
	(取組の効果と課題) ワークを通して避難所運営を体験してもらった。 より多くの人に受講してもらえるように、講座内容や周知の方法について検討する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	より多くの人に受講してもらえるように、講座内容や周知の方法について検討する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	3	地域における男女共同参画の推進				
具体的取組	(3)	防災・防犯分野における女性の参画の拡大				
具体的取組の 主な内容	女性消防職員の採用・登用を促進するとともに、職業能力の向上を支援します。					
担当室課	消防本部					
事業名 (※複数記入可)	消防職員採用試験					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	女性消防職員の採用			3名		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	0名	0名	0名	0名	1名	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度採用試験で1名の女性合格者がいたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 各学校で開催された合同就職説明会や総務省消防庁主催の合同Webセミナーへの参加。					
	(取組の効果と課題) 令和4年度の女性受験者は1名であったが、今後はさらに女性受験者数を増やす取組みが必要である。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も継続して合同就職説明会に参加していくとともに、こちらから大学等に説明会を打診して、積極的に消防の仕事の魅力についてPRを行い、女性消防職員の採用を目指す。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	4	男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進				
具体的取組	(1)	男女共同参画に関連する国際規範・基準についての情報提供				
具体的取組の 主な内容	女性差別を撤廃するための相互理解を推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座の開催数及び延受講者数			1 講座 / 40 人以上		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	1 講座 / 31 人	1 講座 / 50 人	1 講座 / 36 人	1 講座 / 53 人	1 講座 / 66 人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) センターで活動する市民スタッフを養成する講座の中で、ジェンダーギャップ指数などの国際比較データやSDGsなどをテーマに、男女共同参画への理解を深める回を設けた。					
	(取組の効果と課題) 国際的な視点からジェンダーについて考える内容が受講者に好評だった。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、男女共同参画について考える講座を実施していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	4	男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進				
具体的取組	(1)	男女共同参画に関連する国際規範・基準についての情報提供				
具体的取組の 主な内容	多文化共生の実現に向けた取組を推進します					
担当室課	文化スポーツ推進室					
事業名 (※複数記入可)	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしのガイドブック（英語版、中国語版、韓国朝鮮語版）作成業務 ・在住外国人のための日本語教室運営業務 					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	言語数			4か国語		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				4か国語	—	
実績値における 前年度との 増減理由	令和3年度に4か国語で作成。（令和4年度はくらしのガイドブックの作成なし。）					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 【くらしのガイドブック】 ・市民部市民課及び各出張所を通して転入した外国籍市民等に配布している。 ・吹田市多文化共生ワンストップ相談センターHPでくらしのガイドブックデータを公表。 【日本語教室】 ・日本語教師有資格者を講師とした日本語教室（入門及び初級クラス）を実施し、それぞれ817人（入門）、589人（初級）の参加があった。					
	(取組の効果と課題) ・くらしのガイドブックは、外国籍市民の生活の便を図るものとして役立っているが、3年ごとに作成にするため、組織名の変更等、最新の情報でない場合がある。 ・日本語教室の通年クラスでは、授業進捗の関係で会話練習の時間を十分に確保することが難しいため、会話練習を中心としたオンラインクラスを実施することで、より深く日本語学習の支援を行った。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	令和3年度に作成したくらしのガイドブックは、紙ベース、4か国語（やさしい日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語）で作成したが、次回以降は媒体の形式（紙又は電子データ等）や対応言語数の増加等について検討する必要がある。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	4	男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進				
具体的取組	(2)	市内在住の外国人家庭に対する子育てなどの支援				
具体的取組の 主な内容	外国人に向けて子育てなどを支援します					
担当室課	文化スポーツ推進室					
事業名 (※複数記入可)	子育て中の外国人支援事業「こあらくらぶ」					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	親子の参加組数			40 組		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	16 組	24 組	11 組	16 組	68 組	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症対策の緩和や、日本人親子の参加を可能にしたことにより、参加者数が増加した。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) ・外国籍市民等が日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場を設けた。 ・日本人親子も参加可能とし、子育てを通して地域のつながりができるよう支援した。					
	(取組の効果と課題) 外国籍市民等が地域で安心して子育てできる環境が作られている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、継続する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	4	男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進				
具体的取組	(2)	市内在住の外国人家庭に対する子育てなどの支援				
具体的取組の 主な内容	外国人に向けて子育てなどを支援します					
担当室課	のびのび子育てプラザ					
事業名 (※複数記入可)	外国人親子と日本人親子の交流、施設管理業務					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	交流会開催数			開催困難のため設定できない		
実績値	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	交流会開催数 2回	交流会開催数 0回	交流会開催数 0回	交流会開催数 0回	交流会開催数 0回	
実績値における 前年度との 増減理由	交流会は日本人のニーズはあるが、外国人の参加者が集まらないため開催が困難。					
令和 4 年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 外国人親子に向けた英語表記の来館者カードを用意した。					
	(取組の効果と課題) 交流会を開催するにあたり、平成 30 年度以降、外国人親子の参加がない。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	外国人親子の参加ニーズがなく、開催そのものの見直しが必要。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	4	男女共同参画の視点に立った多文化共生の推進				
具体的取組	(2)	市内在住の外国人家庭に対する子育てなどの支援				
具体的取組の 主な内容	外国人に向けて子育てなどを支援します					
担当室課	学校教育室					
事業名 (※複数記入可)	通訳者派遣事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	通訳者派遣回数			1050回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	486回	373回	428回	562回	541回	
実績値における 前年度との 増減理由	通訳を必要とする帰国・渡日の児童生徒が大幅に増えている。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国・渡日もない日本語指導が必要な児童生徒に対し、母語通訳者を派遣し、学校の学習活動の支援に取り組んだ。 ・保護者の通訳については、行政通訳ボランティアを活用し、参観や懇談会など、学校と保護者との連携を促すことにも取り組んでいる。 					
具体的取組に 対する事業の評価	(取組の効果と課題)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学校生活を支援することができた。 ・多様化する母国語に対し、通訳者が不足し、一人で複数の児童生徒や学校を担当する状況が生まれた。 					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後増加する帰国・渡日児童生徒への通訳者派遣に対応するため、人材や予算の確保が必要であると考える。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	貧困者への支援と相談体制を充実します					
担当室課	生活福祉室					
事業名 (※複数記入可)	生活保護事業、生活困窮者自立支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	設定なし			数値目標を設定できない		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 112人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 73人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 81人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 69人	就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 45人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	引き続きハローワークとの連携、就労阻害要因を把握し、きめ細やかな就労支援を行う。					
具体的取組に 対する事業の評価	(取組の効果と課題)					
	就労者の多くは非正規職員での就労であるため、正規職員への就職者を増やすことが課題である。					
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後増加する帰国・渡日児童生徒への通訳者派遣に対応するため、人材や予算の確保が必要であると考える。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	福祉サービスなど、高齢者・障がい者福祉施策を充実します					
担当室課	福祉総務室					
事業名 (※複数記入可)	日常生活自立支援事業補助事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	日常生活自立支援事業利用者数			利用希望者の受け入れ体制整備		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	94人	102人	88人	98人	94人	
実績値における 前年度との 増減理由	年度途中には利用者が100人となる月もあり、推移としては大きく増減はない。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 日常生活自立支援事業への助成を行うことで、認知症や障がいにより、判断能力が十分でない市民を対象に、福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類預かりなどのサービスを利用者の判断能力に応じたきめ細かい支援を行いながら実施することができた。パンフレットやポスターの作成による広報を主としていたところ、動画配信による広報を行った。					
	(取組の効果と課題) 潜在的な需要があるため、地域でのネットワークを生かし、支援が必要な市民を把握する必要がある。また、成年後見制度の利用促進に係る検討を進めている中で、日常生活自立支援事業の利用者においても、症状の進行等で成年後見制度の利用につなぐ取組を行っており、その取組をより進める必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	成年後見制度の利用促進に係る検討を進めており、広報・相談機能等を担う中核機関の設置後は、日常生活自立支援事業と成年後見制度とのスムーズな連携により、待機解消が見込まれる。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	福祉サービスなど、高齢者・障がい者福祉施策を充実します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	在宅福祉サービス事業（高齢者日常生活用具給付等）、在宅生活支援事業（介護用品支給事業）における低所得者向けの高齢者在宅福祉サービス					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	高齢者日常生活用具給付等事業新規給付等件数及び介護用品支給事業給付件数			適切な利用実績		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	高齢者日常生活用具給付等事業 新規給付等43件	高齢者日常生活用具給付等事業 新規給付等60件	高齢者日常生活用具給付等事業 新規給付等39件	高齢者日常生活用具給付等事業 新規給付等44件	高齢者日常生活用具給付等事業 新規給付等41件	
実績値における 前年度との 増減理由	介護用品支給事業 給付件数923件	介護用品支給事業 給付件数982件	介護用品支給事業 給付件数924件	介護用品支給事業 給付件数938件	介護用品支給事業 給付件数1,062件	高齢者在宅福祉サービスの事業内容について、新任民生・児童委員への事業説明や介護保険認定結果通知郵送の際にチラシを同封、市ホームページに申請書類等を掲載等することで、周知を図り、適切な利用申請につなげている。
	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 申請窓口である地域包括支援センターにマニュアルを配付しており適切な申請利用を促進した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来庁しなくても申請できるように市ホームページに申請書類や記入例を掲載した。					
令和4年度 取組状況	(取組の効果と課題) 適切な申請と迅速な事務手続きにつながっている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も周知を行い、適切な利用を進めていく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	福祉サービスなど、高齢者・障がい者福祉施策を充実します					
担当室課	障がい福祉室					
事業名 (※複数記入可)	自立支援給付事業ほか障がい福祉室所管事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ホームヘルプなど訪問系サービスの利用者数			1,860人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1,344人	1,330人	1,377人	1,463人	1,616人	
実績値における 前年度との 増減理由	コロナ禍においても、事業所を一定支援することで、事業所が安定した障がい福祉サービスを提供し継続できた結果、訪問系サービスの利用者数が前年度より増加したと考えられる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 整備が進んでいないサービスについて、供給量の増加を促進する施策を実施していくとともに、より効果的な施策の展開に向けた検討を行った。					
	(取組の効果と課題) 一部サービスの新規開設事務所に対する賃借料助成や資格取得助成制度は、一定の成果を上げているが、今後もより効果的な事業を検討していく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	目標値の訪問系サービスを含む障がい福祉サービス等の利用促進を図るためにサービス事業所の整備を進めるとともに、サービスの根幹を担う福祉人材の不足を解消するための取組を継続する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	地域福祉のネットワークづくりを推進します					
担当室課	福祉総務室					
事業名 (※複数記入可)	地域支えあいネットワーク推進事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談者に対して何らかの支援を行った割合			100%		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値における 前年度との 増減理由	前年度同様、相談内容等に応じ、必要な行政サービス等へつなぐなど適切に支援を行うことができた。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) CSW（コミュニティワーカー）に相談があった場合、住民による地域活動やボランティア活動、他機関など専門機関と連携・協働して支援を行った。また、すぐに課題を解決できない場合であっても、相談対象者の不安に寄り添い、関係を閉ざさない支援に務めた。					
	(取組の効果と課題) 複合化した課題を抱えた世帯への支援が多くなっているため、課題解決への支援だけでなく、孤立・孤独をさせないネットワークづくりを進めていく必要がある。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	CSWの市民認知度の向上を図ることで、地域における支援体制のネットワークを強化し、孤立化等を防ぐ仕組みづくりへと繋げていく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	地域福祉のネットワークづくりを推進します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	包括的支援・社会保障充実事業（地域ケア会議）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域ケア会議開催回数（目標値及び実績）			地域ケア会議ブロック別定例会、地域別定例会、実務者連携会議、包括ケア会議、研修会、随時会、自立支援型ケアマネジメント会議の実績		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	33/33回 (100%)	37/33回 (112%)	8/35回 (22%)	33/35回 (94%)	43/47回 (91%)	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は地域の状況に合わせて、オンライン会議の他、感染予防対策を徹底した参集での開催にも取り組み、ブロック別定例会を開催できたが、地域別定例会の開催は2ブロック（目標は3ブロック）にとどまった。令和4年度からは自立支援型ケアマネジメント会議を介護事業所が参加しやすいよう、市内6ブロックの会場で会議を開催し、地域課題の抽出等に努めた。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） ブロック別定例会・地域別定例会については、地域課題地域の実情に合わせ各センターが主体的に運営を行い、個別事例の支援の検討を積み重ねることで地域課題や資源の把握に努めた。コロナ禍であっても地域におけるネットワーク構築に繋がる基盤となるよう、オンラインによる開催方法等の検討を進めた。ブロック別・地域別定例会や自立支援型ケアマネジメント会議から導き出された地域課題については、地域住民や団体、地域の支援者が主体となった身近な社会資源抽出の検討や、地域づくりを促進する「すいたの年輪ネット（吹田市高齢者生活支援体制整備協議会）」と連動した取組を進め、多方面からの地域のネットワーク構築を目指した。地域ケア会議の事務局会議（年6回）では、広域型生活支援コーディネーターに出席を呼びかけ、地域課題の情報共有を行い、双方の連携の進捗状況などを意見交換しながら進めてきた。自立支援型ケアマネジメント会議を介護事業所が参加しやすいよう、市内6ブロックの会場で会議を開催し、圏域内の事例を検討することにより、地域課題の抽出から資源抽出にも向けた取組を行った。					
	（取組の効果と課題） 令和5年度から地域型生活支援コーディネーターを配置することで、より身近な地域でのネットワークづくり（地域づくり）につながる地域検討会等の開催が増えること想定している。地域検討会等の内容についてはブロック別定例会・地域別定例会で共有を図り、年4回から年3回の開催に変更し、効率的な運営にしていく。又会議体運営の効率化のため地域包括ケア会議の機能（政策形成）を実務者連携会議に包含し一歩化を図っていく。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	地域ケア会議、地域型生活支援コーディネーターが中心となって展開する小さい地域単位での話し合い、自立支援型ケアマネジメント会議における個別事例の検討から抽出した地域課題を一体的に捉え、地域ケア会議において解決に向けての提案や検討内容を共有することにより、高齢者の生活支援の充実につながる効果的な取組の促進を図り、支え合いの地域づくりを進めていく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(1)	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援				
具体的取組の 主な内容	高齢者・障がい者虐待防止啓発講座を開催します					
担当室課	高齢福祉室					
事業名 (※複数記入可)	包括的支援・社会保障充実事業（地域ケア会議）、包括的支援事業（高齢者虐待防止に関する包括的支援講座（出前講座））					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	地域ケア会議ブロック別定例会の開催回数（そのうち高齢者虐待の事例検討や研修の回数）高齢者虐待対応や防止に関する出前講座の回数			地域ケア会議において6ブロック全域で高齢者虐待防止に取り組む。		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	地域ケア会議 33回（5回） 出前講座 3回	地域ケア会議 37回（6回） 出前講座 5回	地域ケア会議 8回（1回） 出前講座 3回（うち1回はケア マネジャー向け研修）	地域ケア会議 33回（0回） 出前講座 3回（うち1回はケア マネジャー向け研修）	地域ケア会議 43回（2回） 出前講座 25回	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は地域の状況に合わせて、オンライン会議の他、感染予防対策を徹底した参集での開催にも取り組み、全ブロックで年間予定どおりに開催することができた。高齢者虐待防止の出前講座については、各地域包括支援センターが、担当圏域における民生・児童委員地区委員会での研修に取り組んだことで、実績が増加した。					
令和4年度 取組状況	（具体的取組を推進するために取り組んだ内容） 近年起こった災害で、防災や地域課題の抽出に向けての取組が多い中、虐待防止をテーマにした会議も開催される等、地域でのネットワーク構築は停滞することなく進めている。					
	（取組の効果と課題） 高齢者虐待の疑いの時点で地域包括支援センターに相談が入るネットワークとなるよう、他機関・多職種が参画する地域ケア会議で顔の見える関係づくりに取り組んだ。また、圏域のケアマネジャーを支援する目的で開催するケアマネジャー懇談会で高齢者虐待を取り上げるブロックもあり、虐待の早期発見・未然防止を目指している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	地域ケア会議等を通じ、高齢者虐待の早期発見及び未然防止を目的とした啓発を継続していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の主な内容	母子家庭・父子家庭等への支援を推進します					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	ひとり親家庭等支援事業(養育費・面会交流相談、自立支援給付金)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	①養育費・面会交流の相談件数 ②自立支援給付金の支給件数			①36件 ②相談事業のため目標設定なし		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①23件/63.9% ②22件	①27件/75.0% ②25件	①29件/80.6% ②22件	①21件/58.3% ②19件	①23件/63.9% ②21件	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、件数の大きな増加はなかったと考えられるため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 子どものための養育費のこと、離れて暮らす親との面会交流について、専門相談員による相談を実施した。また、ひとり親家庭の就業機会の拡大を図るため、ひとり親家庭自立支援給付金(高等職業訓練促進給付金・自立支援教育訓練給付金)の支給を行った。					
	(取組の効果と課題) 看護師等の資格を取得するため養成機関において修業する期間に高等職業訓練促進給付金を支給することにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ることができた。養育費・面会交流の専門相談については、毎月予約が埋まることが多く、ひとり親家庭の抱える問題の解決のための一助として活用できている。					
具体的取組に 対する事業の評価	A:貢献している(目標値を満たしている等) B:改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C:見直しが必要(目標値の50%未満等)				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	ひとり親家庭への支援施策については、自立支援給付金の支給額の見直しや支給期間の拡大等、これまで改善を図ってきたが、就業状況、収入の状況などに鑑みれば、ひとり親家庭は依然として厳しい環境に置かれており、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図るため関係部署と連携し、一貫した就業支援サービスの提供を行うことや、養育費等の専門的な相談についてより充実させる等、更なる施策の充実を検討する必要がある。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の 主な内容	日常生活全般にわたる自立支援を推進します					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	ひとり親家庭等支援事業(ひとり親家庭相談、就業相談)、母子家庭等就業・自立支援センター事業(就業・自立支援相談)					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業であるため、目標値は設定しない。一人ひとりに寄り添った相談を継続的に行っていく。			—		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①ひとり親家庭相談 962件 ②母子福祉相談 12件 ③ひとり親家庭就業相談 918件	①ひとり親家庭相談 1,172件 ②母子福祉相談 13件 ③ひとり親家庭就業相談 902件	①ひとり親家庭相談 1,210件 ②就業・自立支援相談 80件 ③ひとり親家庭就業相談 925件	①ひとり親家庭相談 1,212件 ②就業・自立支援相談 173件 ③ひとり親家庭就業相談 811件	①ひとり親家庭相談 1,154件 ②就業・自立支援相談 254件 ③ひとり親家庭就業相談 705件	
実績値における 前年度との 増減理由	②中核市移行に伴い、追加された相談先としての周知がより広まり、相談数が増加したと考えられる。 ③新型コロナウイルス感染症の影響を受け、就業相談の件数が減少したと考えられる					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 子育て給付課での母子・父子自立支援員、就業支援専門員による相談、大阪府立母子・父子福祉センターでの相談は社会福祉法人大阪府母子専任福祉連合会に委託し、ひとり親家庭の方の日常生活全般にわたる相談を実施した。					
	(取組の効果と課題) 母子・父子自立支援員による相談については、離婚前の相談からひとり親となってからの悩みに対する相談等に応じた。大阪府母子・父子福祉センターでの相談については、委託している社会福祉法人大阪府母子専任福祉連合会が就業や日常生活全般にわたる相談対応を行った。					
具体的取組に 対する事業の評価	A:貢献している(目標値を満たしている等) B:改善が必要(目標値の50%以上を満たしている等) C:見直しが必要(目標値の50%未満等)				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、ひとり親家庭の相談については子育て給付課がワンストップで実施するとともに、関係所管との連携を図りながら、一人ひとりに寄り添ったより充実した相談・支援体制を整備していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の主な内容	利用できる行政サービスに関する相談や情報提供を充実します					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	ひとり親家庭等支援事業（ひとり親家庭相談・ひとり親家庭就業相談）					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	相談事業であるため、目標値は設定しない。一人ひとりに寄り添った相談を継続的に行っていく。			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①ひとり親家庭相談 962件	①ひとり親家庭相談 1,172件	①ひとり親家庭相談 1,210件	①ひとり親家庭相談 1,212件	①ひとり親家庭相談 1,154件	
実績値における 前年度との 増減理由	②ひとり親家庭就業相談 918件	②ひとり親家庭就業相談 902件	②ひとり親家庭就業相談 925件	②ひとり親家庭就業相談 811件	②ひとり親家庭就業相談 705件	
	②新型コロナウイルス感染症の影響を受け、就業相談の件数が減少したと考えられる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	母子・父子自立支援員、就業支援専門員を配置し、ひとり親家庭等の生活上の悩みの相談、離婚前の相談、母子父子寡婦福祉資金の貸付や償還の相談、就業に関する相談や自立に向けての助言、情報提供を行った。年1回の児童扶養手当現況届案内時にお知らせを同封する等、相談業務の周知を図った。					
		(取組の効果と課題)				
		ひとり親家庭の方からの様々な相談に対して、必要に応じて関係所管との連携を図りながら、必要な助言・情報提供を行うことができた。				
具体的取組に対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)		ひとり親家庭の方が経済的に安定し自立できるよう、今後も母子・父子自立支援員、就業支援専門員が専門的な知識を習得し、関係機関との連携を強化しながら、的確な助言・情報提供に努める。				

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の主な内容	医療費の助成・児童扶養手当の支給・福祉資金の貸付け制度による経済的自立に向けた支援をします					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	児童扶養手当給付事業、ひとり親家庭医療費助成事業、子ども医療費助成事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	ひとり親家庭に対する手当及び医療費助成制度であるため、目標値については設定しないが、一人ひとりの状況に応じた対応を行っていく。			-		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①2,231人 ②69,720件 ③742,351件 ④24件	①2,095人 ②69,425件 ③775,747件 ④24件	①2,065人 ②58,743件 ③656,415件 ④14件	①2,004人 ②63,224件 ③770,452件 ④29件	①1,909人 ②63,285件 ③853,398件 ④23人	
実績値における 前年度との 増減理由	②③ひとり親家庭医療費助成件数と子ども医療費助成件数については増加しており、新型コロナウイルス感染症での受診控えが収まったことが影響していると考えられる。特に子ども医療費助成件数については、新型コロナウイルス感染症の第6～8波の影響等による受診増が顕著に表れたと考えられる。 ④新規貸付件数が減少したのは、国の高等教育における修学支援新制度の利用者が増加したためと考えられる。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容)					
	児童扶養手当の支給、医療証を交付し医療機関での費用負担の軽減を図った。また、子どもが大学等へ進学する際の入学金や学費の資金等の貸付けを行った。					
		(取組の効果と課題)				
		手当の支給や医療費助成制度により、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ることが出来た。母子父子寡婦福祉資金貸付事業については、中核市移行に伴い受付から交付等を市が行うことにより、資金の貸付けまでの期間の短縮が図れている。				
具体的取組に対する事業の評価		A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）			A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策を具体的に記入)		引き続き、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に努める。				

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の 主な内容	パソコン等技能習得訓練など就労のためのスキルアップ講座を実施します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	対象講座開催数及び延受講者数			1講座以上/30人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	2講座/23人	2講座/31人	1講座/18人	1講座/14人	1講座/20人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) シングルマザーを対象としたマネー講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) 受講者から事前に質問を募集して講座の中で回答が得られるように工夫した。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	内容や開催日時、開催方法を見直し、受講者増を目指す。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の 主な内容	パソコン等技能習得訓練など就労のためのスキルアップ講座を実施します					
担当室課	地域経済振興室					
事業名 (※複数記入可)	地域就労支援事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	就労支援講座を開催			2種類以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①介護職員初任者研修：20名 ②パソコン講座：30名	①調剤事務講座：10名 ②介護職員初任者研修：10名	①調剤事務講座：10名（内5名） ②介護職員初任者研修：9名（内4名） ③ビジネスパソコン講座：18名（内2名） ※○内：一人親の人数	①調剤事務講座：10名（内2名） ②介護職員初任者研修：10名（内1名） ③ビジネスパソコン講座：9名（内2名） ※○内：一人親の人数	①調剤事務講座：8名（内2名） ②介護職員初任者研修：6名（内1名） ③ビジネスパソコン講座：15名（内1名） ※○内：一人親の人数	
実績値における 前年度との 増減理由	様々な内容に関する講座を実施しているため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施しており、令和2年度から、ひとり親家庭に対する一定の受講枠を設定。 講座内容：①調剤事務講座②介護職員初任者研修③パソコン講座					
	(取組の効果と課題) 様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身につけることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益であるとする。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)						

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	5	男女共同参画の視点に立った困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備				
具体的取組	(2)	母子家庭・父子家庭等それぞれが抱える困難に着目した支援				
具体的取組の 主な内容	パソコン等技能習得訓練など就労のためのスキルアップ講座を実施します					
担当室課	子育て給付課					
事業名 (※複数記入可)	母子家庭等就業・自立支援センター事業（就業支援講習会事業（地域経済振興室との共催講座を含む））					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	受講者数			44人		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30人/68.2%	36人/81.8%	23人/52.3%	28人/63.6%	18人/40.9%	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受講者の減少があったと考えられるため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 就業支援のためのパソコン講習会及び介護職員初任者研修を実施し、職場でのスキルアップや就労につながっていると思われる。					
	(取組の効果と課題) 中核市移行に伴い、母子家庭等就業・自立支援センター事業として大阪府母子寡婦福祉連合会に事業を委託し、講座受講だけでなく、就労情報の提供等、ワンストップで相談者が利用しやすい環境整備を行った。また、地域経済振興室との共催講座等、特にひとり親家庭の優先枠がある講座を実施している。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	窓口での案内や、市報・SNS等、受講案内についてさらに積極的に行っていく必要がある。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	6	男女共同参画センターの機能の充実				
具体的取組	(1)	市民団体等との協働・連携				
具体的取組の 主な内容	市民団体等の活動や交流を支援し、男女共同参画社会の実現をめざします					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	共催講演会の受講者数			40人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	58人	46人	54人	50人	38人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) センター利用団体で構成される「グループの会」と共同で映画上映会を開催した。					
	(取組の効果と課題) 市民団体と共に企画することで、他の主催講座とは少し異なる特色の講演会を開催できた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	活動や交流を通して男女共同参画について考えるきっかけとなるように支援する。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	6	男女共同参画センターの機能の充実				
具体的取組	(2)	男女共同参画推進のための拠点施設として、その認知度を高め、利用を促進する				
具体的取組の 主な内容	地域との協働・連携による主催講座事業等を充実します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター主催事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	センター以外での主催講座開催数			5講座以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	4講座	6講座	1講座	1講座	4講座	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) のびのび子育てプラザ及び家庭教育学級と共に講座を実施した。また、事業所に向いて研修会を実施した。					
	(取組の効果と課題) センターを知らない人に男女共同参画に関する学びの機会を提供することができた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				B	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	公民館などの地域の施設や事業者にアプローチしていく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	6	男女共同参画センターの機能の充実				
具体的取組	(2)	男女共同参画推進のための拠点施設として、その認知度を高め、利用を促進する				
具体的取組の 主な内容	情報提供や相談、調査研究等の事業を体系的・総合的に推進します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター全事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	主催講座開催数及び延受講者数			70講座以上 / 5,600人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	78講座 / 6,126人	79講座 / 4,912人	58講座 / 3,717人	80講座 / 5,171人	79講座 / 5,012人	
実績値における 前年度との 増減理由						
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男女共同参画センターの全事業を分析し、その時々々の社会情勢も考慮して、様々な講座を開催した。					
	(取組の効果と課題) SNSを活用して講座の周知を行うことで当センターの講座を初めて受講する人が増えた。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	より多くの市民に男女共同参画について知り、考えてもらう事業を展開していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	6	男女共同参画センターの機能の充実				
具体的取組	(2)	男女共同参画推進のための拠点施設として、その認知度を高め、利用を促進する				
具体的取組の 主な内容	市民の主体的活動を支援するための施設設備の充実と柔軟な運営に取り組みます					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター管理事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	年間利用人数			10万人以上		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	3,644件/ 74,040人	3,292件/ 68,446人	2,171件/ 25,838人	2,934件/ 32,167人	3,731件/ 46,869人	
実績値における 前年度との 増減理由	新型コロナウイルス感染症により活動を自粛していた団体が徐々に再開し、活動件数・人数共に増加した。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 適正な施設運営を行い、市民活動を支援している。					
	(取組の効果と課題) 施設内に機器の更新など行いたい箇所があるが予算上難しい部分である。施設の老朽化により、不具合箇所が増えてきている。平成30年・令和元年度に比べると利用者数は減少しているが利用件数は増加している。利用者も定員を調整しながら活動していると想定する。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				C	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	引き続き、市民活動を支援するべく今後も適正な施設運営を行っていく。 また、施設の認知度向上の為、広報の方法についても検討していく。					

基本方向	V	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備				
基本課題	6	男女共同参画センターの機能の充実				
具体的取組	(2)	男女共同参画推進のための拠点施設として、その認知度を高め、利用を促進する				
具体的取組の 主な内容	相談事業の充実、相談連携機能を強化します					
担当室課	男女共同参画センター					
事業名 (※複数記入可)	男女共同参画センター相談事業/DV防止対策事業					
目標	項目			数値等		計画推進の 指標の番号
	電話相談・対面での相談の環境整備			電話相談：週3回 対面相談：月8回 法律相談：月1回		
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	延べ656件	延べ698件	延べ734件	延べ957件	延べ1,074件	
実績値における 前年度との 増減理由	令和4年度は新型コロナウイルス等での閉館日がなく、女性のための電話相談の周知効果が出てきたため。					
令和4年度 取組状況	(具体的取組を推進するために取り組んだ内容) 男性のための電話相談を開始し、その他の相談も引き続き行った。					
	(取組の効果と課題) 相談者は、相談することにより、今後の生き方の指針となっていると思われる。					
具体的取組に 対する事業の評価	A：貢献している（目標値を満たしている等） B：改善が必要（目標値の50%以上を満たしている等） C：見直しが必要（目標値の50%未満等）				A	
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する 取組・対応策を具体的に記入)	今後も引き続き相談事業の充実を図っていく。					

第4次すいた男女共同参画プラン
令和4年度(2022年度)施策実施状況
－年次報告－

.....

発行 / 令和5年(2023年)11月
吹田市 市民部 人権政策室
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
TEL: 06-6384-1461

この冊子は400部作成し、1部当たりの単価は627円です



この冊子は、古紙リサイクル適正Aランクの紙と植物油インキを使用しております。

